取扱説明書 ’12.10

docomo NEXT series

はじめに

L-01Eをお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。

ご使用の前やご利用中に、この取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いください。

本書についての最新情報は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。また、本端末から取扱説明書の最新情報を見ることができます。

■「クイックスタートガイド」（本体付属品）

基本的な機能の操作について説明しています。

■「取扱説明書」（本端末のアプリケーション）

機能の詳しい案内や操作について説明しています。

ホーム画面で「アプリ」▶「取扱説明書」

※「取扱説明書」はLG SmartWorldから再ダウンロードできます。ダウンロードには、ログインが必要です。ホーム画面で「アプリ」▶「SmartWorld」▶「取扱説明書」を検索 ▶「取扱説明書」アプリを選択 ▶「ダウンロード」

■「取扱説明書」（PDFファイル）

機能の詳しい案内や操作について説明しています。

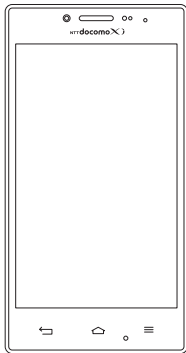
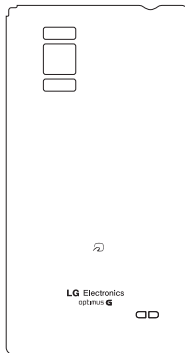
ドコモのホームページでダウンロード

http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html

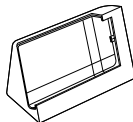
※ URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

本体付属品

その他オプション品・関連機器について → P228

L-01E本体
（保証書を含む）

リアカバー L33

クイックスタートガイド

電池パック L19

卓上ホルダL13

microSDHCカード（16GB）（試供品）

※ お買い上げ時にあらかじめ本端末に取り付けられています。

本書のご使用にあたって

- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の本文中においては「L-01E」を「本端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。

操作説明文について

本書では、タッチスクリーンで表示されるアイコンや項目の選択操作を次のように表記して説明しています。

表記	操作内容
ホーム画面で「アプリ」	ホーム画面に表示されている ▼ をタップする • ホーム画面のアイコンは、以下のように表記しております。 ：「電話」 ：「spモードメール」 ：「インターネット」 ：「アプリ」
ホーム画面で ☰ ▶「本体設定」	画面の下にある ☰ をタップして、表示されたオプションメニューの「本体設定」をタップする
「操作開始」▶「通話」	画面に表示されている「操作開始」をタップして、続けて「通話」をタップする
文字 をロングタッチする	画面に表示されている 文字 を長めに（1 ～ 2秒間）触れたままにする

お知らせ

- 本書の操作説明は、ホームセレクタが「docomo Palette UI」に設定されていて、ホーム画面の内容が初期設定の場合で説明しています。ホーム画面の内容を変更した場合は、アプリケーションを開く操作などが本書の説明と異なることがあります。
- 本書で掲載している画面はイメージであるため、実際の画面と異なる場合があります。

目次

本端末のご利用について

- 本端末は、LTE・W-CDMA・GSM/GPRS・無線LAN方式に対応しています。
- 本端末は無線を使用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所、XiサービスエリアおよびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい場所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナマークが4本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通信が切れることがありますので、ご了承ください。
- 本端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、LTE・W-CDMA・GSM/GPRS方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞き取れません。
- 本端末は音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど送信されてきたデジタル信号を正確に復元することができない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- 本端末は、Xiエリア、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。本端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本端末はパソコンなどと同様に、お客様がインストールを行うアプリケーションなどによっては、お客様の端末の動作が不安定になったり、お客様の位置情報や本端末に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用される可能性があります。このため、ご利用されるアプリケーションなどの提供元および動作状況について十分にご確認の上ご利用ください。
- 大切なデータは、microSDカードに保存することをおすすめします。
- 本端末はｉモードのサイト（番組）への接続やｉアプリなどには対応しておりません。
- 本端末は、データの同期やソフトウェア更新を行うための通信、サーバーとの接続を維持するための通信など一部自動的に通信を行う仕様となっています。また、アプリケーションのダウンロードや動画の視聴などデータ量の大きい通信を行うと、パケット通信料が高額になりますので、パケット定額サービスのご利用を強くおすすめします。
- 公共モード（ドライブモード）には対応しておりません。

- 本端末では、サウンドプロフィールを「バイブレートのみ」、「サイレント」に設定中でも、エリアメール、着信音や各種通知音を除く音（撮影音、動画再生、音楽の再生、アラームなど）は消音されません。
- お客様の電話番号（自局番号）は以下の手順で確認できます。
  ホーム画面で ☰ ▶「本体設定」▶「端末情報」▶「電話機識別情報」をタップしてください。
- ご利用の端末のソフトウェアバージョンは以下の手順で確認できます。
  ホーム画面で ☰ ▶「本体設定」▶「端末情報」▶「ソフトウェア情報」をタップしてください。
- 本端末のソフトウェアを最新の状態に更新することができます。詳しくは「ソフトウェア更新」(P241）をご参照ください。
- 本端末の品質改善を行うため、ソフトウェア更新によってオペレーティングシステム（OS）のバージョンアップを行うことがあります。このため、常に最新のOSバージョンをご利用いただく必要があります。また、古いOSバージョンで使用していたアプリケーションが使えなくなる場合や意図しない不具合が発生する場合があります。
- 本端末では、ドコモminiUIMカードのみご利用できます。ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。
- 他人に使用されないように、画面ロックまたはパスワードを設定し本端末のセキュリティを確保してください。詳しくは「画面のロック」(P135）をご参照ください。
- 万が一紛失した場合は、Googleトーク、Gmail、Google PlayなどのGoogleサービスなどを他の人に利用されないように、パソコンより各種サービスアカウントのパスワードを変更してください。
- Googleアプリケーションおよびサービス内容は、将来予告なく変更される場合があります。
- Googleが提供するサービスについては、Google Inc.の利用規約をお読みください。また、そのほかのウェブサービスについては、それぞれの利用規約をお読みください。
- spモード、mopera U、およびビジネスmoperaインターネット以外のプロバイダはサポートしておりません。
- 本端末は64Kデータ通信には対応しておりません。
- 画像や動画、音楽などのお客様データは、パソコンでのバックアップを行ってください。接続方法について、詳しくは「ファイル操作について」(P150)、もしくは「外部機器接続」(P159）をご参照ください。また、各種オンラインによるデータバックアップサービスのご利用をおすすめします。

- ご利用の料金プランにより、テザリングご利用時のパケット通信料が異なります。パケット定額サービスのご利用を強く推奨します。
- テザリングのご利用には、ｓｐモードのご契約が必要となります。
- モバキャスは通信と連携したサービスであるため、サービスのご利用にはパケット通信料が発生します。パケット定額サービスの加入をお勧めします。
- 本端末とHDMI変換ケーブル L01（別売）および市販のMHLケーブルを接続すると、本端末に保存された静止画や動画をテレビに表示できます。また、テレビでモバキャスの視聴も行えます。ただし、テレビでモバキャスを視聴するとき、ノイズなどの影響により受信感度（画面映り）が悪くなる場合があります。
  ※ ワンセグは著作権保護のため、HDMI接続による動画出力には対応していません。
- ご利用時の料金など詳細については、http://www.nttdocomo.co.jp/ をご覧ください。

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。

■ ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■ 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合および物的損害の発生が想定される」内容です。

■ 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は下記の8項目に分けて説明しています。

本端末、電池パック、アダプタ、卓上ホルダ、ドコモminiUIMカードの取り扱いについて（共通）

⚠危険

禁止

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。
火災、やけど、けがの原因となります。

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

水濡れ禁止

水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。
- 防水性能については下記をご参照ください。→ P32「防水性能」

指示

本端末に使用する電池パックおよびアダプタは、NTT ドコモが指定したものを使用してください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠警告

禁止

強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

microUSB接続端子やイヤホンマイク端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。
火災、やけどの原因となります。

指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に本端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。
ガスに引火する恐れがあります。
ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイをご使用になる際は必ず事前に電源を切った状態で使用してください（おサイフケータイ ロック設定を設定されている場合にはロックを解除した上で電源をお切りください）。

指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。
- **電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く。**
- **本端末の電源を切る。**
- **電池パックを本端末から取り外す。**

火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠ 注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。
落下して、けがの原因となります。

禁止

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。
けがなどの原因となります。

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

本端末をアダプタに接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。

充電しながらアプリケーションやワンセグ視聴などを長時間行うと、本端末や電池パック・アダプタの温度が高くなることがあります。

温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となったりする恐れがあります。

本端末の取り扱いについて

⚠ 警告

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。

目に悪影響を及ぼす原因となります。

赤外線通信使用時に、赤外線ポートを赤外線装置のついた家電製品などに向けて操作しないでください。

赤外線装置の誤動作により、事故の原因となります。

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。特に、乳幼児を撮影するときは、1m以上離れてください。

視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

禁止

本端末内のドコモminiUIMカードスロットやmicroSDカードスロットに水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止

自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。
運転の妨げとなり、事故の原因となります。

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、本端末の電源を切ってください。
電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。
医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。
航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。ただし、電波を出さない設定にすることなどで、機内で本端末が使用できる場合には、航空会社の指示に従ってご使用ください。

指示

スピーカーに設定して通話する際や、着信音が鳴っているときなどは、必ず本端末を耳から離してください。また、イヤホンマイクなどを本端末に装着し、ゲームや音楽再生などをする場合は、適度なボリュームに調節してください。
音量が大きすぎると難聴の原因となります。
また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレート（振動）や着信音量の設定に注意してください。
心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本端末の電源を切ってください。
電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。
※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出した本端末の内部にご注意ください。
ディスプレイ部やカメラのレンズの表面には、強化ガラスを使用し、ガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

⚠ 注意

アンテナ、ストラップなどを持って本端末を振り回さないでください。
本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。

本端末が破損したまま使用しないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

モーションセンサーのご使用にあたっては、必ず周囲の安全を確認し、本端末をしっかりと握り、必要以上に振り回さないでください。
けがなどの事故の原因となります。

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。
また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

指示

自動車内で使用する場合、自動車メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。
車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。
- 各箇所の材質について → P22「材質一覧」

指示

ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。
視力低下の原因となります。

電池パックの取り扱いについて

■ **電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。**

表示	電池の種類
Li-ion00	リチウムイオン電池

⚠ 危険

禁止

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

電池パックを本端末に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめ、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

火の中に投下しないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パック内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。
失明の原因となります。

⚠ 警告

禁止

落下による変形や傷などの異常が見られた場合は、絶対に使用しないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パックが漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。
漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

指示

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

⚠ 注意

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。
発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

禁止

濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。
電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

指示

電池パック内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。
失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。
液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。
また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

アダプタ、卓上ホルダの取り扱いについて

⚠ 警告

禁止

アダプタのコードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。
感電の原因となります。

禁止

コンセントやシガーライターソケットにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

アダプタのコードの上に重いものをのせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

禁止

コンセントにACアダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

濡れ手禁止

濡れた手でアダプタのコード、卓上ホルダ、コンセントに触れないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

指定の電源、電圧で使用してください。
誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。
- ACアダプタ：AC100V ～ 240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）
- DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）

指示

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
火災、やけど、感電の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

指示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜く場合は、アダプタのコードを無理に引っ張らず、アダプタを持って抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライターソケットから電源プラグを抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライターソケットから抜いて行ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

ドコモminiUIMカードの取り扱いについて

⚠ 注意

ドコモminiUIMカードを取り外す際は切断面にご注意ください。
けがの原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

■ **本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。**

⚠ 警告

指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。

- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には本端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、本端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、本端末の電源を切ってください。
- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。

指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、本端末の電源を切ってください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部から本端末は22cm以上離して携行および使用してください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

材質一覧

使用箇所		材質	表面処理
外装ケース	ディスプレイ	強化ガラス	―
	フロントケース	PC＋GF樹脂	UVコーティング
	リアケース	PC樹脂	UVコーティング
	リアカバー	PC＋GF樹脂	UVコーティング
	リアカバーのパッキン	シリコン	―
電源キー		AL	酸化処理
音量キー		AL	酸化処理
ワンセグ／モバキャスアンテナ	先端部	PC樹脂	UVコーティング
	ワイヤー部	ニッケルチタン合金	―
	パイプ部	ステンレス鋼	―
	ヒンジ部	ステンレス鋼	―
	供給部	亜鉛合金	ニッケル
カメラ部		強化ガラス	―
フラッシュ部		PC樹脂	―
赤外線ポート部		PC樹脂	―
カメラ装飾部		AL	酸化処理
電池収納面		Mg	ウレタン塗装処理
充電端子コネクタ（本体電池収納部）		チタン銅	―
スピーカーグリル		PET	―
ネジ		軟鋼	ZnBメッキ処理
イヤホンマイク端子		リン青銅＋ステンレス鋼	ニッケル＋金
microUSB充電端子		銅合金＋ステンレス鋼	ニッケル＋金／ニッケル＋錫
電池パック	電池パック本体	PC樹脂	腐食処理
	シール部	PET	マットコーティング
	端子部	ニッケル＋金	金メッキ

使用箇所		材質	表面処理
microSDカード取り付け部	ガイド	ステンレス鋼	ニッケル
	固定部	LCP	—
	金属端子部	リン青銅	ニッケル+金
ドコモminiUIMカード取り付け部	ガイド	ステンレス鋼	ニッケル
	固定部	LCP	—
	金属端子部	コルソン合金	ニッケル+金
卓上ホルダ	前面カバー	PC	UVコーティング
	保護シート	PC	SFコーティング
	底面カバー	PC	腐食処理
	クレードル底面	ウレタン	ラバー処理
	充電端子部	ステンレス鋼	Niメッキ

試供品（microSDHCカード（16GB））の取り扱いについて

⚠ 危険

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠ 警告

禁止

強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。
火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠ 注意

指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

取り扱い上のご注意

共通のお願い

■ **L-01Eは防水性能を有しておりますが、本端末内部に浸水させたり、付属品、オプション品に水をかけたりしないでください。**

電池パック、アダプタ、卓上ホルダ、ドコモminiUIMカードは防水性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。

■ **お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**

- 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
- ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
- アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。

■ **端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。**

端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。

■ **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**

急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。

■ **本端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。**

多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。
また、外部接続機器をmicroUSB接続端子、イヤホンマイク端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。

■ **ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。**

傷つくことがあり故障、破損の原因となります。

■ **オプション品に添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。**

本端末についてのお願い

■ タッチスクリーンの表面を強く押したり、爪やボールペン、ピンなど先の尖ったもので操作したりしないでください。
タッチスクリーンが破損する原因となります。

■ 極端な高温、低温は避けてください。
温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。

■ 一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。

■ お客様ご自身で本端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 本端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障、破損の原因となります。

■ microUSB接続端子やイヤホンマイク端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
故障、破損の原因となります。

■ 使用中、充電中、本端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。

■ カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。
素子の退色・焼付きを起こす場合があります。

■ リアカバーを外したまま使用しないでください。
電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。

■ microSDカードの使用中は、microSDカードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。

■ 磁気カードなどを本端末に近づけないでください。
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

■ 本端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。
強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

電池パックについてのお願い

■ **電池パックは消耗品です。**
使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。

■ **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**

■ **電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。**

■ **電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。**

■ **電池パックを保管される場合は、次の点にご注意ください。**
- フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
- 電池残量なしの状態（本体の電源が入らないほど消費している状態）での保管

電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。
保管に適した電池残量は、目安として電池残量が40パーセント程度の状態をお勧めします。

アダプタについてのお願い

■ **充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。**

■ **次のような場所では、充電しないでください。**
- 湿気、ほこり、振動の多い場所
- 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く

■ **充電中、アダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**

■ **DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。**
自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。

■ **抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。**

■ **強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。**
故障の原因となります。

ドコモminiUIMカードについてのお願い

■ ドコモminiUIMカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。

■ 他のICカードリーダー／ライターなどにドコモminiUIMカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。

■ IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。

■ お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。

■ お客様ご自身で、ドコモminiUIMカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 環境保全のため、不要になったドコモminiUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。

■ ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。

■ ドコモminiUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
故障の原因となります。

■ ドコモminiUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
故障の原因となります。

■ ドコモminiUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けないでください。
故障の原因となります。

Bluetooth機能を使用する場合のお願い

■ 本端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。

■ Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■ 周波数帯について

本端末のBluetooth機能／無線LAN機能が使用する周波数帯は、端末本体の電池パック挿入部に記載されています。ラベルの見かたは次のとおりです。

2.4FH1/DS4/OF4
■■■

2.4	：	2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
FH/DS/OF	：	変調方式がFH-SS、DS-SS、OFDMであることを示します。
1	：	想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
4	：	想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
■■■	：	2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味します。

利用可能なチャンネルは国により異なります。
航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

■ Bluetooth機器使用上の注意事項

本端末の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1. 本端末を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本端末と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、「電源を切る」など電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

無線LAN（WLAN）についてのお願い

無線LAN（WLAN）は、電波を利用して情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者に通信内容を盗み見られたり、不正に侵入されてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

■ 無線LANについて

電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。

- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
- テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- WLANを海外で利用する場合、ご利用の国によっては使用場所などが制限されている場合があります。その場合は、その国の使用可能周波数、法規制などの条件を確認の上、ご利用ください。

■ 2.4GHz機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するかご利用を中断していただいた上で、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせいただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

■ 5GHz帯使用時の注意

5.2GHz帯および5.3GHz帯(W52、W53)の屋外使用は法令により禁止されています。

本端末が使用するチャンネルは以下の通りです。

W52
(5.2GHz 帯／ 36、40、44、48ch)
W53
(5.3GHz 帯／ 52、56、60、64ch)

FeliCa リーダー／ライターについて

■ 本端末のFeliCa リーダー／ライター機能は、無線局の免許を要しない微弱電波を使用しています。

■ 使用周波数は 13.56MHz帯です。周囲で他のリーダー／ライターをご使用の場合、十分に離してお使いください。また、他の同一周波数帯を使用の無線局が近くにないことを確認してお使いください。

試供品（microSDHC カード（16GB)）についてのお願い

■ microSDカードは防水性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。

■ microSD カードの使用中は、microSD カードを取り外したり、本端末の電源を切ったりしないでください。

データの消失、故障の原因となります。

■ microSD カードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。

■ microSDカードにラベルやシールなどを貼った状態で、本端末に取り付けないでください。
故障の原因となります。

■ microSDカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。

■ 端子部を傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
データの消失、故障の原因となります。

■ 静電気や電気的ノイズの発生しやすい場所で使用したり保管したりしないでください。

■ microSDカードは、SDメモリカード規格基準のフォーマット済みです。フォーマットする場合は、microSDカードに記憶されたデータが消失されますので、別にバックアップを取るなどして保管してください。
パソコンおよびSDメモリカード規格非準拠の機器でフォーマットを行うと、データの書き込みや読み出し、消去ができないなどの異常が発生することがあります。

注意

■ 改造された本端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。
本端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として「技適マーク 〒」が本端末の銘版シールに表示されております。
本端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。
技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。

■ 自動車などを運転中の使用にはご注意ください。
運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。

■ FeliCaリーダー／ライター機能は日本国内で使用してください。
本端末のFeliCaリーダー／ライター機能は日本国内での無線規格に準拠しています。
海外でご利用になると罰せられることがあります。

■ 基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。
ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

防水性能

L-01Eは、リアカバーをしっかり取り付けた状態でIPX5※1、IPX7※2の防水性能を有しています。

※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から12.5L/分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を有することを意味します。

※2 IPX7とは、常温で水道水、かつ静水の水深1mのところにL-01Eを静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することを意味します。

L-01Eが有する防水性能でできること

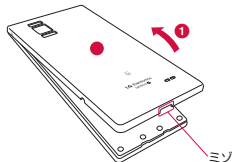
- 雨の中で傘をささずに通話、ワンセグ視聴ができます（1時間の雨量が20mm程度）。
- 手が濡れているときや本端末に水滴がついているときは、リアカバーを開閉しないでください。
- 洗面器などに張った真水・常温の水道水に浸けて、静かに振り洗いをしたり、蛇口から弱めに流れる水道水に当てながら手で洗ったりすることができます。
  - リアカバーを取り付けた状態で洗ってください。
  - 受話口（レシーバー）やマイク、スピーカー、microUSB接続端子、イヤホンマイク端子に蛇口の水を直接当てないでください。
  - 洗うときは、ブラシやスポンジ、せっけん、洗剤などは使用しないでください。
  - 洗い流したあとは、表面を乾いた布でよく拭いて、水抜きを行ってください。→ P36
- プールの水や海水に浸けたり、落下させたりしないでください。また、水中で本端末を使用しないでください。
- 防水性能を維持するため、異常の有無に関わらず、2年に1回、部品の交換をおすすめします。部品の交換は端末をお預かりして有料にて承ります。ドコモ指定の故障取扱窓口にお持ちください。

ご使用にあたって

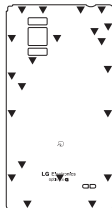
- ご使用前に、リアカバーを確実に取り付けている状態にしてください。微細なゴミ（微細な繊維、髪の毛、砂など）がわずかでも挟まると浸水の原因となります。

リアカバーの取り外しかた／取り付けかた

■ 取り外しかた

1 リアカバーのミゾに指をかけ、●を軽く押さえながら矢印（❶）の方向へ持ち上げてリアカバーを取り外す

■ 取り付けかた

1 リアカバーの向きを確認して、本体に合わせるように装着し（❶）、▼ 部分をしっかりと押して閉じる

- 本端末とすきまがないことを確認してください。

お知らせ

- リアカバーを取り付ける際は、ドコモminiUIMカードやmicroSDカード、電池パックが確実に取り付けられていることを確認してください。ドコモminiUIMカードの挿入が不十分であると、電池パックが正しく取り付けられず、リアカバーを取り付ける際に、本端末とリアカバーの間に隙間が生じて防水性能を損なう場合があります。

注意事項

■ **本端末について**

- 落下させたり、強い衝撃を与えたりしないでください。ひび割れや傷の発生などにより、防水性能の劣化を招く恐れがあります。
- 次のイラストのように、常温の水以外の液体などをかけたり浸けたりしないでください。

＜例＞

せっけん／洗剤／入浴剤

海水

プール

温泉

砂／泥

- お湯に浸けたり、サウナで使用したり、ドライヤーなどの温風を当てたりしないでください。
- 水滴が付着したまま放置しないでください。外部接続端子がショートする恐れがあります。また、寒冷地では、本端末が凍結し、故障の原因となります。
- 結露防止のため、寒い場所から暖かい場所へは、本端末が常温になってから持ち込んでください。

- 規定（→ P32）以上の強い水流を直接当てないでください。L-01EはIPX5の防水性能を有していますが、内部に水が入り、感電や電池の腐食などの原因となります。
- 濡れている状態で絶対に充電しないでください。
- 洗濯機などで洗わないでください。
- 本端末は水に浮きません。
- 砂浜などの上に直接置かないでください。
  - 受話口（レシーバー）やマイク、スピーカー、microUSB接続端子、イヤホンマイク端子の穴などに砂などが入り、音が小さくなる恐れがあります。
  - microUSB接続端子、イヤホンマイク端子の穴などに砂などが入り、防水性能が損なわれることがあります。
  - 水滴や砂などが付着したままご使用になると、音が割れる場合があります。
  - リアカバーに砂などがわずかでも挟まると浸水の原因となります。
- 受話口（レシーバー）やマイク、スピーカー、microUSB接続端子、イヤホンマイク端子の穴を尖ったものでつつかないでください。防水性能が損なわれることがあります。
- 受話口（レシーバー）やマイク、スピーカー、イヤホンマイク端子に水滴を残さないでください。通話不良となる恐れがあります。
- microUSB接続端子、イヤホンマイク端子に水滴を残さないでください。ショートする恐れがあります。

■ リアカバーについて

- 手が濡れているときや本端末に水滴がついているときには、リアカバーの取り付け／取り外しはしないでください。
- リアカバーのゴムパッキンは防水性能を維持する上で重要な役割を担っています。はがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。
- リアカバーのゴムパッキンが傷ついたり、変形したりした場合は、ドコモ指定の故障取扱窓口にてお取替えください。
- リアカバーの隙間に、先の尖ったものを差し込まないでください。ゴムパッキンが傷つき、浸水の原因となります。
- リアカバーが破損した場合は、リアカバーを交換してください。破損箇所から内部に水が入り、感電や電池の腐食などの故障の原因となります。
- リアカバーが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、電池パックを外した状態でドコモ指定の故障取扱窓口へご連絡ください。

■ その他

- 付属品、オプション品は防水性能を有しておりません。
- 実際の使用にあたって、すべての状況の動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

水に濡れたときの水抜きについて

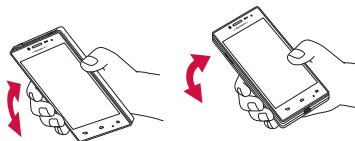
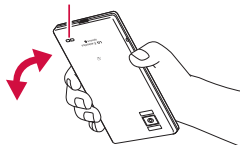
本端末を水に濡らした場合、必ず下記の手順で水抜きを行ってください。

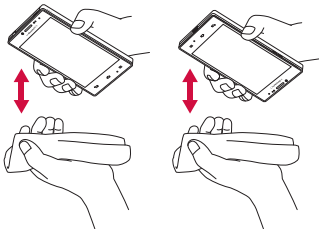
・ 水滴が付着していると、スピーカーなどの音量が小さくなり、音質が変化する場合があります。

1 本端末表面の水分を乾いたきれいな布でよく拭き取る

・ ストラップを付けている場合は、ストラップも十分乾かしてください。

2 本端末をしっかりと持ち、20回程度、水滴が飛ばなくなるまで振る

・ 本端末に水滴が付着していないことを目視で確認してください。

3 **乾いたきれいな布に本端末を軽く押し当て、受話口（レシーバー）やマイク、スピーカー、イヤホンマイク端子、microUSB接続端子、キーなどの隙間に入った水分を拭き取る**

- 各部の穴に水が溜まっていることがありますので、開口部に布を当て、軽くたたいて水を出してください。
- 隙間に溜まった水分を綿棒などで直接拭き取らないでください。

4 **十分に水分を取り除いてから使用する**

- 上記の手順を行っても、本端末に水分が残っている場合がありますので、しばらく自然乾燥させてからご使用ください。
- 水を拭き取った後に本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。

充電のときには

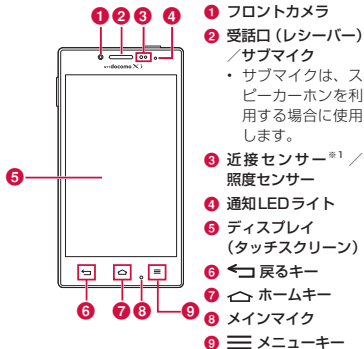
付属品、オプション品は防水性能を有していません。充電時、および充電後には必ず次の点を確認してください。

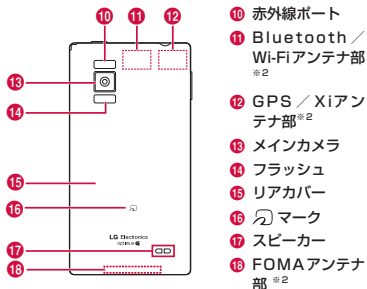
- 本端末が濡れていないか確認してください。本端末が濡れている状態では、絶対に充電しないでください。
- 濡れた手でACアダプタや卓上ホルダに触れないでください。感電の原因となります。
- ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場、シャワー室、キッチン、洗面所などの水周りや水のかかる場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。

ご使用前の確認と設定

各部の名称と機能

❶ フロントカメラ
❷ 受話口（レシーバー）／サブマイク
- サブマイクは、スピーカーホンを利用する場合に使用します。

❸ 近接センサー※1／照度センサー
❹ 通知LEDライト
❺ ディスプレイ（タッチスクリーン）
❻ 戻るキー
❼ ホームキー
❽ メインマイク
❾ メニューキー

※1 タッチスクリーンのONとOFFを切り替えて、通話中に顔がタッチスクリーンに触れても誤動作しないようにします。

❿ 赤外線ポート
⓫ Bluetooth／Wi-Fiアンテナ部※2
⓬ GPS／Xiアンテナ部※2
⓭ メインカメラ
⓮ フラッシュ
⓯ リアカバー
⓰ マーク
⓱ スピーカー
⓲ FOMAアンテナ部※2

※2 アンテナは本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。

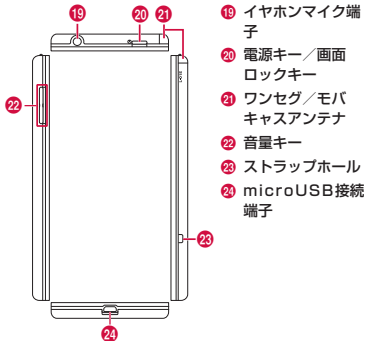
⑲ イヤホンマイク端子

⑳ 電源キー／画面ロックキー

㉑ ワンセグ／モバキャスアンテナ

㉒ 音量キー

㉓ ストラップホール

㉔ microUSB接続端子

お知らせ

- 各センサー部分にシールなどを貼らないでください。

本端末前面には、キーが3つ配置されています。それぞれのキーの役割は次のとおりです。

	戻るキー タップすると、直前の画面に戻ります。または、ダイアログボックス、オプションメニュー、通知パネル、ソフトウェアキーボードを非表示にします。
	ホームキー ・タップすると、どのアプリケーションを使用中でも、どの画面が表示されていてもホーム画面が表示されます。 ・ロングタッチすると、最近利用したアプリケーションのリストが表示されます。サムネイルをタップすると、アプリケーションを開くことができます（横向き画面で表示されるものがあります）。リストから削除するにはサムネイルを左右にドラッグします。
	メニューキー タップすると、現在の画面またはアプリケーションで実行できるオプションメニューが表示されます。

ドコモminiUIMカード

ドコモminiUIMカードとは、電話番号などのお客様情報が記録されているIC カードです。

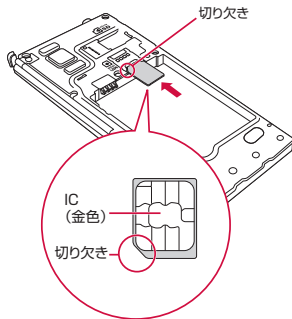
- ドコモminiUIMカードが本端末に取り付けられていないと、一部の機能は利用することができません。ドコモminiUIMカードを挿入または取り出す前には、必ず本端末の電源を切り、アダプタも取り外してください。
- 本端末では、ドコモminiUIMカードのみご利用できます。ドコモUIMカード、FOMAカードをお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取り替えください。

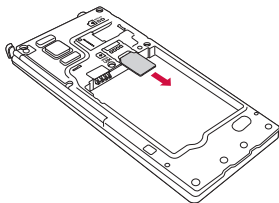
ドコモminiUIMカードの暗証番号について

ドコモminiUIMカードには、PINコードという暗証番号を設定できます。ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。変更の方法について詳しくは「暗証番号とドコモminiUIMカードの保護について」(P142)をご参照ください。

ドコモminiUIMカードを取り付ける

1 **リアカバーを取り外す(P33)**

2 **電池パックを取り出して(P43)、ドコモminiUIMカードの金色のIC面を下に向けてスロットに差し込む**

ドコモminiUIMカードを取り外す

1 リアカバーを外し（P33）、電池パックを取り出して、ドコモminiUIMカードを指の先で押さえながら、手前にすべり出すように取り出す

microSDカード

microSDカードは、互換性のある他の機器でも使用できます。

- 本端末では市販の2GBまでのmicroSDカード、32GBまでのmicroSDHCカード、64GBまでのmicroSDXCカードに対応しています（2012年10月現在）。
- microSDXCカードは、SDXC対応機器でのみご利用いただけます。SDXC非対応の機器にmicroSDXCカードを差し込むと、microSDXCカードに保存されているデータが破損することなどがあるため、差し込まないでください。
- データが破損したmicroSDXCカードを再度利用するためには、SDXC対応機器にてmicroSDXCカードの初期化をする必要があります（データはすべて削除されます）。
- SDXC非対応機器とのデータコピーについては、microSDHCカードもしくはmicroSDカードなど、コピー先／コピー元の機器の規格に準拠したカードをご利用ください。
- 対応のmicroSDカードは各microSDカードメーカへお問い合わせください。

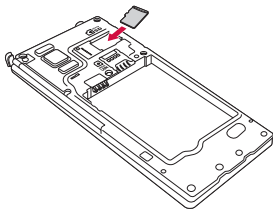
お知らせ

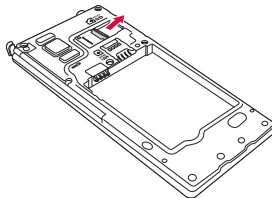
- 対応していない容量のmicroSDカードを取り付けると、データが消失する可能性があります。

microSDカードを取り付ける

1 リアカバーを取り外す（P33）

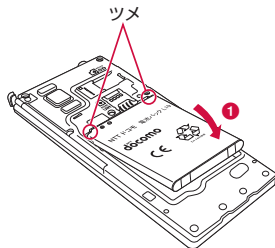
2 microSDカードの金属端子面を下に向けてスロットに差し込む

- microSDカードは挿入方向に注意して正しく取り付けてください。正しくない向きに挿入するとmicroSDカードやスロットの破損、または抜き取れなくなる恐れがあります。

microSDカードを取り外す

1 リアカバーを外し、microSDカードを指の先で押さえながら、矢印の方向にすべり出すように取り出す

電池パック

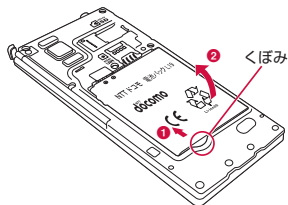
電池パックを取り付ける

1 リアカバーを取り外す（P33）

2 電池パックのCEマークがある面を上にして本端末と電池パックのツメを合わせてから矢印（❶）の方向へ挿入する

3 リアカバーを取り付ける（P33）

電池パックを取り外す

1 リアカバーを取り外す（P33）

2 本端末のくぼみに指をかけ、電池パックを矢印（❶）の方向に押しながら矢印（❷）の方向に持ち上げて取り外す

お知らせ

- 電池パックの取り付け／取り外しは、本端末の電源を切ってから行ってください。

充電

電池パックの寿命について

- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに1回で使える時間が次第に短くなります。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。

充電について

- 詳しくは、ACアダプタ03（別売）、microUSB接続ケーブル01（別売）、DCアダプタ03（別売）の取扱説明書をご覧ください。
- ACアダプタ 03は、AC100Vから240Vまで対応しています。
- ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。AC100Vから240V対応のアダプタを海外で使用する場合は、渡航先に適合した変換プラグアダプタが必要です。なお、海外旅行用の変圧器を使用しての充電は行わないでください。
- コネクタを抜き差しする際は、無理な力がかからないようにゆっくり確実に行ってください。
- 電池パックが空の状態で充電を開始すると、しばらくの間本端末の電源が入らない場合があります。
- 充電が完了したら、必ずACアダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。

長時間（数日間）充電はおやめください

- 充電したまま本端末を長時間おくと、充電が終わった後、本端末は電池パックから電源が供給されるようになるため、実際に使うと短い時間しか使えず、すぐに電池が切れてしまうことがあります。このようなときは、改めて正しい方法で充電を行ってください。再充電の際は、本端末を一度microUSB接続ケーブル（別売）から外し、改めてセットしてください。

充電時間（目安）

以下は、電池パックが空の状態から充電したときの時間（目安）です。低温時に充電すると、充電時間は長くなります。

ACアダプタ 03（別売）	約240分
DCアダプタ 03（別売）	約240分

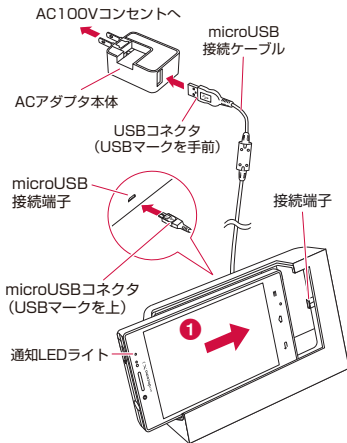
利用可能時間（目安）

以下は、十分に充電したときの使用時間（目安）です。使用時間は、使用環境や電池パックの状態により異なります。詳しくは、「主な仕様」（P250）をご参照ください。

連続待受時間	LTE	静止時（自動）：約320時間
	FOMA/3G	静止時（自動）：約350時間
	GSM	静止時（自動）：約350時間
連続通話時間	FOMA/3G	約580分
	GSM	約480分
ワンセグ視聴時間		約350分
モバキャス視聴時間		約220分

卓上ホルダで充電する

付属の卓上ホルダL13とACアダプタ 03（別売）※を使って充電する方法を説明します。

※ ACアダプタ03は、ACアダプタ本体とmicroUSB接続ケーブルで構成されています。

1 microUSB接続ケーブルのmicroUSBコネクタを卓上ホルダL13の背面の接続端子に差し込む

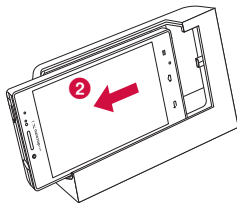
- microUSBコネクタは、USBマークがある面を上にして水平に差し込んでください。

2 microUSB接続ケーブルのUSBコネクタをACアダプタ本体のUSB接続端子に差し込む

3 卓上ホルダL13を押さえながら、本端末を図の❶方向に動かして、卓上ホルダL13の接続端子にしっかりと差し込む

4 ACアダプタ本体のプラグを電源コンセントに差し込む

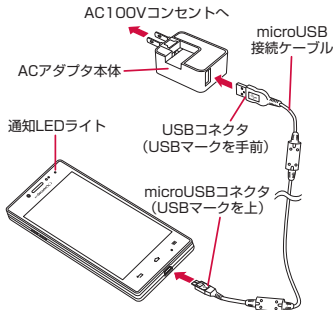
- 充電が開始されます。充電中は通知LEDライトが赤く点灯します。
- 充電が完了すると通知LEDライトが緑色に点灯し、充電完了音が鳴り、100 と充電完了のメッセージが表示されます。

5 充電が終わったら、卓上ホルダL13を押さえながら、図の❷方向に本端末を引き抜く

6 ACアダプタ本体のプラグを電源コンセントから引き抜く

7 microUSB接続ケーブルのUSBコネクタをACアダプタ本体のUSB接続端子から引き抜く

8 microUSB接続ケーブルのmicroUSBコネクタを卓上ホルダL13の背面の接続端子から引き抜く

ACアダプタで充電する

ACアダプタ 03（別売）※を使って充電する方法を説明します。

※ ACアダプタ 03は、ACアダプタ本体とmicroUSB接続ケーブルで構成されています。

1 **microUSB接続ケーブルのmicroUSBコネクタを本端末のmicroUSB接続端子に差し込む**

- microUSBコネクタは、USBマークがある面を上にして水平に差し込んでください。

2 **microUSB接続ケーブルのUSBコネクタをACアダプタ本体のUSB接続端子に差し込む**

3 **ACアダプタ本体のプラグを電源コンセントに差し込む**

- 通知LEDライトが赤色に点灯します。
- 充電中は、ステータスバーの電池アイコンが のように表示されるか、 ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ ▶ のようにアニメーション表示されます。
- 電池パックがフル充電状態になると、ステータスバーの電池アイコンが になります。
- 充電が完了すると通知LEDライトが緑色に点灯し、充電完了音が鳴り、 と充電完了のメッセージが表示されます。

4 **充電が終わったら、ACアダプタ本体のプラグを電源コンセントから引き抜く**

5 **microUSB接続ケーブルのmicroUSBコネクタを本端末から引き抜く**

6 **microUSB接続ケーブルのUSBコネクタをACアダプタ本体のUSB接続端子から引き抜く**

■ DCアダプタ03（別売）

DCアダプタは、本端末に電池パックを付けたまま自動車のシガーライターソケット（12V／24V）から充電するための電源を供給するアダプタです。詳しくはDCアダプタ03の取扱説明書をご覧ください。

パソコンで充電する

本端末とパソコンをmicroUSB接続ケーブル 01（別売）で接続すると、本端末をパソコンから充電できます。

1 microUSB接続ケーブルのmicroUSBコネクタを本端末のmicroUSB接続端子に差し込む

- microUSBコネクタは、USBマークがある面を上にして水平に差し込んでください。

2 microUSB接続ケーブルのUSBコネクタをパソコンのUSBポートに差し込む

- 「USB接続の種類」画面が表示されます。

3 「充電のみ」を選択する

4 充電が終わったら、microUSB接続ケーブルのmicroUSBコネクタを本端末から引き抜く

5 microUSB接続ケーブルのUSBコネクタをパソコンのUSBポートから引き抜く

お知らせ

- パソコンの状態により、充電に時間がかかる場合や充電できない場合があります。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 電源キーを1秒以上押し続ける

- しばらくすると、ロック画面が表示されます。

電源を切る

1 電源キーを1秒以上押し続ける

2 「電源を切る」

3 「はい」

バックライトを点灯する

本端末では、誤動作の防止と省電力のため、一定時間が経過すると、バックライトが消灯されます。その状態でバックライトを点灯にして画面ロックを解除すると、バックライトが消灯される前の画面が表示されます。

1 電源キーを押す

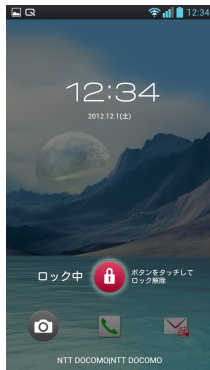
- ロック中画面が表示されます。

お知らせ

- バックライト点灯中に電源キーを押すと、画面がロックされます。
- バックライトが消灯され、画面がロックされるまでの時間は設定できます。詳しくは「表示」（P133）をご参照ください。

画面ロックを解除する

1 🔒 **をタップする**

- 「画面のロック」を設定している場合は、設定した解除方法を行います。

お知らせ

- 画面ロックを「タッチ」に設定している場合は、画面ロックを解除していない状態で、ステータスバーを下にドラッグまたはスワイプして通知パネルを開くことができます。

基本操作

本端末は、ディスプレイにタッチスクリーンを採用しており、スクリーンに触れることでさまざまな操作を行うことができます。

タッチスクリーンの使いかた

タッチスクリーン利用上の注意

タッチスクリーンは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先が尖ったもの（爪／ボールペン／ピンなど）を押し付けないでください。
以下の場合はタッチスクリーンに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となります。

- 手袋をしたままでの操作
- 爪の先での操作
- 異物を操作面に乗せたままでの操作
- 保護シートやシールなどを貼っての操作
- タッチパネルが濡れたままでの操作
- 指が汗や水などで濡れた状態での操作
- docomo指定のアダプタ以外で充電中での操作

タッチスクリーンの操作

タッチスクリーンでは以下の操作ができます。

- タップ：画面に軽く触れる
- ダブルタップ：画面に2度続けて軽く触れる
- ロングタッチ：画面に1秒以上触れる
- スワイプ：画面を軽くなぞる
- ドラッグ：画面に触れたままなぞって指を離す
- ピンチアウト：2本の指で画面に触れ、触れたまま指の間を広げる
- ピンチイン：2本の指を開いて画面に触れ、触れたまままつまむように指を近づける

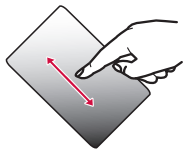
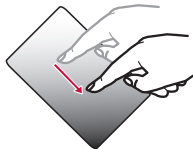
項目を開く

1 **項目をタップする**

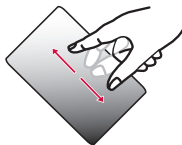
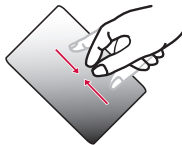
チェックマークを付ける／外す

1 **チェックボックスがある項目をタップする**
   - チェックマークが付いていない場合、チェックマークが付きます。
   - チェックマークが付いている場合、チェックマークが外れます。

画面をスクロールする

画面を上下にスクロールできます。一部のウェブページでは、左右にスクロールすることも可能です。

- ドラッグすると画面がスクロールします。

- スワイプすると画面が高速でスクロールします。スクロール中に画面に触れると、スクロールが停止します。

表示を拡大／縮小する

使用するアプリケーションによっては表示を拡大することができます。また、拡大した状態から縮小することもできます。

- ピンチアウトすると指の動きに合わせて画面が拡大表示されます。

- ピンチインすると指の動きに合わせて画面が縮小表示されます。

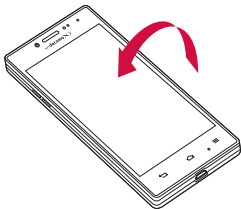
モーションジェスチャーの使いかた

本体の動作でさまざまな機能が簡単に操作できます。

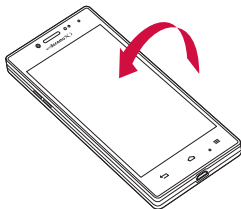
- モーションジェスチャーを使用するには、ホーム画面で ☰ ▶「本体設定」▶「ジェスチャー」で各項目にチェックマークを付けてください。

アラームを停止する

1 **アラーム動作中に、本端末を裏返す**

- アラームが停止します。

着信音を消音にする

1 **電話がかかってきたら、本端末を裏返す**

- 着信音が聞こえなくなります。

ホーム画面アイテムを移動する

1 **ホーム画面で、移動するアイコンをロングタッチする**

2 **本端末を左右に傾ける**

- アイテムが移動できます。

お知らせ

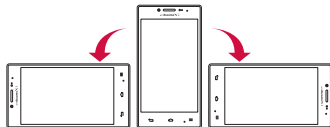
- ホーム画面で ☰ ▶「本体設定」▶「ジェスチャー」▶「チルト感度」▶「デフォルトのセンサー感度」のチェックマークを外すと、チルト感度を任意に設定できます。
- ホーム画面で ☰ ▶「本体設定」▶「ホームスクリーン」▶「ホーム選択」▶「ホーム」を選択した場合にのみ利用できます。

画面の表示方向を変更する

本端末を横向き／縦向きにすると、自動的に横画面表示／縦画面表示に切り替わります。

- 表示方向が自動的に切り替わらないアプリケーションもあります。

1 **ホーム画面で ☰ ▶「本体設定」▶「表示」**

2 **「縦横表示の自動回転」にチェックマークを付ける**

スクリーンショットを撮る

表示している画面を画像として保存できます。

1 **電源キーと音量キー（下）を同時に１秒以上押し続ける**

- 撮影したスクリーンショットは、「ギャラリー」の「Screenshots」で見ることができます。

Qメモ機能を利用する

メモやノートブックアプリケーションを起動せずに簡単にメモができます。キャプチャした画面に直接文字やイラストを書き込むこともできます。

1 **メモを作成したい画面で、上下の音量キーを同時に押す**

2 **メモを作成する**

- 画面に以下の情報が表示されます。

（アイコン）	：画面にメモを残したまま、他の機能が使用できます。再度タップするとQメモの編集を再開します。
（アイコン）	：背景を変更します。
（アイコン）／（アイコン）	：元に戻す／やり直します。
（アイコン）	：ペンの種類やカラーを選択できます。
（アイコン）	：消しゴムを利用できます。「すべて消去」をタップすると、作成したメモがすべて削除されます。
（アイコン）	：Bluetooth機能やGmail、Picasaなどで作成したメモを送信できます。
（アイコン）	：作成したメモを保存します。
（アイコン）	：ツールバーを表示／非表示します。
（アイコン）	：画面サイズを調整します。

3 **（アイコン）をタップする ▶ 保存先を選択する**

- 作成したメモがノートブックまたはギャラリーに保存されます。

お知らせ

- 通知パネルで「Qメモ」をタップしても、Qメモを起動することができます。通知パネルに「Qメモ」を表示するには、クイック設定をカスタマイズする必要があります。「クイック設定をカスタマイズする」（P75）をご参照ください。
- 指で軽く触れて操作してください。市販のタッチペンを使用した場合、動作しない場合があります。

文字入力

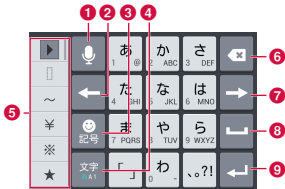
本端末では、タッチスクリーンに表示されるソフトウェアキーボードで文字を入力することができます。

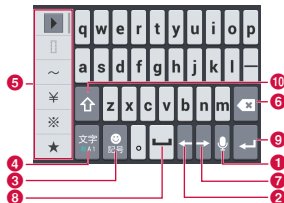
ソフトウェアキーボードでの文字入力

画面上のテキストボックスをタップすると、タッチスクリーンにソフトウェアキーボードが表示されます。本端末では、10キーキーボードとQWERTYキーボード、mazec-T手書き変換の3種類のソフトウェアキーボードを切り替えて使用できます。

[文字] をタップすると、文字種の変更など、入力操作の切り替えができます。

● 10キーキーボード

一般の携帯電話のような入力方法（マルチタップ方式）のキーボードです。

● QWERTYキーボード

パソコンのキーボードと同じ配列のキーボードです。

❶ **音声入力／キーボードタイプ／逆順キー**

音声入力モードに切り替わります。ロングタッチすることで、「キーボードタイプ」メニューを表示します。「LG日本語キーボード設定」で音声入力キーを非表示にできます。非表示にするとキーボードタイプキーが表示されます。

- 10キーキーボードの場合、文字を入力すると [↺] が表示されます。[↺] をタップすると、一つ前の文字を表示（逆順）します。

❷ **左カーソルキー／十字キー**

左へカーソルを移動します。変換時は変換範囲を狭めます。ロングタッチすると十字キーモードに切り替わります。

❸ **記号／英数カナキー**
絵文字／記号／顔文字リストを表示します。「英数カナ」と表示されているときは、英数字またはカナの候補を表示します。

❹ **文字種切替／設定キー**
入力（文字種）を切り替えます。ロングタッチすることで「LG日本語キーボード」メニューを表示します。

❺ **絵文字クイック**
絵文字／記号を素早く入力します。▶ をタップすると、絵文字クイックをソフトウェアキーボードの幅いっぱいに表示できます。

❻ **削除キー**
カーソル位置の左の文字を削除します。ロングタッチすることで連続して削除できます。

❼ **右カーソルキー**
右へカーソルを移動します。ロングタッチすることで連続移動します。変換時は変換範囲を広げます。

❽ **スペース／変換キー**
半角スペースを入力します。ひらがな入力中は「変換」と表示され、連文節変換候補リストを表示します。

❾ **確定／実行／改行／検索キー**
入力文字／変換文字を確定します。すでに入力文字／変換文字が確定されている場合には、入力したテキストボックスの機能（実行・改行・検索）を実行します。

❿ **シフトキー**
英字入力時、大文字キーと小文字キーを切り替えます。
1回タップ：文頭だけ大文字
2回タップ：全部大文字
3回タップ：小文字

● 10キーキーボード（十字キーモード時）

❶ **閉じる**
十字キーモード表示前のソフトウェアキーボードに切り替わります。

❷ **十字（上下左右）キー**
カーソルを上下左右に移動します。

❸ **削除キー**
カーソル位置の左の文字を削除します。ロングタッチすることで連続して削除できます。

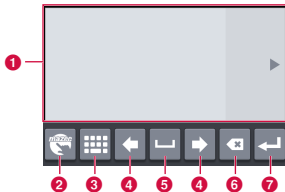
❹ **選択／解除キー**
選択状態にします。十字キーで範囲を変更できます。解除キーでは、選択範囲を解除できます。

❺ **スペースキー**
半角スペースを入力します。

❻ **切取りキー**
選択範囲の文字を切り取ります。

❼ **貼付けキー**
コピー／切り取りした文字を貼り付けます。

❽ **コピーキー**
選択範囲の文字をコピーします。

● **mazec-T 手書き変換キーボード**

❶ **手書き入力領域**
文字を書くと、文字の下に「∧」が表示されます。「∧」をタップすると認識候補一覧が表示され、文字を訂正することができます。

❷ **メニューキー**
文字の種類を選択したり、mazecの詳細設定ができます。

❸ **キーボードタイプキー**
キーボードタイプを変更します。

❹ **左カーソル／右カーソルキー**
カーソル位置を移動します。

❺ **スペースキー**
半角スペースを入力します。

❻ **削除キー**
文字を削除します。

❼ **改行キー**
改行などを行います。

お知らせ

- キー表示は入力画面や文字種により変わります。
- ソフトウェアキーボードの種類を切り替える方法については、「キーボードを切り替える」（P60）をご参照ください。
- キーボードが不要な場合は、⮐ をタップすることで閉じることができます。再び表示するには、画面上のテキストボックスをタップしてください。

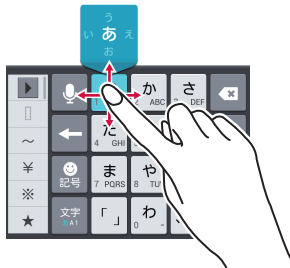
文字入力には8つのモードがあり、現在のモードはステータスバーのアイコンで確認できます。

あ	ひらがな漢字	AB	半角英字
カ	全角カタカナ	1	全角数字
ｶﾅ	半角カタカナ	12	半角数字
A	全角英字	🎤	音声入力

フリック入力を行う

10キーキーボードでは、フリックにより簡単に入力することができます。

1 入力したい文字が割り当てられているキーをタップする

- キーの上部にフリックガイド（文字）が表示されます。

2 入力したい文字の方向にドラッグする

- 濁点、半濁点、小文字を入力するには、大⇔小をタップします。

キーボードを切り替える

1 **ソフトウェアキーボードで 文字 をロングタッチする**

- 「LG日本語キーボード」メニューが表示されます。

2 **「キーボードタイプ」**

3 **「10キーキーボード」／「QWERTYキーボード」／「mazec-T手書き変換」**

- 入力モードを変更すると、キーボードは自動的に切り替わります。「10キーキーボード」／「QWERTYキーボード」／「mazec-T手書き変換」で切り替えなおしてください。

文字種を切り替える

文字入力画面で 文字 をタップするたびに、「ひらがな漢字」▶「半角英字」▶「半角数字」の順に文字種が切り替わります。

お知らせ

- 文字入力画面によっては、特定の文字種のみに限定されたり、選択できる文字種が制限される場合があります。

絵文字／記号／顔文字／絵文字Dを入力する

文字入力画面で 記号 をタップすると、絵文字／記号／顔文字／絵文字D入力モードになりディスプレイに絵文字の候補が表示されます。
「記号」をタップすると記号、「顔文字」をタップすると顔文字、「顔文字D」をタップすると顔文字Dの入力候補が表示されます。入力候補をタップすると、記号または顔文字が入力できます。
「文字」をタップすると、記号または顔文字入力前のソフトウェアキーボードが表示されます。

絵文字クイックを利用する

ソフトウェアキーボードが表示されている状態で ▶ をタップすると、最近使用した絵文字などの履歴が見られる「絵文字クイック」が画面の横幅いっぱいに表示されます。
「絵文字クイック」には、文字入力中の「記号」キーを経由して入力したデコメ絵文字®、絵文字、記号、顔文字Dと「絵文字クイック」から直接入力したもののみが表示されます。

- 顔文字は「絵文字クイック」に反映されません。
- 「絵文字クイック」に表示される内容は、アプリケーションによって異なります。
- 「絵文字クイック」に表示される内容は、絵文字または記号を入力することによって、表示順や表示される文字が変更される場合があります。

文字入力の設定を変更する

文字入力画面で をロングタッチすると「LG日本語キーボード」メニューが表示されます。ここで「LG日本語キーボード設定」をタップすると、文字入力に関する設定が変更できます。

キーボード設定（共通）	
キー操作音	チェックマークを付けると、キーボード操作に伴って音が鳴ります。
キー操作バイブレータ	チェックマークを付けると、キーボード操作に伴ってバイブレータが動作します。
キーポップアップ	チェックマークを付けると、入力時に選択した文字を拡大して表示します。
自動大文字変換	チェックマークを付けると、英字入力の際、文頭文字を自動的に大文字にします。
自動スペース入力	チェックマークを付けると、英字入力の際、候補選択した後に、半角スペースを自動的に挿入します。
ピリオド自動挿入	英字入力の際、スペースキーをダブルタップすると、ピリオドを挿入します。
キーボードレイアウト	画面の向き、入力モードごとに使用するキーボードのタイプを設定できます。
音声入力キー	キーボードに音声入力キーを表示するかどうかを設定します。
フルスクリーンモード	横画面表示のときに、文字入力欄を広げて表示するかどうかを設定します。
絵文字クイック	キーボードに絵文字クイックを表示するかどうかや表示位置を設定します。
キーボード設定（テンキー）	
フリック入力	チェックマークを付けると、10キーキーボードでの入力方法がフリック入力になります。チェックマークを外すとトグル入力になります。
フリック感度	「フリック入力」にチェックマークが付いている場合、タップすると「フリック感度（低⇔高）」メニューが表示され、スライドバーにより感度の設定を行えます。
トグル入力	「フリック入力」にチェックマークが付いている場合、チェックマークを付けるとフリック入力と同時にトグル入力が可能になります。
自動カーソル移動	自動カーソル移動の速度を指定します。

変換設定	
候補学習	チェックマークを付けると、変換で確定した語句を学習します。
予測変換	チェックマークを付けると、予測変換候補を表示します。
入力ミス補正	チェックマークを付けると、入力間違いの修正候補を表示します。
ワイルドカード予測	チェックマークを付けると、読みの文字数から変換候補を推測して表示します。
候補表示行数	変換候補を表示する行数を縦画面について設定できます。
外部アプリ連携	
マッシュルーム	外部アプリによる機能を使用するかどうかを設定できます。

辞書	
日本語ユーザー辞書	タップすると「日本語ユーザー辞書」画面が表示されます。☰ をタップすると、単語の登録、編集、削除、日本語ユーザー辞書の全消去を行うことができます。
英語ユーザー辞書	タップすると「英語ユーザー辞書」画面が表示されます。☰ をタップすると、単語の登録、編集、削除、英語ユーザー辞書の全消去を行うことができます。
学習辞書リセット	学習辞書の内容をすべて消去します。
IMEについて	
LG日本語キーボード	LG日本語キーボードの詳細情報が表示されます。

初期設定

初めて電源を入れたときの設定

本端末の電源を初めて入れたときは、本端末で使用する言語などの設定が必要です。一度設定を行うと、次回以降、設定する必要はありません。また、ここでの設定は、後から変更できます。

- ネットワークとの接続や設定の省略などによっては手順が異なります。

1. 電源キーを1秒以上押し続ける
2. 「ガイドに従って設定を始めましょう」の画面で「次へ」
   - 「日本語（日本）」をタップすると、言語を変更できます。
3. 「インターネット接続設定」画面で「モバイルネットワーク」／「Wi-Fi」のチェックマークを付ける／外す ▶「次へ」
   - 「Wi-Fi」を選択した場合は、Wi-Fi ネットワークの各項目を設定します。
4. 「Googleを利用する」画面で「ログイン」／「アカウントを作成」／「今は設定しない」▶「ありがとうございます」画面まで画面に従って設定する ▶「完了」
5. 「ソフトウェア更新」画面で「OK」
6. 「ドコモサービスの初期設定」画面で「進む」
7. 「アプリ一括インストール」画面で「インストールする」／「インストールしない」▶「進む」
8. 「おサイフケータイの利用」画面で「設定する」／「設定しない」▶「進む」
9. 「ドコモアプリパスワードの設定」画面で「設定する」▶ ドコモアプリパスワードを入力 ▶「OK」▶ 新しいドコモアプリパスワードを入力 ▶「OK」▶ 再度新しいドコモアプリパスワードを入力 ▶「OK」
10. 「位置提供設定」画面で「位置提供ON」／「位置提供OFF」／「電話帳登録外拒否」▶「進む」
11. 「プリインアプリ利用状況送信」画面で「利用状況を送信する」／「利用状況を送信しない」▶「進む」
12. 「設定完了」画面で「OK」

お知らせ

- オンラインサービスの設定は、データ接続可能な状態であること（LTE／3G／GPRS）が必要です。データ接続を可能とする方法については「無線とネットワーク」（P126）をご参照ください。

Wi-Fiを設定する

本端末は、Wi-Fiネットワークや公衆無線LANサービスのアクセスポイントに接続してインターネットなどを利用できます。接続するには、アクセスポイントの接続情報を設定する必要があります。

■ Bluetooth機能との電波干渉について

- 本端末の無線LAN対応機器とBluetooth機能とは同一周波数帯（2.4GHz）を使用しているため、Bluetooth機能の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、以下の対策を行ってください。
  - 無線LAN対応機器とBluetoothデバイスは、約10m以上離してください。
  - 約10m以内で使用する場合は、無線LAN対応機器またはBluetoothデバイスの電源を切ってください。

お知らせ

- Wi-Fi機能がONのときもパケット通信を利用できます。ただし、Wi-Fiネットワークに接続中は、Wi-Fiネットワークが優先されます。Wi-Fiネットワークが切断された場合には、自動的にLTE／3G／GPRSネットワークでの接続に切り替わります。切り替わったままでご利用される場合は、パケット通信料が発生する場合がありますのでご注意ください。
- Wi-Fiを使用しないときはOFFにすることで、電池の消費を抑制できます。

Wi-Fiネットワークのステータス

本端末がWi-Fiネットワークに接続されている場合、ステータスバーに が表示されます。また、ネットワーク検出通知が有効となっている場合、範囲内でセキュリティで保護されていないオープンネットワークが検出されると、常に がステータスバーに表示されます。

Wi-Fiネットワークに接続する

1 ホーム画面で ☰ ▶「本体設定」▶「Wi-Fi」

- 「Wi-Fi」画面が表示されます。

2 「Wi-Fi」をONにする

3 接続するWi-Fiネットワーク名をタップする

- セキュリティで保護されたWi-Fiネットワークに接続を試みると、そのWi-Fiネットワークのセキュリティキーの入力が求められます。「パスワード」ボックスにネットワークのパスワードを入力して「接続」をタップしてください。
- 通常、パスワード入力時は、入力直後の文字だけが表示され、それ以前に入力した文字は、文字数分だけ「・」が表示されます。「パスワードを表示する」にチェックマークを付けると、入力した文字をすべて表示させることができます。
- WPS対応のアクセスポイントに接続するときに、ポップアップ画面の「詳細オプション」にチェックマークを付けると、WPSの接続方法を選択して接続を行うことができます。

お知らせ

- 接続可能なネットワークは、オープンネットワークとセキュリティで保護されたネットワークの2種類があります。これは、Wi-Fiネットワーク名の右に（オープンネットワーク）／（セキュリティで保護されたネットワーク）のように異なったアイコンで表示されます。また、アイコンの表示により電波の強度が表されます。

電波が強い場合：	電波が弱い場合：

- Wi-Fiネットワークを再度検索する場合は、ホーム画面で ☰ ▶「本体設定」▶「Wi-Fi」▶「検索」をタップします。
- 接続可能なネットワークであっても、アクセスポイント側の設定によってはWi-Fiネットワーク名が表示されません。こうした場合でも、ネットワークに接続することは可能です。「Wi-Fiネットワークを追加する」（P66）をご参照ください。
- Wi-Fi接続する場合、接続に必要となる情報は、基本的にDHCPサーバーから自動的に取得されます。ただし、これらを個別に指定することもできます。
- Wi-FiのMACアドレス、IPアドレスは、ホーム画面で ☰ ▶「本体設定」▶「Wi-Fi」▶ ☰ ▶「詳細設定」をタップして確認できます。

セキュリティで保護されていないWi-Fiネットワークを検出したら通知する

1 **ホーム画面で ☰ ▶「本体設定」▶「Wi-Fi」**

- 「Wi-Fi」画面が表示されます。

2 **「Wi-Fi」をONにする**

3 **「ネットワーク検出通知」にチェックマークを付ける**

- セキュリティで保護されていないWi-Fiのオープンネットワークを検出したら自動的に通知します。

Wi-Fiネットワークを追加する

1 **ホーム画面で ☰ ▶「本体設定」▶「Wi-Fi」**

- 「Wi-Fi」画面が表示されます。

2 **「Wi-Fi」をONにする**

3 **「ネットワークを追加」**

- 「ネットワークを追加」メニューが表示されます。

4 **「ネットワークSSID」ボックスにネットワークSSIDを入力する**

5 **「セキュリティ」**

- 「セキュリティ」メニューが表示されます。「なし」「WEP」「WPA/WPA2 PSK」「802.1x EAP」の4種類から適切なものを選択します。
- セキュリティの設定ごとに、設定方法は異なります。

6 **「保存」**

- Wi-Fiネットワークが追加されます。

Wi-Fiネットワークのパスワードを変更する

1 ホーム画面で ☰ ▶「本体設定」▶「Wi-Fi」

- 「Wi-Fi」画面が表示されます。

2 Wi-Fiネットワーク名をロングタッチする

- メニューが表示されます。

3 「ネットワークを変更」

- 設定状況が表示されます。「パスワード」ボックスをタップし、新たなパスワードを入力します。

Wi-Fiネットワークから切断する

1 ホーム画面で ☰ ▶「本体設定」▶「Wi-Fi」

- 「Wi-Fi」画面が表示されます。

2 切断するWi-Fiネットワーク名をロングタッチする

- メニューが表示されます。

3 「ネットワークの切断」

- Wi-Fiネットワークから切断されます。

画面OFF時のWi-Fiの接続を設定する

画面OFF時にWi-Fi接続を切断し、データ通信に切り替えるタイミングを指定します。

1 ホーム画面で ☰ ▶「本体設定」▶「Wi-Fi」

- 「Wi-Fi」画面が表示されます。

2 ☰ ▶「詳細設定」

3 「画面OFF時のWi-Fi設定」

- 「画面OFF時のWi-Fi設定」メニューが表示されます。「接続を維持」「充電中は接続を維持」「接続を維持しない」の3種類から選択します。

接続できない電波を無視する

接続したいアクセスポイントから応答がない場合、インターネットに接続できないアクセスポイントと自動的に判断して、有効なアクセスポイントのみに再接続を試行する機能です。

1 ホーム画面で ☰ ▶「本体設定」▶「Wi-Fi」

- 「Wi-Fi」画面が表示されます。

2 ☰ ▶「詳細設定」

3 「接続できない電波を無視する」にチェックマークを付ける/外す

オンラインサービスアカウントを設定する

Googleなどのオンラインサービスで使用するアカウントを設定することで、本端末の情報を更新できます。また、サーバーの情報が更新された場合、自動的に同期するようにも設定できます。
さらに、不要なアカウントは削除することもできます。

オンラインサービスアカウントを追加する

1 ホーム画面で ☰ ▶「本体設定」▶「アカウントと同期」

- 「アカウントと同期」画面が表示されます。

2 「アカウントを追加」

- 「アカウントを追加」画面が表示されます。

3 アカウントを設定するオンラインサービスをタップする

- 画面の指示に従ってログイン情報などを入力してください。
- アカウントの追加処理が終了すると、「アカウントと同期」画面に追加したオンラインサービスが表示されます。

お知らせ

- 「アカウントと同期」をONにすると、アプリケーションが自動的にデータの同期を行います。これらの動作に伴い、パケット通信料がかかる場合があります。また、チェックマークを外している場合と比較すると電池が消耗します。

オンラインサービスのデータを手動で同期する

1 ホーム画面で ☰ ▶「本体設定」▶「アカウントと同期」
- 「アカウントと同期」画面が表示されます。

2 同期するアカウントをタップする
- オンラインサービスの同期データリストが表示されます。

3 同期するデータにチェックマークを付ける
- チェックマークを付けたデータが同期されます。

オンラインサービスアカウントを削除する

1 ホーム画面で ☰ ▶「本体設定」▶「アカウントと同期」
- 「アカウントと同期」画面が表示されます。

2 削除するアカウントをタップする
- 「同期設定」画面が表示されます。

3 ☰ ▶「アカウントを削除」▶「OK」
- 該当のアカウントが削除されます。

お知らせ
- docomoアカウントは追加/削除できません。

通知LED

不在着信/SMS/FeliCa/アラーム/カレンダー通知/Eメールなどの通知を青色のLEDライトの点滅で通知することができます。

1 ホーム画面で ☰ ▶「本体設定」▶「表示」▶「通知表示」

2 「通知用のLEDライトを使用します。」にチェックマークを付ける

3 通知LEDを使用する機能にチェックマークを付ける

お知らせ
- エリアメールの通知表示は変更できません。

画面表示／アイコンの見かた

ステータスバー

ステータスバーは画面上部に表示されます。ステータスバーには本端末のステータスと通知情報が表示されます。ステータスバーの左側に通知アイコンが表示され、右側に本体のステータスアイコンが表示されます。

主なステータスアイコン

	電波レベル
	圏外
（白色）	Bluetooth機能ON
（水色）	Bluetoothデバイスに接続中
	国際ローミング使用可能
	国際ローミング通信中
	GPRS使用可能
	GPRSによる通信中
	3G使用可能
	3Gによる通信中
	LTE使用可能
	LTEによる通信中
	FOMAハイスピード使用可能
	FOMAハイスピード通信中

	Wi-Fi接続中
	Wi-Fiによる通信中
	Wi-Fi Direct利用中
	電池残量
	充電が必要
	電池残量なし
	充電中
	機内モード設定中
	ドコモminiUIMカードロック状態または ドコモminiUIMカード未挿入
	サイレント（バイブレーションなし）
	バイブレートのみ
	アラーム設定中
	データ同期中
	おサイフケータイ ロック設定中

主な通知アイコン

	新着Gmailあり
	新着メッセージ（SMS）あり
	メッセージ（SMS）の配信に問題あり
	新着Googleトークメッセージあり
	発信中
	不在着信あり
	留守番電話あり
	アラーム通知あり
	カレンダーに設定された予定あり
	音楽を再生中
	オープンネットワーク（Wi-Fi）を検出
	USB接続中
	充電完了
	スロー充電中
	本端末のメモリの空き容量低下

	データアップロード中
	データアップロード完了
	データダウンロード中
	データダウンロード完了
	ログインに問題あり
	同期に問題あり
	利用可能なアップデートあり
	アプリケーションのインストール完了
	ワンセグ視聴中
	その他の通知あり
	GPS測位中（点滅）
	VPN接続中
	USBデバッグモード接続中
	Wi-Fiテザリング使用可能
	おまかせロック中

お知らせ

- は、パソコンで充電する場合など、ACアダプタ（別売）を使用せずに充電した場合に表示されます。
- が表示されているときの充電速度は、ACアダプタ（別売）を使用した場合よりも遅くなります。
- は、内部ストレージの容量が不足している場合に表示されます。
- が表示されているときは、アプリケーションをダウンロードしてもインストールが出来ない場合があります。
  空き容量を確保してから再度アプリケーションのインストールを行ってください。

通知パネル

通知アイコンは通知パネルに表示されます。メッセージ、リマインダー、予定の通知などの通知を通知パネルから直接開くことができます。

通知パネルを開く

1 ステータスバーを下にドラッグまたはスワイプする

- 通知パネルが表示されます。通知パネル上部にはアイコンが表示され、ONの状態では青、OFFの状態では白で表示されます。

❶ **アイコン**

左右にドラッグすると、表示されていないアイコンを表示できます。

- 機内モード：機内モードのON／OFFを切り替えます。ロングタッチすると、「無線とネットワーク」画面が表示されます。
- サウンド：サウンドとバイブレート／バイブレートのみ／サイレントを切り替えます。ロングタッチすると、「サウンド」画面が表示されます。
- データ：データ通信の有効／無効を切り替えます。ロングタッチすると、「モバイルネットワーク設定」画面が表示されます。
- テザリング：Wi-FiテザリングのON／OFFを切り替えます。ロングタッチすると、「テザリング」画面が表示されます。
- 回転：縦横画面の自動回転のON／OFFを切り替えます。ロングタッチすると、「表示」画面が表示されます。
- Wi-Fi：Wi-Fi機能のON／OFFを切り替えます。ロングタッチすると、「Wi-Fi」画面が表示されます。
- Bluetooth：Bluetooth機能のON／OFFを切り替えます。ロングタッチすると、「Bluetooth」画面が表示されます。
- GPS：GPS機能の有効／無効を切り替えます。ロングタッチすると、「位置情報サービス」画面が表示されます。
- 明るさ：画面の明るさを４段階で調整します。ロングタッチすると、「表示」画面が表示されます。
- 同期：アカウントと同期機能のON／OFFを切り替えます。ロングタッチすると、「アカウントと同期」画面が表示されます。
- Ecoモード：Ecoモードの ON／OFFを切り替えます。ロングタッチすると、「クアッドコア制御」画面が表示されます。
- Miracast：MiracastのON／OFFを切り替えます。ロングタッチすると、「Miracast」画面が表示されます。
- Qメモ：Qメモが起動します。
- パワーセーブ：パワーセーブのON／OFFを切り替えます。ロングタッチすると、「パワーセーブ」画面が表示されます。
- 編集：「クイック設定」画面が表示されます。

❷ **日付**
日付を表示します。

❸ **通知情報**
通知情報の詳細を表示します。

❹ **通信事業者名／SIM事業者名**
上には、現在接続中のネットワークの通信事業者名が表示され、下には、SIMカードから読み取った事業者名が表示されます。

❺ **スクロールバー**
上方向にスクロールすると通知パネルを閉じます。

❻ **通知を消去**
通知情報と通知アイコンの表示を消去します。
通知内容によっては通知を消去できない場合があります。

❼ **設定ボタン**
設定メニューが表示されます。

通知内容の詳細を表示する

1 通知パネルの通知メッセージをタップする

- 最適なアプリケーションが開き、通知内容の詳細が表示されます。

通知パネルを閉じる

1 パネルの下部を上にドラッグまたはスワイプする

お知らせ

- ⮌ をタップして閉じることもできます。

クイック設定を並び替える

1 通知パネルの「編集」をタップする

- 「クイック設定」画面が表示されます。

2 並び替えたい項目の ☰ をドラッグする

クイック設定をカスタマイズする

1 通知パネルの「編集」をタップする

- 「クイック設定」画面が表示されます。

2 ☰+ をタップする

3 表示したい項目にチェックマークを付ける

アイコンのカスタマイズ

ホーム画面で使用するショートカットのアイコンを自分好みにカスタマイズできます。

お知らせ

- ホーム画面で ☰ ▶「本体設定」▶「ホームスクリーン」▶「ホーム選択」▶「ホーム」を選択した場合にのみ利用できます。docomo Palette UI をご利用の場合はアイコンをカスタマイズできません。

標準ホームアプリのアイコンを変更する

1 ショートカットのアイコンをロングタッチする

- アイコンの右上に が表示されます。

2 もう一度、ショートカットのアイコンをタップする

- アイコン選択画面が表示されます。

3 画面左上のプルダウンメニューをタップして、「Optimus」／「Biz」／「Cozywall」／「Marshmallow」のいずれかを選択する

4 お好みのアイコンをタップする

写真アイコンに変更する

カメラやギャラリーの写真をホーム画面のアイコンとして設定することもできます。

1 ショートカットのアイコンをロングタッチする

- アイコンの右上に が表示されます。

2 もう一度、ショートカットのアイコンをタップする

- アイコン選択画面が表示されます。

3 「写真アイコンの生成」▶「写真を撮影」／「ギャラリーから選択」のいずれかを選択する

- カメラまたはギャラリーが起動します。

4 カメラで写真を撮影して保存する／ギャラリーで設定したい画像を選択する ▶ サイズを調整する ▶「OK」

docomo Palette UI

docomo Palette UIは、ウェブへのアクセスやアプリケーションなど、やりたいことがスピーディーに見つかり操作できる、使いやすさに配慮したホームアプリです。

ホーム画面の見かた

ホーム画面ではアプリケーションのショートカットやウィジェットを追加／移動したり、壁紙を変えるなどカスタマイズできます。
ホーム画面には、ショートカットやウィジェットを追加するための画面が最大12画面まで追加できます。

※「ひつじのしつじくん®」©NTT DOCOMO

ホーム画面の管理

ホーム画面に追加できるもの

ホーム画面を自分好みにカスタマイズできます。

1 ホーム画面をロングタッチする

- 「操作を選択」メニューが表示されます。

ショートカット	ショートカットを作成できます。
ウィジェット	ウィジェットを配置できます。
フォルダ	フォルダを作成できます。
きせかえ	アイコンの背景やデザインを選択できます。
壁紙	ホーム画面の壁紙を選びます。
グループ	グループへのショートカットを作成します。
ホーム画面一覧	ホーム画面の一覧が表示されます。画面の移動や追加を行えます。
壁紙ループ設定	壁紙の表示をループするかどうかを設定します。

2 追加／設定する項目をタップする

- 各項目に応じた選択リストが表示されます。

ショートカットなどの移動

1 ホーム画面で、移動するショートカットアイコンまたはウィジェットをロングタッチする

2 そのままドラッグし、移動先で指を離す

- ショートカットアイコンまたはウィジェットが移動できます。

お知らせ

- 右または左の画面の端にドラッグすると、別のホーム画面の領域に移動することもできます。

ショートカットなどのホーム画面からの削除

1 ホーム画面で、削除するショートカットアイコンまたはウィジェットをロングタッチする

2 そのまま左下の 🗑 にドラッグして指を離す

- ホーム画面から削除されます。
- 削除するショートカットアイコンまたはウィジェットをロングタッチ ▶ ポップアップメニューで「削除」をタップしても削除できます。

アプリケーションやウィジェットのアンインストール

1 ホーム画面で、アンインストールしたいアプリケーションまたはウィジェットをロングタッチ ▶「アンインストール」

- 「アプリケーションのアンインストール」画面が表示されます。

2 確認画面が表示されたら「OK」▶「OK」をタップする

- アプリケーションが削除されます。

お知らせ

- お買い上げ時に用意されているアプリケーションには、アンインストールできないものもあります。

フォルダ名の変更

1 ホーム画面で名前を変更するフォルダをタップする

- フォルダのウィンドウが開きます。

2 タイトルバーをロングタッチする

3 フォルダ名を入力して「OK」

- フォルダの名前が変更されます。
- フォルダをロングタッチ ▶ ポップアップメニューで「名称変更」をタップしても変更できます。

きせかえの変更

ホーム画面の壁紙やアイコンを変えて、イメージを着せ替えます。

1 ホーム画面をロングタッチする

- 「操作を選択」メニューが表示されます。
- ホーム画面で ☰ ▶「きせかえ」と操作しても設定できます。

2 「きせかえ」▶ デザインを選ぶ ▶「設定する」

- ウェブサイトから好きなデザインのきせかえを探して設定することもできます。

壁紙の変更

1 ホーム画面をロングタッチする

- 「操作を選択」メニューが表示されます。
- ホーム画面で ☰ ▶「壁紙」と操作しても設定できます。

2 「壁紙」

3 「ギャラリー」／「ライブ壁紙」／「壁紙ギャラリー（ホーム）」／「壁紙ギャラリー（docomo Wallpaper）」

- 「ギャラリー」をタップした場合は、壁紙として使用する画像を選択し、ドラッグして壁紙に使用したい画像の範囲にトリミング枠を設定して、「OK」をタップすると、壁紙に設定されます。
- 「ライブ壁紙」をタップした場合は、ライブ壁紙の一覧が表示されます。いずれかのライブ壁紙をタップして選択した後、「壁紙に設定」をタップしてください。壁紙の種類によっては、「設定...」をタップすると、ライブ壁紙の設定を行うことができます。

ホーム画面の追加

ホーム画面を追加することができます。

1 ホーム画面をロングタッチする

- 「操作を選択」メニューが表示されます。

2 「ホーム画面一覧」

- 「ホーム画面一覧」画面が表示されます。

3 「+」マークがあるホーム画面のサムネイルをタップする

- 「+」マークは画面を追加できる場合に表示されます。
- ホーム画面は最大12個まで作成できます。

ホーム画面の並べ替え

ホーム画面のスクロール順を並べ替えることができます。

1 ホーム画面をロングタッチする

- 「操作を選択」メニューが表示されます。

2 「ホーム画面一覧」

- 「ホーム画面一覧」画面が表示されます。

3 ホーム画面のサムネイルをロングタッチして移動したい場所へドラッグする

ホーム画面の削除

1 ホーム画面をロングタッチする

- 「操作を選択」メニューが表示されます。

2 「ホーム画面一覧」

- 「ホーム画面一覧」画面が表示されます。

3 ホーム画面のサムネイルの右上に表示されている ☒ をタップする

- サムネイルをロングタッチし、ポップアップメニューで「削除」をタップしても削除できます。

お知らせ

- ホーム画面の追加／並べ替え／削除は、ホーム画面で ☰ ▶「ホーム画面一覧」と操作しても行うことができます。

アプリケーション画面の見かた

1 **ホーム画面で「アプリ」**

グループごとにアプリケーションがアイコンで一覧表示されます。

アプリケーション一覧

一部のアプリケーションの使用には、別途お申し込み（有料）が必要となるものがございます。

ドコモサービス		
	dメニュー	iモードで利用できたコンテンツをはじめ、スマートフォンならではの楽しく便利なコンテンツを簡単に探せる「dメニュー」へのショートカットアプリです。（P162）
	dマーケット	dマーケットを起動するアプリです。dマーケットでは、音楽や動画、書籍などのコンテンツを購入することができます。また、Google Play上のアプリを紹介しています。（P162）
	iチャネル	iチャネルを利用するためのアプリです。

	ｉコンシェル	ｉコンシェルを利用するためのアプリです。ｉコンシェルは、ケータイがまるで「執事」や「コンシェルジュ」のように、あなたの生活をサポートしてくれるサービスです。
	しゃべってコンシェル	「調べたいこと」や「やりたいこと」などを端末に話しかけると、その言葉の意図を読み取り、最適な回答を表示するアプリです。
	マチキャラ	端末の画面にキャラクターを表示させるアプリです。キャラクターはウィジェット上で動き、ｉコンシェルインフォメーションやメール受信や着信などの情報をおしらせします。
	ドコモバックアップ	「ケータイデータお預かりサービス」もしくは「電話帳バックアップ」をご利用いただくためのアプリです。電話帳などのデータをバックアップしたり、復元したりすることができます。

基本機能		
	電話	電話をかけたり、受けたりできます。（P94）
	電話帳	連絡先を登録したり、登録した連絡先から簡単に電話やメールをしたりすることができます。（P104）
	SDカードバックアップ	microSDカードなどの外部記録媒体を利用して、電話帳、spモードメール、ブックマークなどのデータの移行やバックアップができるアプリです。（P210）
	spモードメール	ドコモのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。絵文字、デコメール®の使用が可能で、自動受信にも対応しています。（P112）
	エリアメール	緊急速報「エリアメール」の受信と、受信したエリアメールの確認ができるアプリです。（P119）

	災害用キット	災害用伝言板にメッセージの登録や確認などができるアプリです。
	取扱説明書※	本端末の取扱説明書です。説明から使いたい機能を直接起動することもできます。
エンターテイメント		
	NOTTV	モバキャスを視聴できます。「NOTTV」などの放送局の番組・コンテンツをお楽しみ頂けます。(P169)
	メディアプレイヤー	音楽や動画を再生することができるアプリです。(P190)
	Gガイド番組表	地上波・BSの番組表が閲覧できるアプリです。キーワードやジャンルによる番組検索や、ワンセグの視聴、外出先からの遠隔録画も可能です。
	テレビ	テレビ(ワンセグ)を視聴できます。(P174)
	ギャラリー	静止画(写真)および動画を閲覧できます。(P188)

	Video Wiz	手軽にミュージックビデオを作成することができます。
便利ツール		
	カメラ	静止画(写真)および動画を撮影できます。(P182)
	メモ	メモを作成・管理できるアプリです。iコンシェルサービスに対応しています。
	スケジュール	スケジュールを作成・管理できるアプリです。iコンシェルサービスに対応しています。
	赤外線	電話帳などのデータを赤外線通信により送受信できるアプリです。(P153)
	ICタグ・バーコードリーダー	ICタグとバーコードを読み取るためのアプリです。
	電卓	四則演算などができます。(P208)
	アラーム時計	ストップウォッチ測定、およびタイマー、ワールドクロック、アラームの設定ができます。(P204)

	ノートブック	好きな画像やメモ書きをスクラップ保存できます。（P218）
	7notes with mazec-T	手書きで文字入力ができます。（P215）
	Polaris Office 4.0	さまざまな文書フォーマットを簡単に読んだり、編集したりできます。（P209）
	SmartWorld	多様なアプリケーションとドラマおよびバラエティ番組などの動画コンテンツをご利用いただけます。（P209）
おサイフ／ショッピング		
	おサイフケータイ	おサイフケータイの設定をします。（P165）
	iDアプリ	電子マネーiDを利用するための設定を行うアプリです。
	トルカ	トルカの取得・表示・検索・更新などができます。（P168）

設定		
	設定	各種設定を行うことができます。（P126）
	遠隔サポート	「スマートフォンあんしん遠隔サポート」をご利用いただくためのアプリです。「スマートフォンあんしん遠隔サポート」はお客様がお使いの端末の画面を、専用コールセンタースタッフが遠隔で確認しながら、操作のサポートを行うサービスです。（P238）
Google		
	Eメール	パソコンと同様にメールの送受信ができます。（P114）
	Gmail	Google アカウントのメールの送受信ができます。（P118）
	メッセージ	SMSの送受信ができます。（P112）

	トーク	Google アカウントを所有する友だちとチャット（文字によるおしゃべり）ができます。（P124）
	インターネット	ウェブページが閲覧できます。（P120）
	Chrome	ウェブページが閲覧できます。（P124）
	検索	本端末内の電話帳やアプリケーション、ウェブページなどを対象として検索できます。
	ダウンロード	ダウンロードしたデータを確認、表示、または再生できます。
	Playストア	Playストアを利用して、便利なアプリケーションや楽しいゲームに直接アクセスして、本端末にダウンロード、インストールすることができます。（P163）
	YouTube	YouTube の動画を再生したり、撮影した動画をYouTubeにアップロードできます。
	動画	内部ストレージやSDカード内の動画を再生できます。
	Play ムービー	Play ムービーを利用して、映画をレンタルして視聴したり、個人で撮影した動画を管理したりすることができます。
	カレンダー	カレンダーを表示したり、スケジュールを管理したりできます。（P206）
	マップ	現在地の表示、別の場所の検索、および経路の検索ができます。（P201）
	ナビ	音声ガイダンスで目的地までの経路の案内ができます。（P203）
	ローカル	現在地の近くのレストランや、カフェ、居酒屋、観光スポット、ATM、ガソリンスタンドなどを簡単に探すことができます。（P203）

	Latitude	地図上で友だちと位置を確認しあったり、ステータスメッセージを共有したりできます。また、メールを送ったり、友だちの現在地への経路が検索できます。（P202）
	Google+	サークルに登録したユーザーとだけ情報を共有できるソーシャルアプリです。
	メッセンジャー	サークル内のみんなとすばやくメッセージを交換することができます。

※ 取扱説明書の再ダウンロードについて、詳しくは表紙裏面をご覧ください。

お知らせ

- このアプリケーション一覧は、お買い上げ時にプリインストールされているものです。プリインストールされているアプリケーションには一部アンインストールできるアプリケーションがあります。一度アンインストールしても「Playストア」（P163）で再度ダウンロードできます。
- ソフトウェア更新を行うと、アプリケーションの内容やアイコンの位置が変わることがあります。
- アプリケーションによっては、アイコンの下に名前が最後まで表示されない場合があります。

「おすすめ」タブのアプリケーション一覧

「おすすめ」アプリケーションのインストールについては、「おすすめ」アプリケーションのインストール（P92）をご参照ください。

	あんしんスキャン	端末をウイルス被害から守るアプリです。インストールしたアプリやmicroSDカードなどに潜むウイルスを検出します。
	BOOKストアマイ本棚	dマーケットBOOKストアで購入した電子書籍を閲覧するためのアプリです。
	ハイカム	撮影した動画や写真を分析して、自動編集した動画を作成できるアプリです。いろいろなシーンに合わせたテンプレートやBGMを使うことができ、作成した動画はSNSなどへの投稿も簡単に行うことができます。

	Beam	本端末と同一ホームネットワーク上に接続されたテレビやオーディオ、その他のメディアプレーヤーで、動画、音楽、写真などのコンテンツを共有して楽しむことができます。
	フォトコレクション	写真・動画の無料ストレージサービスを利用できるアプリです。写真の閲覧や、クラウド上で顔やシーンを識別して自動でグループ分けができます。
	地図アプリ	地図・お店や施設検索・ナビ・乗換・訪れた街などの機能でおでかけをサポートします。
	名刺作成	「電話帳」アプリ内のマイプロフィール欄に表示するオリジナルの名刺を作成するためのアプリです。
	ecoモード	ディスプレイの明るさなど各種設定を調整することにより、電池の消耗を抑える「ecoモード」を設定するアプリです。
	ドコモ海外利用	海外でのパケット通信利用をサポートするアプリです。データローミング設定や海外パケ・ホーダイを利用する際の対象事業者設定を簡単に行うことができます。

アプリケーションの管理

ショートカットのホーム画面への追加

1 ホーム画面で「アプリ」

2 ショートカットを作成したいアプリケーションのアイコンまたはグループをロングタッチ ▶「ホームへ追加」

- ホーム画面にショートカットアイコンが追加されます。

アプリケーションのアンインストール

1 ホーム画面で「アプリ」

2 アンインストールしたいアプリケーションのアイコンをロングタッチ ▶「アンインストール」

- 「アプリケーションのアンインストール」画面が表示されます。

3 確認画面が表示されたら「OK」▶「OK」をタップする

- アプリケーションが削除されます。

お知らせ

- お買い上げ時に用意されているアプリケーションには、アンインストールできないものもあります。

アプリケーションの移動

1 ホーム画面で「アプリ」

2 移動するアプリケーションのアイコンをロングタッチする

3 そのままドラッグし、移動先で指を離す

- アプリケーションが移動します。
- 移動するアプリケーションのアイコンをロングタッチ ▶ ポップアップメニューで「移動」をタップ ▶ 移動先を選択しても移動できます。

グループの管理

アプリケーション画面でグループの管理を行って、アイコンを整理することができます。

グループを追加する

1 ホーム画面で「アプリ」
2 ☰ ▶「グループ追加」
3 グループ名を入力して「OK」
• アプリケーション画面にグループが追加されます。

グループの並べ替え

1 ホーム画面で「アプリ」
2 グループ名をロングタッチしてドラッグする
• グループの位置が移動されます。

グループ名の編集

1 ホーム画面で「アプリ」
2 グループ名をロングタッチ ▶「名称変更」
3 新しいグループ名を入力して「OK」
• グループ名が変更されます。

お知らせ

• 「最近使ったアプリ」／「ドコモサービス」／「ダウンロードアプリ」グループは、名称を変更することができません。

グループラベルの変更

1 ホーム画面で「アプリ」
2 グループのラベルをロングタッチ ▶「ラベル変更」
• ラベルを選んでタップします。

グループのホーム画面への追加

1 ホーム画面で「アプリ」

2 グループ名をロングタッチ ▶「ホームへ追加」

- ホーム画面にグループのショートカットアイコンが追加されます。

グループの削除

1 ホーム画面で「アプリ」

2 グループ名をロングタッチ ▶「削除」

3 「OK」

- グループが削除されます。

お知らせ

- 「最近使ったアプリ」/「ドコモサービス」/「ダウンロードアプリ」グループは、削除できません。

端末内のアプリケーションやウェブページを検索

1 ホーム画面で「アプリ」

2 ☰ ▶「検索」

- 検索ウィジェットが起動します。キーワードを入力するか、音声入力して検索します。

アプリケーション画面の表示切り替え

アプリケーション画面の表示を、タイル形式、リスト形式の2種類から選択します。

1 ホーム画面で「アプリ」

2 ☰ ▶「リスト形式」／「タイル形式」

「おすすめ」アプリケーションのインストール

1 ホーム画面で「アプリ」

2 「おすすめ」

3 インストールしたいアプリケーションをタップする

- 画面の指示に従ってアプリケーションをインストールしてください。

お知らせ

- 「おすすめ」タブには、ドコモがおすすめするアプリケーションが表示されます。
- アプリケーションアイコンをタップして、アプリケーションのダウンロード画面に移動します。
- ダウンロードしたアプリケーションは、「アプリ」タブの「ダウンロードアプリ」グループに表示されます。
- 「おすすめ」タブの「もっとアプリを見る」をタップすると、ブラウザが起動し、dメニューのトップ画面が表示されます。

ホームアプリの情報

docomo Palette UIの操作ガイドを見ることができます。

1 ホーム画面で ☰ ▶「ヘルプ」
- docomo Palette UIの操作について説明が表示されます。

ホームアプリのバージョン情報

1 ホーム画面で「アプリ」
2 ☰ ▶「アプリケーション情報」
- アプリケーション名、提供者、バージョンが表示されます。

ホームアプリの設定

1 ホーム画面で ☰ ▶「本体設定」▶「ホームスクリーン」
- 「ホームスクリーン」画面が表示されます。

ホーム選択	ホームアプリを切り替えます。「docomo Palette UI」と「ホーム」があります。
テーマ※	ホーム画面のテーマを選択します。
アニメーション表示※	「アニメーションなし」／「すべて表示」のどちらかを選択します。
スクリーン効果※	スクリーン効果を選択します。
壁紙	「ギャラリー」、「ライブ壁紙」、「壁紙ギャラリー（ホーム）」、「壁紙ギャラリー（docomo Wallpaper）」のいずれかを選択します。
ポートレートビューのみ※	ホーム画面を常にポートレートビューで表示するかどうかを設定します。
エンドレスモード※	ホーム画面をスクロールしたとき、最後の画面から最初の画面に戻るかどうかを指定します。
設定のバックアップとリストア※	アプリケーションやウィジェットの設定およびテーマのバックアップとリストアを行います。

※ docomo Palette UIでは、変更できません。

電話

電話をかける

1 ホーム画面で「電話」▶「ダイヤル」

- 「ダイヤル」タブが表示されます。

2 電話番号を入力 ▶ [発信ボタン]

- 電話番号の入力を誤った場合は、[削除ボタン] をタップすることで消去できます。

❶ **タブ**
「発着信リスト」タブ（P99）
「お気に入り」タブ（P108）
「ダイヤル」タブ：ダイヤル画面が表示されます。

❷ **電話番号入力欄**
入力した電話番号が表示されます。

❸ **ダイヤルキー**

❹ **電話発信ボタン**

❺ **「電話帳に登録」ボタン**
入力した電話番号を連絡先として登録します。

❻ **訂正ボタン**
入力した文字を消去します。

❼ **「声の宅配便」ボタン**
声の宅配便の詳細は、ドコモのホームページをご覧ください。

❽ **「電話帳」ボタン**
電話帳を表示します。（P104）

3 通話が終了したら「終了」

ポーズを入力する

1 ホーム画面で「電話」▶「ダイヤル」

- 「ダイヤル」タブが表示されます。

2 電話番号を入力し、☰ ▶「2秒間の停止を追加」

- 電話番号の後ろに「,」（カンマ）が表示されます。
- ☰ ▶「待機を追加」をタップしても電話番号の後ろに「;」が入力されますので、操作3に進んでください。待機を追加して通話すると、「;」の後に入力した番号を送信するかどうかの確認メッセージが表示されます。

3 利用するサービスのメニュー番号などを入力 ▶ [📞]

緊急通報

緊急通報	電話番号
警察への通報	110
消防・救急への通報	119
海上での通報	118

お知らせ

- 本端末は、「緊急通報位置通知」に対応しております。110番、119番、118番などの緊急通報をかけた場合、発信場所の情報（位置情報）が自動的に警察機関などの緊急通報受理機関に通知されます。お客様の発信場所や電波の受信状況により、緊急通報受理機関が正確な位置を確認できないことがあります。位置情報を通知した場合には、ホーム画面に通報した緊急通報受理機関の名称が表示されます。なお、「184」を付加してダイヤルするなど、通話ごとに非通知とした場合は、位置情報と電話番号は通知されませんが、緊急通報受理機関が人命の保護などの事由から、必要であると判断した場合は、お客様の設定によらず、機関側が位置情報と電話番号を取得することがあります。また、「緊急通報位置通知」の導入地域／導入時期については、各緊急通報受理機関の準備状況により異なります。
- 本端末から110番、119番、118番通報の際は、携帯電話からかけていることと、警察・消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、電話番号を伝え、明確に現在地を伝えてください。
  また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず、10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- かけた地域により、管轄の消防署・警察署に接続されない場合があります。
- 日本国内では、ドコモminiUIMカードを取り付けていない場合、PINコードの入力画面およびPINロック解除コード入力画面からは緊急通報110番／119番／118番に発信できません。PINコードについて詳しくは「暗証番号とドコモminiUIMカードの保護について」（P142）をご参照ください。

国際電話を利用する（WORLD CALL）

WORLD CALLは国内でドコモの端末からご利用いただける国際電話サービスです。
FOMAサービスをご契約のお客様は、ご契約時にあわせてWORLD CALLもご契約いただいています（ただし、不要のお申し出をされた方を除きます）。

- WORLD CALLの詳細については、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- 海外利用（P219）

一般電話へかける場合

1 ホーム画面で「電話」▶「ダイヤル」

- 「ダイヤル」タブが表示されます。

2 「010」▶ 国番号 ▶ 地域番号（市外局番）▶ 相手先電話番号の順に入力して

携帯電話へかける場合

1 ホーム画面で「電話」▶「ダイヤル」

- 「ダイヤル」タブが表示されます。

2 「010」▶ 国番号 ▶ 相手先携帯電話番号の順に入力して

お知らせ

- 相手先の携帯電話番号、地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には、先頭の「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域におかけになるときは「0」が必要な場合があります。
- 「010」のかわりに「+」（「+」は「0」をロングタッチします）や従来どおりの「009130-010」でもかけられます。

電話を受ける

1 **電話がかかってくる**

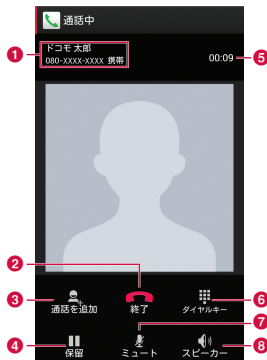
- 着信中に音量キー（上）／音量キー（下）を押すと、着信音、バイブレートの動作を止めることができます。
- クイック返信：☰ ▶「クイック返信」▶ 送信したいメッセージをタップ

2 **「操作開始」▶「通話」**

- 着信拒否：「操作開始」▶「拒否」

3 **通話が終了したら「終了」**

通話中の操作

通話中には利用状況に応じて音量を調整したり、スピーカーやマイクのON ／ OFF、保留などの操作ができます。

❶ 名前や電話番号、地域
❷ 通話を終了
❸ 別の相手に電話をかける※1
❹ 通話を一時保留※1※2
❺ 通話時間
❻ ダイヤル入力のダイヤルパッドを表示※2
プッシュ信号（DTMF トーン）を送信します。
❼ マイクを OFF（消音）※2
自分の声が相手に聞こえないようにします。
❽ スピーカーフォンを ON※2
相手の声をスピーカーから流して、ハンズフリーで通話します。

※1 キャッチホンのご契約が必要です。
※2 もう一度タップするとタップ前の状態に戻ります。

通話音量を調整する

通話中に相手の声の音量を調整できます。

1 通話中に音量キー（上）／音量キー（下）を押す

- 操作に応じて、通話音量が変わります。

発着信履歴

電話の発着信履歴を確認できます。

1 ホーム画面で「電話」▶「 発着信リスト」

❶ **着信履歴**
着信履歴のみ表示します。

❷ **同じ相手との連続発着信履歴**
同じ相手と連続して発着信している場合 ▶ が表示されます。
- 括弧内の数字は履歴件数です。
- 相手をタップすると履歴の詳細確認、もう一度タップすると元に戻ります。

❸ **発信ステータスアイコン**
：声の宅配便
：発信者番号通知なし※
：発信者番号通知あり※
：国際電話の発信履歴
：国際電話の着信履歴

❹ **名前や電話番号**
タップしてアクションリストを表示します。
- アクションリストの項目をタップして、電話発信、ＳＭＳ送信、電話帳登録またはプロフィール画面の表示などを行います。
- ロングタッチすると、履歴を削除したり、電話番号を編集して発信したりできます。

❺ **発信履歴**
発信履歴のみ表示します。

❻ **発信アイコン**
タップして電話を発信します。

❼ **履歴アイコン**
：発信履歴
：着信履歴
：不在着信履歴

❽ **電話帳**
タップして電話帳を表示します。

※ 発信時、電話番号の前に「186」／「184」を付加した場合、またはダイヤル画面で電話番号を入力して ☰ ▶「発信者番号通知」▶「通知する」／「通知しない」で番号通知／番号非通知を設定した場合に表示されます。

不在着信の相手に電話をかける

不在時に着信があった場合は、ステータスバーから不在着信の通知を確認できます。

1 ステータスバーに が表示されている状態でステータスバーを下にドラッグまたはスワイプする

- 通知パネルに不在着信の通知が表示されます。不在着信の通知には、相手の電話番号または電話帳に登録されている名前と、不在着信の時刻または日付が表示されます。

2 不在着信の通知をタップする

- 発着信リストの「電話（着信履歴）」タブが表示されます。
- 不在着信の履歴には、 が表示されます。

3 不在着信の履歴の右にある をタップする

- 呼び出しが行われます。

発着信リストの電話番号を電話帳に登録する

発着信リストの中で、連絡先として登録されていないものを登録できます。

1 「発着信リスト」タブで電話番号をタップする

2 「電話帳に登録」

- 「電話帳登録/更新」画面が表示されます。

3 「新規登録」

- 複数のアカウントを登録している場合は、連絡先を作成するアカウントを選択してください。

4 情報を入力して「登録完了」

- 連絡先として登録されます。

お知らせ

- 「発着信リスト」タブで登録したい電話番号をロングタッチ ▶「発信前に番号を編集」▶「電話帳に登録」と操作しても、電話帳に登録することができます。

発着信リストを消去する

発着信リストは自動的に追加されますが、任意の履歴またはすべての履歴を消去できます。

任意の発着信リストを消去する

1 「発着信リスト」タブで電話番号をロングタッチする

- メニューが表示されます。

2 「通話履歴から削除」▶「OK」

- 該当の通話履歴が消去されます。

すべての発着信リストを削除する

1 「発着信リスト」タブで ☰ ▶「全件削除」▶「OK」

- 「着信履歴」▶ ☰ ▶「全件削除」▶「OK」ですべての着信履歴が削除されます。
- 「発信履歴」▶ ☰ ▶「全件削除」▶「OK」ですべての発信履歴が削除されます。

通話設定／その他

各種通話に関する設定を行います。

1 ホーム画面で「電話」▶ ☰ ▶「通話設定」

ネットワークサービス	ドコモのネットワークサービスを設定します。
海外設定	国際ローミング時の設定を行います。（P224）
通話詳細設定	通話に関する詳細設定を行います。
クイック返信	クイック返信する文章を編集します。
オープンソースライセンス	オープンソースライセンスを表示します。

ネットワークサービスを設定する

ドコモのネットワークサービスの設定ができます。

1 ホーム画面で「電話」▶ ☰ ▶「通話設定」▶「ネットワークサービス」

声の宅配便	サービスの利用、設定確認・変更を行います。
留守番電話サービス	サービスの開始／停止などを行います。
転送でんわサービス	サービスの開始／停止などを行います。
キャッチホン	サービスの開始／停止などを行います。
発信者番号通知	発信者番号を通知するかなどを設定します。
迷惑電話ストップサービス	繰り返しかかってくる迷惑電話やいたずら電話を拒否できます。
番号通知お願いサービス	非通知設定でかけてきた相手の方に、番号通知を依頼するガイダンスを流して自動的に通話を終了するよう設定します。
通話中着信設定	通話中にかかってきた別の電話の接続方法を選ぶことができます。

着信通知	電源OFFや圏外時、通話中に着信できなかった場合に、SMSで着信をお知らせします。
英語ガイダンス	発着時の一般的な音声ガイダンスを英語にできます。 また、「留守番電話サービス」「転送でんわサービス」などの各種ネットワークサービス設定時のガイダンスを英語に設定することもできます。
遠隔操作設定	ドコモの携帯電話、一般電話、NTT公衆電話などから遠隔操作を行えるよう設定します。
公共モード（電源OFF）設定	公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モード（電源OFF）に設定すると、電源を切っている場合や、機内モード設定中の場合の着信時に、電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所（病院、飛行機、電車の優先席付近など）にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。 • サービスエリア外または電波が届かない場所にいる場合も、公共モード（電源OFF）ガイダンスが流れます。

通話詳細設定を利用する

通話に関する詳細設定を行います。

1 ホーム画面で「電話」▶ ☰ ▶「通話設定」▶「通話詳細設定」

サブアドレス設定	サブアドレスを付けて発信する場合の区切りを設定します。電話番号に含まれる「＊」をサブアドレスの区切りとします。
プレフィックス設定	国際電話番号や市外局番などを登録して、発信時に付加できます。
登録外着信拒否	電話帳に登録されていない相手からの着信を拒否します。

電話帳

電話帳には、電話番号、Eメールアドレス、インターネット上の各種サービスのアカウントなど連絡先に関わる情報が入力できます。

電話帳を表示する

電話帳に登録されている情報が表示できます。

1 ホーム画面で「電話」▶「電話帳」

- 電話帳が表示されます。

❶「連絡先」タブ
連絡先一覧画面を表示します。

❷ 連絡先一覧
画像を選択して表示されたアイコンをタップし、電話をかけたり、メールを作成したり、インターネット上の各種サービスを利用したりすることができます。

❸ グループ
タップしてグループを選択し、グループごとの連絡先を表示します。

❹ 登録
連絡先を新規登録します。
- 複数のアカウントを登録している場合は、連絡先を作成するアカウントを選択してから、必要な項目を入力します。

❺「コミュニケーション」タブ
電話発着信履歴、spモードメール送受信履歴、SMS送受信履歴を表示します。履歴から、電話発信やSMSなどの送信を行うことができます。

❻「タイムライン」タブ
SNS連携機能で設定したSNS・ブログのタイムラインが表示されます。
タップすることで詳細画面が表示され、コメントやいいね！の投稿をすることができます。

❼「マイプロフィール」タブ（P109）

❽ インデックス一覧
画面右下の「インデックス」をタップすると表示されます。

❾ インデックス
連絡先を頭出しします。

❿ 検索
キーワードを入力して、連絡先を検索します。

連絡先を登録する

新たに連絡先を登録できます。

1「連絡先」タブで「登録」をタップ
- 複数のアカウントを登録している場合は、連絡先を作成するアカウントを選択してください。

2 情報を入力して「登録完了」
- 入力した内容が登録されます。

連絡先を編集する

すでに登録されている連絡先を編集できます。

1 「連絡先」タブで編集する対象をタップ

- プロフィール画面が表示されます。

2 「編集」

- すでに登録されている情報が入力された状態でプロフィール編集画面が表示されます。

3 情報の追加、削除、修正を行い「登録完了」

- 連絡先が更新されます。

連絡先を検索する

「連絡先」タブでは、ドラッグして連絡先を検索するほか検索文字を指定して検索することもできます。

1 「連絡先」タブで「検索」

2 検索する文字を入力する

- 文字の入力に従って、検索候補、本端末内の検索結果がリスト表示されます。

3 いずれかの連絡先をタップする

連絡先を利用して電話をかける／メールを送る／チャットする

連絡先の情報を利用して電話をかけることができます。また、連絡先にメールアドレスやチャットなどのアカウントが登録されている場合、メールを送ったり、チャットアプリケーションを起動して、チャットすることもできます。

1 「連絡先」タブでいずれかの連絡先をタップする

- プロフィール画面が表示されます。

2 電話／SMS／声／メール のいずれかをタップする

- 電話をかけたり、メールやチャットができます。

アイコン	説明
電話	電話をかけます。
SMS	メッセージ（SMS）を送ります。
声	声の宅配便を録音します。
メール	メールを送ります。

連絡先を削除する

1 「連絡先」タブでいずれかの連絡先をタップする

- プロフィール画面が表示されます。

2 ☰ ▶「削除」▶「OK」

- 連絡先が削除されます。

お知らせ

- 「連絡先」タブで ☰ ▶「削除」▶「全選択」または削除したい連絡先にチェックマークを付ける ▶「削除」▶「OK」でも連絡先を削除できます。

連絡先を共有する

本端末に記録されている連絡先を他のアプリケーションでも共有することができます。

1 「連絡先」タブでいずれかの連絡先をタップする

- プロフィール画面が表示されます。

2 ☰ ▶「共有」

- 共有するアプリケーションの選択メニューが表示されます。

3 いずれかのアプリケーションをタップする

- 選択したアプリケーションに応じて画面が表示されます。画面表示に従って操作してください。

お知らせ

- 「連絡先」タブで ☰ ▶「その他」▶「データ送信（赤外線）」と操作して共有することもできます。

連絡先をお気に入りに追加する

連絡先をお気に入りに追加すると、「電話」の「お気に入り」タブに表示されます。「お気に入り」タブを使用すると、特定の連絡先をすばやく表示して利用できます。

- docomoアカウント以外はお気に入りに追加できません。

1 「連絡先」タブでお気に入りに登録する連絡先をタップする

- プロフィール画面が表示されます。

2 ☆（グレー）をタップ

- ☆が黄色に変わり、登録した連絡先が「お気に入り」グループや、「電話」の「お気に入り」タブの一覧に表示されます。

お知らせ

- ★（黄色）をタップすると☆（グレー）になります。

電話帳の表示アカウントを変更する

特定のアカウントやGoogleアカウントのグループに含まれる連絡先の表示／非表示を設定できます。

1 「連絡先」タブで ☰ ▶「その他」▶「表示するアカウント」

- 表示するアカウントを設定します。

グループを利用する

グループごとに連絡先を表示する

1 「連絡先」タブで「グループ」▶ グループを選択

- 「閉じる」をタップすると、グループ一覧が閉じます。

グループを新規に作成する

1 「連絡先」タブで「グループ」▶「追加」

- 複数のアカウントを登録している場合は、グループを作成するアカウントを選択してください。

2 情報を入力して「OK」

グループを編集／削除する

1 「連絡先」タブで「グループ」▶ グループをロングタッチする

2 「グループ編集」／「グループ削除」

グループに連絡先を登録する

1 「連絡先」タブで「グループ」

2 グループに登録したい連絡先をロングタッチする

3 そのままドラッグし、登録したいグループで指を離す

グループから連絡先を削除する

1 「連絡先」タブで「グループ」▶ グループを選択

2 グループから削除したい連絡先をロングタッチする

3 そのままドラッグし、所属しているグループタブで指を離す

お知らせ

- グループ機能は、docomo／Googleアカウントで作成された連絡先に対してのみご利用になれます。

自分の電話番号を表示する

ご利用の電話番号を確認したり、お客様ご自身でプロフィール情報を登録、編集、削除したりできます。また、名刺作成アプリで作成した名刺データを表示し、ネットワーク経由で交換することができます。

1 ホーム画面で「電話」▶「電話帳」▶「マイプロフィール」タブ

❶ **画像と名前**

❷ **プロフィール情報**

- お客様ご自身で登録した電話番号やメールアドレス、住所、誕生日、ニックネームなどのプロフィール情報が表示されます。
- ドコモminiUIMカードが挿入されている場合、自動でドコモminiUIMカードの電話番号が表示されます。

❸ **名刺画像**

- 「名刺作成」アプリで作成した名刺画像が表示されます。
- マイプロフィールには、名刺を10枚まで保存できます。

❹ **名刺交換ボタン**

- タップすると、「名刺作成」アプリで作成した名刺を他の人とネットワーク経由で交換することができます。

❺ **名刺作成／編集／削除ボタン**

- タップすると、名刺を新規作成／編集／削除できます。
  なお、「名刺作成」アプリをダウンロードしていない場合は、ダウンロードの画面が表示されます。画面の指示に従って「名刺作成」アプリをダウンロードしてください。

❻ **編集**

タップすると、プロフィールを編集できます。

お知らせ

- SNS連携機能の利用を開始／停止する方法：
  - 開始：マイプロフィールの編集画面でSNS・ブログの「設定」をタップしてSNSの設定を開始します。
  - 停止：「マイプロフィール」タブで ☰ ▶「全体設定」▶「SNS連携機能の利用停止」▶「利用停止」を選択してください。
- その他の便利な機能については、「連絡先」タブで ☰ ▶「ヘルプ」をご覧ください。

電話帳をバックアップ・復元する

電話帳データのバックアップ・復元は、「SDカードバックアップ」アプリにて実施可能です。「SDカードバックアップ」アプリについては、P210をご参照ください。

メール／ウェブブラウザ

spモードメール

iモードのメールアドレス（@docomo.ne.jp）を利用して、メールの送受信ができます。絵文字、デコメール®の使用が可能で、自動受信にも対応しております。

- spモードメールの詳細については、『ご利用ガイドブック（spモード編）』をご覧ください。

1 ホーム画面で「spモードメール」

- 以降は画面の指示に従って操作してください。

SMS

携帯電話番号を宛先にして全角最大70文字（半角英数字のみの場合は最大160文字）までのテキストメッセージが送受信できます。

メッセージ（SMS）を送信する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「メッセージ」

- 「メッセージ」画面が表示されます。

2 をタップする

3 「To」ボックスをタップ ▶ 送信相手の電話番号を入力する

- 入力した数字または連絡先の名前に前方一致する連絡先が表示されます。
- をタップすると電話帳が表示され、送信先を選択できます。

4 「メッセージ入力」ボックスをタップ ▶ メッセージを入力する

5 「送信」

- メッセージが送信されます。

お知らせ

- メッセージを入力中に ☰ ▶「顔文字を挿入」をタップすると、顔文字が挿入できます。
- メッセージ（SMS）が受信されたかを知るには、「メッセージ」画面で ☰ ▶「設定」▶「通知」をタップし、「通知」にチェックマークを付けます。
- 海外通信事業者をご利用のお客様との間でも送受信が可能です。利用可能な国・海外通信事業者については『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。
- 宛先が海外通信事業者の場合、「+」▶「国番号」▶「相手先携帯電話番号」の順に入力します。携帯電話番号が「0」で始まる場合は先頭の「0」を除いた電話番号を入力します。
  また、「010」、「国番号」、「相手先携帯電話番号」の順に入力しても送信できます（受信した海外からのSMSに返信する場合は、「010」を入力してください）。

メッセージ（SMS）を受信する／読む

1 **ホーム画面で「アプリ」▶「メッセージ」**

- 「メッセージ」画面が表示されます。

2 **いずれかのスレッドをタップする**

- メッセージが表示されます。

お知らせ

- メッセージ（SMS）を受信すると、プレビュー画面が表示されます。プレビュー画面では、返信、削除、スレッドの表示、クイックメッセージの選択などができます。

Eメール

mopera Uや一般のプロバイダが提供するメールアカウントを設定して、Eメールを利用できます。

メールアカウントを設定する

あらかじめ、ご利用のサービスプロバイダから設定に必要な情報を入手してください。

1 **ホーム画面で「アプリ」▶「Eメール」**
- 「メールプロバイダーの選択」画面が表示されます。

2 **「メールプロバイダーの選択」画面でメールプロバイダーを選択する**

3 **メールアカウントの設定画面でメールアドレスとパスワードを入力する**
- メールアドレスを入力すると、「@」より前の文字列が、「ユーザー名」に自動的に表示されます。ユーザー名は必要に応じて変更できます。

4 **「手動」または「次へ」**
- 以降は画面の指示に従って操作してください。
- 「手動」をタップした場合はアカウントタイプを選択します。以降は画面に従って設定してください。設定情報などにつきましては、サービスプロバイダにお問い合わせください。

お知らせ
- ここで設定した内容は、後から変更できます。詳しくは「メールアカウントの設定を変更する」（P117）をご参照ください。
- Microsoft Exchange Serverのバージョンや一部機能によってはご利用いただけない場合があります。

メールを開く

1 ホーム画面で「アプリ」▶「Eメール」

- 「受信トレイ」画面が表示されます。
- 新着メールがある場合は自動で受信します。

お知らせ

- アカウントの登録を行っていない状態で「Eメール」アプリケーションを開いた場合、「メールプロバイダーの選択」画面が表示されます。（「メールアカウントを設定する」→ P114）
- 複数のメールアカウントを設定している場合は、受信トレイ画面で ☰ ▶「アカウント」で登録しているアカウントをタップして切り替えることができます。

受信したメールを表示する

1 「受信トレイ」画面でいずれかのメールをタップする

- メール画面にメールの内容が表示されます。

お知らせ

- 新着メールの取得間隔を「手動」に設定している場合、新着メールは自動で受信されません。
- mopera Uメールの設定で「メール自動受信」がONの場合、メールアプリケーションの設定にかかわらずメールは自動で受信されます。
  ※ メールが自動的に受信されない場合には、☰ ▶「再読み込み」をタップしてください。

メールを作成して送信する

1 「受信トレイ」画面で
- 「メール作成」画面が表示されます。

2 「To」ボックスに送信相手のメールアドレスを入力する

3 「件名」ボックスに件名を入力する

4 本文欄にメッセージを入力する

5

お知らせ

- 無効なメールアドレスを入力すると、「To」ボックスの右側に が表示されます。入力内容を確認して修正してください。

アカウントを追加する

「Eメール」アプリケーションでは、複数のアカウントを登録して利用することができます。

1 「受信トレイ」画面で ▶「アカウント」
- 「Eメール」画面が表示されます。

2 ▶「アカウントを追加」
- 「メールプロバイダーの選択」画面が表示されます。

3 「メールプロバイダーの選択」画面でメールプロバイダーを選択する
- メールアカウントの設定画面が表示されます。

4 メールアドレスとパスワードを入力する
- メールアドレスを入力すると、「@」より前の文字列が、「ユーザー名」に自動的に表示されます。ユーザー名は必要に応じて変更できます。

5 「手動」または「次へ」
- 「手動」をタップした場合はアカウントタイプを選択します。以降は画面に従って設定してください。設定情報などにつきましては、サーバー管理者にお問い合わせください。

メールアカウントの設定を変更する

1 「受信トレイ」画面で ☰ ▶「アカウントの設定」

- アカウントの設定画面が表示されます。

2 必要に応じて設定を変更する

アカウント名	アカウント名を設定します。
名前	ユーザー名を設定します。
署名	署名の有無、署名の文言を設定します。
取得間隔	受信トレイの取得間隔を設定します。
アカウントと同期	アカウントと同期を行ったり、アカウントを削除したりします。
表示するメールの件数※1	表示したいメールの件数を設定します。
サーバーから削除※2	サーバーから削除するタイミングを設定します。
Eメール設定	デフォルトアカウント、新着メール受信時の通知、メール受信時の通知音／バイブレートなどを設定します。
ログイン設定の変更	受信／送信サーバーの設定を行います。

※1 IMAP4/POP3アカウントの場合にのみ表示されます。

※2 POP3アカウントの場合にのみ表示されます。

Gmail

Gmailは、GoogleのオンラインEメールサービスです。本端末のGmailを使用して、Eメールの送受信が行えます。

Gmailを開く

1 ホーム画面で「アプリ」▶「Gmail」

- Gmailが開き、「受信トレイ」画面が表示されます。

お知らせ

- Googleアカウントの設定が完了していないと「Googleアカウントを追加」画面が表示されます。表示に従って操作してください。Googleアカウントをお持ちでない場合には、アカウントの取得操作もできます。
- Gmailの詳細については、「受信トレイ」画面で ☰ ▶「ヘルプ」をご覧ください。

メールを作成して送信する

1 「受信トレイ」画面で ✉

- 「作成」画面が表示されます。

2 「To」ボックスに送信相手のメールアドレスを入力する

3 「件名」ボックスに件名を入力する

4 「メールを作成」ボックスにメッセージを入力する

5 ➤

緊急速報「エリアメール」

気象庁から配信される緊急地震速報などを受信することができます。

- エリアメールはお申し込みが不要の無料サービスです。
- 最大50件保存できます。
- 次の場合はエリアメールを受信できません。
  - 電源OFF時
  - 圏外時
  - 機内モード中
  - 音声通話中
  - ソフトウェア更新中
  - 国際ローミング中
  - メッセージ（SMS）送受信中
  - 他社のSIMカードをご利用時
- パケット通信およびテザリング機能を利用している場合は、エリアメールを受信できないことがあります。
- 受信できなかったエリアメールを再度受信することはできません。

緊急速報「エリアメール」を受信する

エリアメールを受信すると、専用ブザー音または専用着信音が鳴り、エリアメールの本文がポップアップで表示されます。

- 画面ロックが設定されている場合、エリアメールの本文は表示されません。画面ロックを解除すると表示されます。
- 着信音量を変更することはできません。
- お買い上げ時は、マナーモード（サウンドプロフィールを「バイブレートのみ」、「サイレント」）設定中でも、ブザー音または着信音が鳴ります。また、鳴らないようにも設定できます（P120）。

受信したエリアメールを表示する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「エリアメール」

- 「緊急速報「エリアメール」受信ＢＯＸ」画面が表示されます。

2 いずれかのエリアメールをタップする

- エリアメールの本文が表示されます。

緊急速報「エリアメール」を設定する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「エリアメール」

- 「緊急速報「エリアメール」受信ＢＯＸ」画面が表示されます。

2 ☰ ▶「設定」

- 「設定」メニューが表示されます。

3 必要に応じて設定を変更する

受信設定	チェックマークを付けるとエリアメールを受信します。
着信音	着信音の鳴動時間とマナーモード（サウンドプロフィールを「バイブレートのみ」、「サイレント」）設定中の動作を設定します。
受信画面および着信音確認	緊急地震速報、津波警報、災害・避難情報の受信時の動作を確認できます。
その他の設定	緊急地震速報、津波警報、災害・避難情報以外のエリアメールを受信するために、受信したいエリアメール名とMessage IDを登録できます。

ブラウザ

ブラウザを利用することで、パソコンと同じようにウェブページが閲覧できます。

ブラウザを開く

1 **ホーム画面で「インターネット」**

- ホームページが表示されます。
- ウェブページをピンチアウト／ピンチインすることで表示を拡大／縮小することができます。

❶ **検索ボックス**

タップすると検索ボックスが表示されます。検索する文字やURLを入力すると、ウェブページの候補や検索候補がリスト表示されます。
リストのいずれかをタップするか、URLを最後まで入力して「実行」をタップすると、ウェブページが表示されます。
ブラウザに検索ボックスが表示されていない場合は、ウェブページを下にドラッグすると表示されます。

❷ **ウィンドウ切り替え**

複数のウィンドウでウェブページにアクセスしている場合は、選択したウィンドウに切り替えることができます。☒をタップすると、ウィンドウを閉じることができます。

❸ **前のウェブページ**※

前のウェブページを表示します。

❹ **次のウェブページ**※

次のウェブページを表示します。

❺ **ズーム**※

タップしながら本端末を手前に傾けると、ウェブページの表示を拡大します。後ろに傾けると、縮小します。

❻ **新しいウィンドウ**※

新しいウィンドウが開き、ホームページが表示されます。

❼ **ブックマークボタン**※
「ブックマーク」タブを表示します。

※ アイコン表示されていない場合、ブラウザ画面下部を上にドラッグすると表示されます。

お知らせ

- パソコン用に作成されたウェブページを表示する場合でも、表示を拡大／縮小したり、スクロールできます。詳しくは「タッチスクリーンの操作」（P51）をご参照ください。
- ウェブページの操作は、ウェブサイトの形式や内容によって異なる場合があります。
- 本端末で表示、再生できるファイル形式については、「ファイル形式」（P252）をご参照ください。

音声入力でウェブページを検索する

1 検索ボックスをタップする

2 🎤

- 「お話しください」と表示されます。

3 マイクに向かって検索語をはっきりと発声する

- 検索語の候補が表示されます。検索語を選んでタップすると、検索ボックスに入力されるとともに、検索語を含むウェブページがリスト表示されます。

4 リストのいずれかをタップする

- 該当のウェブページが表示されます。

ブックマークや履歴を活用する

ウェブページをブックマークに登録することで、そのウェブページにすばやくアクセスできます。
また、過去に閲覧したウェブページの履歴を表示し、そのウェブページを再び表示できます。

ブックマークを追加する

1 ブックマークに追加するウェブページを表示する
2 ☰ ▶「ブックマークに保存」
3 必要に応じて名前やURLなどを編集し、「OK」

ブックマークに登録したウェブページを表示する

1 ★
- 「ブックマーク」タブが表示されます。

2 表示するブックマークをタップする
- 該当のウェブページが表示されます。

ブラウザの設定を変更する

1 ブラウザ画面で ☰ ▶「設定」
2 必要に応じて設定を変更する

全般	ホームページの設定やウェブフォームの自動入力設定を行います。
プライバシーとセキュリティ	キャッシュやブラウザの閲覧履歴の消去、警告画面の表示／非表示、Cookie、フォームデータ、位置情報、パスワードについて設定します。
ユーザー補助	テキストサイズ、ダブルタップによるズーム倍率、最小フォントサイズ、黒と白の反転、コントラストの設定を行います。 ・「コントラスト」は「反転レンダリング」にチェックマークを付けた場合に調整できます。
詳細設定	検索エンジンの設定、ウェブサイトの設定、表示設定などや、ブラウザの設定をお買い上げ時の状態に戻すことができます。
帯域幅の管理	検索結果のプリロードや画像の読み込みについて設定します。
Labs	クイックコントロールや全画面モードを使用するかどうかを設定します。

Google Chrome

Google ChromeではウェブページがPC閲覧でき、PCのChromeで開いているタブ、ブックマーク、アドレスバーのデータをパソコンと本端末で同期をすることができます。

- Google Chromeを利用するには、Google アカウントを設定する必要があります。詳しくは「オンラインサービスアカウントを設定する」(P68) をご参照ください。

Google Chromeを起動する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「Chrome」

- ウェブページが表示されます。

お知らせ

- 初めてGoogle Chromeを利用するときは、ご利用規則に関する確認メッセージが表示されます。
- Google Chromeの詳細については、Google Chromeの画面で ☰ ▶「ヘルプ」をタップしてください。

Google トーク

Google トークは、Googleのインスタントメッセージサービスです。Googleアカウントを所有する友だちとチャット（文字によるおしゃべり）ができます。

- Google トークを利用するには、Googleアカウントを設定する必要があります。詳しくは「オンラインサービスアカウントを設定する」(P68) をご参照ください。

Google トークを起動する

Google トークを利用するには、ログインとメンバーの追加が必要です。ただし、すでにGoogleアカウントを設定している場合は、ログインなしでご利用になれます。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「トーク」

- 設定しているGoogleアカウントが表示されます。

お知らせ

- Googleアカウントの設定が完了していないと「Googleアカウントを追加」画面が表示されます。表示に従って操作してください。Googleアカウントをお持ちでない場合には、アカウントの取得操作もできます。
- Googleトークの詳細については、Googleトークの画面で ☰ ▶「ヘルプ」をタップしてください。

チャットを開始する

1 **「トーク」画面でチャット相手のアカウントをタップする**

- チャット画面が表示されます。

2 **「メッセージを入力」ボックスをタップ ▶ 文字を入力して ➤**

- 「メッセージを入力」ボックスに入力した内容が送信されます。

本体設定

設定メニュー

本端末では、ホーム画面で ☰ ▶「本体設定」をタップすると、さまざまな設定を行う「設定」画面が表示されます。

無線とネットワーク

各種ネットワークの有効／無効を設定したり、ネットワーク接続に必要な設定を行います。

Wi-Fi	Wi-Fi機能をON／OFFにします。Wi-Fi機能を使用するための各種設定を行います。（P64）
Bluetooth	Bluetooth機能をON／OFFにします。Bluetooth機能を使用するための各種設定を行います。（P155）
データ使用	モバイルデータ通信を利用するかどうか、モバイルデータ通信の制限設定、データ使用サイクルのグラフと使用されたサービスの内訳を表示します。（P127）
通話設定	各種通話に関する設定を行います。（P102）

その他...	
機内モード	電波を発する機能をON／OFFにします。
ファイルネットワーク	ワイヤレス接続で他のデバイスと本端末のフォルダーを共有するかを設定します。
テザリング	Wi-Fiアクセスポイントの設定を行います。（P129）
Wi-Fi Direct	Wi-Fi Direct対応機器と、アクセスポイントを経由せずに直接接続するための設定です。
Miracast	Wi-Fi Directを利用してMiracastに対応する映像機器で、画面の表示内容と音を共有するための設定をします。
VPN	VPN（仮想専用線）を用いた通信をするための設定を行います。（P129）
モバイルネットワーク	アクセスポイントの設定やデータローミング、ネットワークモードの設定を行います。

お知らせ

- LTEネットワークでデータ通信中に「ネットワークを検索」をタップすると、「データ通信を無効にしてから、再度実行してください。」と、メッセージが表示されます。
- 3Gネットワークでデータ通信中に「ネットワークを検索」をタップすると、「データ通信中のため、ネットワークを検索できません。データ通信を無効とし、ネットワークを検索してよろしいですか？」と、メッセージが表示されます。「OK」をタップすると、データ通信が中断され、ネットワークが検索されます。
- Miracast使用時には、Miracastで使用するWi-Fiネットワーク以外には接続できません。

データ使用

期間ごとやアプリケーションごとのモバイルデータ通信使用量（目安）が表示されます。

1 ホーム画面で ☰ ▶「本体設定」▶「データ使用」

お知らせ

- 「モバイルデータ」をONに設定するとモバイルネットワーク経由のインターネットアクセスを有効にできます。
- グラフ上でモバイルデータ通信使用量の制限や警告を行う使用量の設定ができます。使用量の制限は「モバイルデータ通信の制限設定」にチェックマークを付けているときのみ設定できます。

バックグラウンドデータを制限する

アプリケーションが自動的に行うデータ通信を制限できます。

1 **データ使用画面で ☰ ▶「バックグラウンドのデータ通信を制限する」にチェックマークを付ける ▶「OK」**

お知らせ

- 「モバイルデータ通信の制限設定」にチェックマークが付いているときのみ設定できます。

Wi-Fiテザリングを設定する

本端末をWi-Fiアクセスポイントとして利用し、無線LAN対応機器をインターネットに8台まで同時接続させることができます。

Wi-Fiテザリングを有効にする

1 **ホーム画面で ☰ ▶「本体設定」▶「その他...」▶「テザリング」**

2 **「Wi-Fiテザリング」**

- 注意事項の詳細を確認して「OK」をタップします。

タイムアウトを設定する

1 **ホーム画面で ☰ ▶「本体設定」▶「その他...」▶「テザリング」**

2 **「タイムアウト」**

3 **「タイムアウトなし」/「5分」/「10分」/「15分」のいずれかをタップする**

Wi-Fiアクセスポイントを設定する

1 **ホーム画面で ☰ ▶「本体設定」▶「その他...」▶「テザリング」**

2 **「Wi-Fiテザリング」▶「 OK」**

3 **「Wi-Fiアクセスポイントを設定」**

4 **「ネットワークSSID」ボックスに、ネットワークSSIDを入力する**

5 **「セキュリティ」**

- 「セキュリティ」メニューが表示されます。「Open」、「WPA PSK」、「WPA2 PSK」から適切なものを選択します。
- 「WPA PSK」、「WPA2 PSK」に設定する場合はパスワードの入力が必要です。

6 **「保存」**

お知らせ

- お買い上げ時の状態では、ネットワークSSIDは「L-01E_xxxx」、セキュリティは「WPA2 PSK」となっております。必要に応じて、セキュリティの設定を行ってください。

VPN（仮想プライベートネットワーク）に接続する

仮想プライベートネットワーク（VPN：Virtual Private Network）は、保護されたローカルネットワーク内の情報に、別のネットワークから接続する技術です。VPNは一般に、企業や学校、その他の施設に備えられており、ユーザーは構内にいなくてもローカルネットワーク内の情報にアクセスできます。
本端末からVPNアクセスを設定するには、ネットワーク管理者からセキュリティに関する情報を得る必要があります。

VPNを追加する

1 **ホーム画面で ☰ ▶「本体設定」▶「その他...」▶「VPN」**

- 画面ロックの解除方法がパターン／PIN／パスワードに設定されていない場合には、設定を変更する旨のメッセージが表示されます。

2 **「VPN接続の追加」**

3 **ネットワーク管理者の指示に従って各項目を設定 ▶「保存」**

- ISPをspモードに設定している場合は、PPTPは利用できません。

VPNに接続する

1 VPNの一覧で、接続するVPN名をタップする

2 必要な認証情報を入力 ▶「接続」

VPNを編集する

1 VPNの一覧で、編集するVPN名をロングタッチする

- メニューが表示されます。

2 「ネットワークの編集」

- すでに登録されている情報が入力された状態で設定の詳細画面が表示されます。

3 情報の追加、削除、修正を行う ▶「保存」

- 設定が更新されます。

VPNを削除する

1 VPNの一覧で、削除するVPN名をロングタッチする

- メニューが表示されます。

2 「ネットワークを削除」▶「OK」

アクセスポイントを設定する

インターネットに接続するためのアクセスポイント（spモード、mopera U）はあらかじめ登録されており、削除や変更はできません。お客様の必要に応じて、アクセスポイントを追加、編集することができます。
お買い上げ時には、通常使う接続先としてspモードが設定されています。

利用中のアクセスポイントを確認する

1 ホーム画面で ☰ ▶「本体設定」▶「その他...」▶「モバイルネットワーク」▶「アクセスポイント名」

アクセスポイントを追加で設定する <新しいAPN>

1 ホーム画面で ☰ ▶「本体設定」▶「その他...」▶「モバイルネットワーク」▶「アクセスポイント名」

2 ☰ ▶「APNの追加」

3 「名前」▶ 作成するネットワークプロファイルの名前を入力 ▶「OK」

4 「APN」▶ アクセスポイント名を入力 ▶「OK」

5 その他、通信事業者によって要求されている項目を入力

6 ☰ ▶「保存」

お知らせ

- MCCを440、MNCを10以外に変更しないでください。画面上に表示されなくなります。
- MCC、MNCの設定を変更して画面上に表示されなくなった場合は、初期設定にリセットするか、手動でアクセスポイントの設定を行ってください。

アクセスポイントを初期化する

アクセスポイントを初期化すると、お買い上げ時の状態に戻ります。

1 ホーム画面で ☰ ▶「本体設定」▶「その他...」▶「モバイルネットワーク」▶「アクセスポイント名」

2 ☰ ▶「初期設定に戻す」▶「OK」

お知らせ

- アクセスポイントを1つも追加していない場合、「初期設定に戻す」は表示されません。

spモード

spモードはNTTドコモのスマートフォン向けISPです。インターネット接続に加え、iモードと同じメールアドレス（@docomo.ne.jp）を使ったメールサービスなどがご利用いただけます。spモードはお申込みが必要な有料サービスです。spモードの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

mopera U

mopera UはNTT ドコモのISPです。mopera Uにお申込みいただいたお客様は、簡単な設定でインターネットをご利用いただけます。mopera Uはお申込みが必要な有料サービスです。

mopera Uを設定する

1. ホーム画面で ☰ ▶「本体設定」▶「その他...」▶「モバイルネットワーク」▶「アクセスポイント名」
2. 「mopera U」または「mopera U設定」のラジオボタンをタップして選択する

お知らせ

- 「mopera U設定」はmopera U設定用アクセスポイントです。mopera U設定用アクセスポイントをご利用いただくと、パケット通信料がかかりません。なお、初期設定画面、および設定変更画面以外には接続できないのでご注意ください。mopera U設定の詳細については、mopera Uのホームページをご覧ください。

デバイス

サウンド

着信音の種類や音量、サイレント、バイブレートなどの設定を行います。

サウンドプロフィール	「サウンドとバイブレート」、「バイブレートのみ」、「サイレント」のいずれかを選択します。
ボリューム	「着信音」、「通知音」、「タッチフィードバック・システム」、「音楽、ビデオ、ゲームとそのほかのメディア」の音量を設定します。
着信音と通知音	
着信音	着信音として使用する音を設定します。
通知音	通知音として使用する音を設定します。
バイブレート	着信や通知を振動で知らせるかどうかを設定します。
ワイズベル	周囲が賑やかなとき、自動的に着信音を大きく鳴らすかどうかを設定します。

サウンド中断時間	アラームとメディアを除くすべての音をOFFにする時刻を設定します。時間と曜日を指定します。また、バイブレートを使用するかどうかも指定できます。
タッチフィードバック・システム	
ダイヤルパッドのタッチトーン	電話番号の入力時に音を鳴らすかどうかを設定します。
タッチ操作音	メニュー選択時に音を鳴らすかどうかを設定します。
画面ロック時の音	画面のロック／ロック解除時に音を鳴らすかどうかを設定します。
キー操作時に振動	☰、⌂、↩操作時など特定の操作を行った場合にバイブレートを動作させるかどうかを設定します。

表示

画面の明るさやアニメーションなど表示に関する設定を行います。

画面の明るさ	画面の明るさを設定します。
縦横表示の自動回転	本端末の向きを変えた場合、画面表示の縦横を自動的に切り替えるかどうかを設定します。
バックライト点灯時間	操作しないときに、自動的にバックライトを消灯するまでの時間を設定します。
ワイズスクリーン	フロントカメラが顔を認識している間はバックライトをOFFにしないかどうかを設定します。
フォントタイプ	画面表示のフォントを設定します。
フォントサイズ	「小」、「中」、「大」、「特大」のいずれかを選択します。
アスペクト比補正	ダウンロードしたアプリケーションの表示を画面の解像度に合わせます。
フロントキー照明	前面のキーの照明のON ／ OFFを設定します。また、照明の点灯時間を設定します。

通知表示	不在着信／SMS／FeliCa／アラーム／カレンダー通知／Eメールの通知時にLEDライトを使用するかどうかを設定します。
センサー	
キャリブレーション	センサーの感度（傾斜角や傾斜速度）を補正します。

ホームスクリーン

ホーム画面に関する設定を行います。
ホーム選択、テーマ、アニメーション表示、スクリーン効果、壁紙、ポートレートビューのみ、エンドレスモード、設定のバックアップとリストアについて設定できます。

- docomo Palette UIでは、「ホーム選択」・「壁紙」以外の項目は変更できません。

ホーム選択	ホームアプリを切り替えます。 「docomo Palette UI」と「ホーム」があります。
テーマ	ホーム画面のテーマを選択します。
アニメーション表示	「アニメーションなし」／「すべて表示」のどちらかを選択します。
スクリーン効果	スクリーン効果を選択します。
壁紙	「ギャラリー」、「ライブ壁紙」、「壁紙ギャラリー（ホーム）」、「壁紙ギャラリー（docomo Wallpaper）」のいずれかを選択します。
ポートレートビューのみ	ホーム画面を常に縦画面で表示するかどうかを指定します。
エンドレスモード	ホーム画面をスクロールしたとき、最後の画面から最初の画面に戻るかどうかを指定します。
設定のバックアップとリストア	アプリケーションやウィジェットの設定およびテーマのバックアップとリストアを行います。

画面のロック

画面ロックを使用するかどうか、使用する場合に必要な設定を行います。

- 画面ロックの解除に「なし」、「タッチ」、「フェイスアンロック」、「パターン」、「PIN」、「パスワード」のいずれかを設定することによって、表示・設定できる項目は異なります。

画面		
画面ロックを選択	なし	画面ロック解除のセキュリティを無効にします。
	タッチ	タップしてロックを解除します。
	フェイスアンロック	顔を認識してロックを解除します。
	パターン	パターンの描画でロックを解除します。お好きなパターンを設定します。
	PIN	PINコード入力でロックを解除します。画面の指示に従って、4～16桁の数字を入力します。
	パスワード	パスワード入力でロックを解除します。画面の指示に従って、アルファベットを含む4～16桁のパスワードを入力します。
ロック時間		
ロックタイマー		画面OFF後、画面ロックするまでの時間を設定します。
電源ボタンですぐにロックする		電源キー押したとき、すぐに画面ロックするかどうかを設定します。
フィードバック		
キー操作時に振動		パターン、PINで画面ロックを解除するとき、振動で知らせるかどうかを設定します。
パターンを表示する		パターンを線で表示するかどうかを設定します。

お知らせ

<画面ロックの解除について>
- パターン入力を5回間違えると、30秒後に再度入力するようメッセージが表示されます。パターンを忘れた場合、再入力画面で「パターンを忘れた場合」をタップして、本端末に設定したGoogleアカウントでログインすると、新しいパターンを入力できます。
- Googleアカウントを設定していない場合、またはPINやパスワード、バックアップPINを忘れた場合は、画面ロックを解除できませんのでご注意ください。

ジェスチャー

各種モーションジェスチャーの有効／無効を設定します。

ホーム画面アイテムの移動	アイテムの選択中に本端末を左右に傾けると、アイテムの場所を変更できます。 ・docomo Palette UIでは動作しません。
チルト感度	ホームとアプリケーション画面用に傾きセンサーのテストと感度調整を行います。
ミュート	着信音が鳴ってるときに本端末を裏返すと音が止まります。
アラームの停止またはスヌーズ	アラーム鳴動中に本端末を裏返すとアラーム音が止まります。
ヘルプ	ジェスチャー機能の使いかたが表示されます。

ストレージ

内部ストレージの空き容量表示、microSDカードの空き容量表示、マウント、フォーマットを行います。

内部ストレージ	
合計の容量	内部ストレージの全容量を表示します。
アプリ、オーディオなど	内部ストレージの使用状況を表示します。
SDカード	
合計の容量	SDカードの全容量を表示します。
空き容量	SDカードの空き容量を表示します。
SDカードのマウント解除／SDカードのマウント	・SDカードのマウントを解除して、安全に取り外しができるようにします。 ・SDカードをマウントして、使用できるようにします。
SDカードのデータを消去	SDカード内の全データ（音楽、写真など）を消去します。

パワーセーブ

電池残量が少なくなったときに、各種機能の使用を抑えるよう設定できます。この「パワーセーブ」の設定は、アプリケーション一覧の「おすすめ」タブからダウンロードできる「ecoモード」アプリとは異なる機能となります。

パワーセーブをONにする	パワーセーブ機能をONにするタイミング（電池残量パーセント）を指定します。
パワーセーバーのヒント	「パワーセーブ項目」の説明を表示します。
パワーセーブ項目	
自動同期	自動同期を行いません。
Wi-Fi	接続されていないときは、Wi-Fi機能をOFFにします。
Bluetooth	接続されていないときは、Bluetooth機能をOFFにします。
Ecoモード	Ecoモードを有効にします。
キー操作時に振動	キー操作時の振動を解除します。
画面の明るさ	画面の明るさを指定します。
バックライト点灯時間	バックライト点灯時間を指定します。

フロントキー照明	前面のキーの照明のON／OFFを設定します。また、照明の点灯時間を設定します。
バッテリー情報	
電池残量のアイコン	電池残量がパーセントで表示されます。また、充電しているかも表示されます。
バッテリー残量	ステータスバーに電池残量（%）を表示するかどうかを設定します。
バッテリー消費状況	電池を使用しているアプリケーションや電池使用量、電池使用時間のグラフを表示します。

アプリ

アプリケーションに関する設定を行います。

ダウンロード済み	インストールされているアプリケーションをリスト表示／削除します。
実行中	実行中のサービスをリスト表示／停止します。
すべて	すべてのアプリケーションをリスト表示／削除します。

アプリケーションを無効にする

アプリケーションの無効化は、アンインストールできない一部のアプリケーションやサービスで利用できます。無効化したアプリケーションはアプリケーション一覧に表示されず、起動もできなくなりますがアンインストールはされていません。

1 ホーム画面で ☰ ▶「本体設定」▶「アプリ」▶「すべて」タブ
2 無効にしたいアプリケーションをタップする
3 「無効にする」▶「OK」

無効化したアプリケーションを再度有効にする

アプリケーションを無効化した場合、無効化されたアプリケーションと連携している他のアプリケーションが正しく動作しない場合がございます。再度有効にすることで正しく動作します。

1 ホーム画面で ☰ ▶「本体設定」▶「アプリ」▶「すべて」タブ
2 再度有効にしたいアプリケーションをタップする
3 「有効にする」

クアッドコア制御

CPU制御を最適化し、バッテリー消費を抑制するかを設定します。

Ecoモード	選択するとバッテリー消費を抑制することができます。

お知らせ

- 「パワーセーブ」の「Ecoモード」は、設定したバッテリー残量によって「Ecoモード」に切り替わります。
  「パワーセーブ」の「Ecoモード」にチェックマークを付けていても、「クアッドコア制御」の「Ecoモード」の設定が優先されます。

パーソナル

ドコモサービス、アカウントと同期、位置情報サービス、セキュリティ、言語と入力、バックアップとリセットなどの設定を行います。

ドコモサービス

ドコモのサービスなどについて設定します。

アプリケーション管理	定期アップデート確認などの設定を行います。
Wi-Fi	Wi-Fi経由でドコモサービスを利用するための設定を行います。
ドコモアプリパスワード	ドコモアプリで利用するパスワードを設定します。 • 初期設定では「0000」に設定されています。
オートGPS	オートGPS機能の設定や、測位した場所の履歴を閲覧できます。
ドコモ位置情報	イマドコサーチ／イマドコかんたんサーチ／ケータイお探しサービスの位置情報サービス機能の設定を行います。

docomo Wi-Fiかんたん接続	docomo Wi-Fiもしくは自宅Wi-Fiをかんたん・便利に利用するための設定を行います。
プリインアプリ利用状況送信	プリインアプリの利用状況の送信設定を行います。
オープンソースライセンス	オープンソースライセンスを表示します。

アカウントと同期

アカウントおよび同期の設定を行います。

Googleアカウントなど本端末で使用するアカウントを追加／削除します。

位置情報サービス

GPSの設定などを行います。

Googleの位置情報サービス	Wi-Fiやモバイルネットワークなどのデータを利用して、おおよその現在地を特定することをアプリケーションに許可するかどうかを設定します。
GPS機能	GPS機能を使用するかどうかを設定します。
位置情報とGoogle検索	Googleが、検索結果の精度向上のために他のサービスで位置情報を使用することを許可するかどうかを設定します。

セキュリティ

各種パスワードなどの設定を行います。

UIMカードのロック	
UIMカードのロック設定	SIMカード（ドコモminiUIMカード）のロックを使用するかどうか、使用する場合に必要な設定を行います。
パスワード	
パスワードを表示する	パスワード入力時に、入力した文字を表示するかどうかを設定します。
デバイス管理	
デバイス管理機能の選択	本端末のデバイス管理機能を追加／削除します。
提供元不明のアプリ	Google Playで提供されるアプリケーション以外のアプリケーションのインストールを許可するかどうかを設定します。

認証情報ストレージ	
確認済み証明書	安全な証明書と他の認証情報へのアクセスをアプリケーションに許可するかどうかを設定します。
ストレージからインストール	暗号化された証明書をストレージからインストールします。
認証ストレージの消去	認証情報ストレージのすべてのコンテンツを消去してパスワードをリセットします。

暗証番号とドコモminiUIMカードの保護について

本端末を便利で安全にお使いいただくため、本端末をロックするためのコードやネットワークサービスでお使いになるネットワーク暗証番号などが設定できます。用途に応じて上手に使い分けて、本端末をご活用ください。

お知らせ

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」など容易に推測できる番号は避けてください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 暗証番号を忘れてしまった場合は、運転免許証など契約者ご本人であることが確認できる書類や本端末、ドコモminiUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳しくは本書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。
- PINロック解除コードは、ドコモショップでご契約時にお渡しする契約申込書（お客様控え）に記載されています。ドコモショップ以外でご契約されたお客様は、運転免許証など契約者ご本人であることが確認できる書類とドコモminiUIMカードをドコモショップ窓口までご持参いただくか、本書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

ネットワーク暗証番号

ドコモショップまたはドコモ インフォメーションセンターでのご注文受付時に契約者ご本人を確認させていただく際や各種ネットワークサービスご利用時などに必要な数字4桁の番号です。ご契約時に任意の番号を設定いただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。パソコン向け総合サポートサイト「My docomo」の「docomo ID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンで新しいネットワーク暗証番号への変更手続きができます。
なお、dメニューからは、ホーム画面で「dメニュー」▶「お客様サポートへ」▶「各種お申込・お手続き」からお客様ご自身で変更ができます。

- 「My docomo」「お客様サポート」については、P271をご覧ください。

PINコード

ドコモminiUIMカードには、PINコードという暗証番号を設定できます。この暗証番号は、ご契約時は「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
PINコードは、第三者による無断使用を防ぐため、ドコモminiUIMカードを本端末に差し込むたびに、または本端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する4～8桁の暗証番号です。PINコードを入力することにより、端末操作が可能となります。

お知らせ

- 新しく端末を購入されて、現在ご利用中のドコモminiUIMカードを差し替えてお使いになる場合は、以前にお客様が設定されたPINコードをご利用ください。設定を変更されていない場合は「0000」となります。
- PINコードの入力を3回連続して間違えると、PINコードがロックされて使えなくなります。この場合は、「PINロック解除コード」でロックを解除してください。

PINロック解除コード

PINロック解除コードは、PINコードがロックされた状態を解除するための8桁の番号です。なお、PINロック解除コードはお客様ご自身では変更できません。

- PINロック解除コードの入力を10回連続して間違えると、ドコモminiUIMカードがロックされます。その場合は、ドコモショップ窓口にお問い合わせください。

ドコモminiUIMカードのPINを有効にする

電源を入れたときにPINコードを入力するように設定します。

1 ホーム画面で ☰ ▶「本体設定」▶「セキュリティ」

2 「UIMカードのロック設定」

3 「UIMカードのロック」

4 PINコードを入力して「OK」

- 「UIMカードのロック」にチェックマークが付きます。

PINコードを変更する

1 ホーム画面で ☰ ▶「本体設定」▶「セキュリティ」

2 「UIMカードのロック設定」

3 「UIM PINの変更」
  - PINコードの入力が求められます。

4 すでに設定されているPINコードを入力して「OK」
  - PINコードの入力が求められます。

5 新たに設定するPINコードを入力して「OK」
  - 再びPINコードの入力が求められます。

6 手順5で入力したものと同じPINコードを入力して「OK」
  - PINコードが変更されます。

PINコードを入力する

本端末の電源を入れたときにPINコードの入力が求められたら、以下のように操作します。

1 ドコモminiUIMカードのPINコードを入力して「OK」

ドコモminiUIMカードのPINロックを解除する

PINコードの入力を3回連続間違えてPINコードがロックされた場合は、以下のように操作します。

1 PINロック解除コード入力画面でPINロック解除コードを入力して「OK」

2 新たに設定するPINコードを入力して「OK」

3 手順2で入力したものと同じPINコードを入力して「OK」

言語と入力

本端末の使用言語やキーボードの設定を行います。また、音声の入出力に関する設定を行います。

言語	本端末で使用する言語を選択します。
ユーザー辞書	Googleが提供する文字入力アプリケーションを使用する場合のユーザー辞書について登録などを行います。Googleが提供する文字入力アプリケーションはGoogle Playからダウンロードできます。 ※ GoogleのLatinIME基盤の文字入力アプリケーションのみで使用可能です。
キーボードと入力方法	
デフォルト	デフォルトのキーボードと入力方法を選択します。
Google音声入力	使用する場合はタップしてチェックマークを付けます。また、各種設定を行います。
LGキーボード	使用する場合はタップしてチェックマークを付けます。また、各種設定を行います。
LG日本語キーボード	使用する場合はタップしてチェックマークを付けます。また、各種設定を行います。
mazec-T手書き変換	使用する場合はタップしてチェックマークを付けます。また、各種設定を行います。
しゃべってキー入力	使用する場合はタップしてチェックマークを付けます。また、各種設定を行います。
スピーチ	
音声検索	音声認識の設定を行います。
音声出力	テキストの読み上げに関する設定を行います。 • 2012年10月現在、日本語には対応しておりません。
マウス／トラックパッド	
ポインター速度	本端末とマウスやトラックパッドを接続したとき、ポインター速度の設定を行います。

バックアップとリセット

初期化の操作を行います。

バックアップとリストア	
データのバックアップ	Googleサーバーにバックアップをするかどうかを設定します。
バックアップアカウント	バックアップ用のアカウントを設定します。
自動復元	アプリケーションを再インストールするとき、バックアップした設定とデータを復元します。
データ移行モード	iCお引っこしサービスを利用するためのモードです。
個人データ	
データの初期化	本端末内のすべてのデータを消去します。

本端末を初期化する

1 ホーム画面で ☰ ▶「本体設定」▶「バックアップとリセット」

2 「データの初期化」▶「携帯電話のリセット」▶「実行する」▶「OK」

お知らせ

- 画像や動画、音楽などのお客様データは、パソコンでのバックアップを行ってください。接続方法について、詳しくは「ファイル管理」(P150)、および「外部機器接続」(P159)をご参照ください。

システム

日付と時刻、ユーザー補助、接続、開発者向けオプション、端末情報を設定します。

日付と時刻

日付や時刻に関する設定を行います。

項目	説明
日付と時刻の自動設定	ネットワークを介して日付と時刻の情報を取得し、自動的に設定します。
タイムゾーンを自動設定	ネットワークを介してタイムゾーンの情報を取得し、自動的に設定します。
日付の設定	日付の設定を行います。
時刻の設定	時刻の設定を行います。
タイムゾーンの選択	タイムゾーンの設定を行います。
24時間表示	24時間表示とするか、12時間表示とするかを設定します。
日付表示形式の選択	日付の表示形式を設定します。

ユーザー補助

ユーザー補助に関するアプリケーションの設定などを行います。

項目	説明
サービス	
ユーザー補助に対応したアプリケーションを有効／無効にします。ユーザー補助を設定するには、あらかじめGoogle Playから対応するアプリケーションをダウンロードしてください。	
システム	
大きい文字サイズ	画面に大きい文字で表示します。
電源ボタンで通話を終了	電源ボタンを押して通話を終了するかどうかを設定します。
縦横表示の自動回転	本端末の向きを変えた場合、画面表示の縦横を自動的に切り替えるかどうかを設定します。
タッチ感度調整	タッチの感度を「短い」、「中」、「長い」から選択します。
webスクリプトをインストール	アプリからWebコンテンツへのアクセスを容易にするスクリプトをGoogleからインストールするかどうかを設定します。

お知らせ

- お買い上げ時は、「音声読み上げ機能は必要ですか？」とメッセージが表示されます。

PC接続

USB接続モードの設定を行います。

USB接続	
USB接続の種類	パソコンと接続するときのデフォルトのUSB接続モードを設定します。（P161）
接続時に確認	パソコンと接続するときに、USB接続モードを常に確認します。
ヘルプ	USB接続モードの説明が表示されます。

USBテザリングを有効にする

microUSB接続ケーブル01（別売）で本端末とパソコンを接続し、モデムとして利用することでインターネットに接続させることができます。

1 本端末とパソコンをUSB接続ケーブルで接続する（P159）

- 「USB接続の種類」画面が表示されます。

2 「USBテザリング」

- 注意のメッセージが表示されるので、注意事項の詳細を確認して「OK」をタップします。

お知らせ

- USBテザリングを行う際、必要なパソコン側の動作環境は次のとおりです。
  - OS※：Windows 7／Windows Vista／Windows XP（Service Pack 3 以降）

  ※ OSのアップグレードや追加・変更した環境での動作は保証いたしかねます。
- USBテザリングを行うには、専用のドライバが必要です。詳細については、下記のホームページをご参照ください。
  http://www.lg.com/jp/mobile-phones/download-page/index.jsp

開発者向けオプション

アプリケーション開発に必要となる各種設定を行います。

端末情報

本端末に関する各種情報を表示します。

ソフトウェア更新	ソフトウェア更新設定の変更などができます。
LGソフトウェア更新	LG Electronics Inc. のソフトウェアを更新します。
ネットワーク	本端末のネットワークに関する状態を表示します。
電話機識別情報	本端末の電話番号、モデル番号（機種名）などを表示します。
バッテリー	バッテリーの状態が確認できます。
ハードウェア情報	Wi-Fi MACアドレス、Bluetoothアドレスを表示します。
ソフトウェア情報	本端末で稼働中のAndroidのバージョン、ベースバンドバージョン、カーネルバージョン、ビルド番号、ソフトウェアバージョンを表示します。
使用条件	利用規約に関する情報を表示します。

ファイル管理

ファイル操作について

本端末とパソコンをmicroUSB接続ケーブル（別売）で接続して、パソコンの「Windows Media Player」と音楽などのデータを同期したり、ドラッグ＆ドロップでパソコンと本端末でデータをやりとりしたりできます。

- 本端末をパソコンに認識させるには、専用のドライバおよびWindows Media Player 11以上が必要です。
  - 専用ドライバのダウンロードや操作方法、その他詳細については、下記のホームページを参照してください。
    http://www.lg.com/jp/mobile-phones/download-page/index.jsp
  - 最新版のWindows Media Playerは、Microsoftのウェブサイトからダウンロードできます。
    http://www.microsoft.com/windows/windowsmedia/download
- 本端末とパソコンを接続中に、動画の撮影や再生など一部の機能が使用できない場合があります。
- 一部の著作権で保護されたデータのやりとりは許可されない場合があります。

お知らせ

- ファイル操作に必要なパソコン側の動作環境は次のとおりです。
  - OS※：Windows 7／Windows Vista／Windows XP（Service Pack 3以降）
  - Windows Media Player：Windows Media Player 11以上

  ※ OSのアップグレードや追加・変更した環境での動作は保証いたしかねます。
- パソコンで本端末内のファイルを操作するには、本端末とパソコン以外に次の機器、およびソフトウェアが必要です。
  - microUSB接続ケーブル
  - 専用のドライバ

  ケーブルは、microUSB接続ケーブル 01（別売）をご使用ください。パソコンのUSBケーブルはコネクタ部分の形状が異なるため使用できません。

本端末内のフォルダについて

本端末とパソコンを接続すると、本端末内の内部ストレージとmicroSDカードが「L-01E」という名前で認識されます。
本端末のカメラで撮影した静止画や動画を保存したときや、インターネットから画像、音楽などのデータをダウンロードしたときなど、そのファイルに対応したフォルダが本端末内の内部ストレージまたはmicroSDカードに自動的に作成されます。

- 本端末とパソコンの接続方法について、詳しくは「本端末とパソコンを接続する」(P159)をご参照ください。
- 「L-01E」のドライブ構成は次のとおりです。
  - SDカード
  - 内部ストレージ

お知らせ

- カメラで撮影した静止画や動画は本端末内の内部ストレージまたはmicroSDカードの「DCIM」フォルダに、パソコンのWindows Media Playerと同期した音楽データは「Music」フォルダに保存されます。
- 本端末内の内部ストレージとmicroSDカードに保存されているお客様データは、パソコンでのバックアップを行ってください。パソコンとの接続方法について、詳しくは「ファイル操作について」(P150)、もしくは「本端末とパソコンを接続する」(P159)をご参照ください。
- パソコンなどほかの機器から本端末内の内部ストレージまたはmicroSDカードに保存したデータは、本端末で表示、再生できない場合があります。また、本端末からパソコンに保存したデータは、ほかの機器で表示、再生できない場合があります。

フォルダやファイルの操作

パソコンとデータをやりとりする

1 microUSB接続ケーブル（別売）で本端末とパソコンを接続する（P159）
- 「USB接続の種類」画面が表示されます。

2 USB接続モードを「メディア同期（MTP）」にする（P161）

3 パソコン側で「マイコンピュータ」を開き、「L-01E」の「内部ストレージ」を選択する
- 本端末内の内部ストレージのルートフォルダが表示されます。
- 設定により「自動再生」画面が表示されることがあります。画面が表示されたら、「デバイスを開いてファイルを表示する」を選択してください。

4 本端末とパソコンの間で、データをドラッグ＆ドロップする

Windows Media Playerとデータを同期する

パソコンのWindows Media Playerのライブラリと音楽や動画を同期できます。著作権保護付きの音楽や動画は、この方法によって著作権情報とともに本端末に同期できます。

1 microUSB接続ケーブル（別売）で本端末とパソコンを接続する（P159）

2 USB接続モードを「メディア同期（MTP）」にする（P161）

3 パソコン側でWindows Media Playerを起動し、同期する

お知らせ

- Windows Media Playerについて、詳しくはWindows Media Playerのヘルプをご参照ください。

本端末をパソコンから切断する

1 **パソコン側で、ハードウェアの安全停止または取り外し操作を行う**

- Windows® 7 ／ Windows Vista® ／ Windows® XPでは、「ハードウェアの安全な取り外し」の操作を行います。

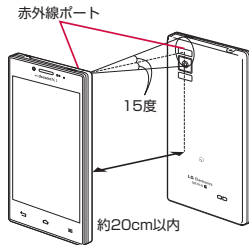
2 **microUSB接続ケーブル（別売）を本端末およびパソコンから取り外す**

お知らせ

- データの読み込みや書き込み中に、本端末の電源を切ったり、microUSB接続ケーブルを抜いたりしないでください。データ消失などの原因となります。

赤外線通信

赤外線通信機能が搭載された他の端末や携帯電話などとデータを送受信します。

- 赤外線通信できるデータは次のとおりです。
  電話帳、マイプロフィール、名刺、spモードメール、スケジュール＆メモ、静止画、動画、トルカ
- 赤外線の通信距離は約20cｍ以内、赤外線放射角度は中心から15度以内です。また、データの送受信が終わるまで、本端末を相手側の赤外線ポート部分に向けたまま動かさないでください。
- 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、正常に通信できない場合があります。
- 相手の端末によっては、データの送受信がしにくい場合があります。

赤外線通信でマイプロフィールを送信する

1 ホーム画面で「電話」▶「電話帳」▶「マイプロフィール」

2 ☰ ▶「赤外線送信」

3 受信側を受信待ち状態にする

4 「OK」▶「OK」

赤外線１件送信

<例>連絡先を１件送信する

1 ホーム画面で「電話」▶「電話帳」▶ 連絡先を選択

2 ☰ ▶「赤外線」

3 受信側を受信待ち状態にする

4 「OK」▶「OK」

赤外線全件送信

<例>連絡先を全件送信する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「赤外線」

2 「全件送信」▶「電話帳」▶「開始する」▶ ドコモアプリパスワードを入力 ▶「OK」

3 受信側と同じ認証パスワードを入力 ▶「決定」▶ 受信側を受信待ち状態にする ▶「OK」▶「OK」

赤外線受信

<例>連絡先を受信する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「赤外線」

2 「1 件受信」▶「OK」▶「OK」▶「OK」

- 全件受信する場合、「全件受信」▶ ドコモアプリパスワードを入力 ▶「OK」▶ 送信側と同じ認証パスワードを入力 ▶「決定」▶「ＯＫ」▶「ＯＫ」▶「保存する」
- アカウントの選択画面が表示された場合は、アカウントを選択します。

お知らせ

- 認証パスワードは受信側と送信側で任意に設定するものです。

Bluetooth通信

本端末とBluetoothデバイスをワイヤレスで接続し、データをやりとりできます。

- Bluetooth対応バージョンやプロファイルについては、「主な仕様」（P250）をご覧ください。
- Bluetoothの設定や操作方法については、接続するBluetoothデバイスの取扱説明書をご覧ください。
- 本端末とすべてのBluetoothデバイスとのワイヤレス接続を保証するものではありません。

■ Bluetooth機能使用時のご注意

- 本端末とほかのBluetoothデバイスとは、見通し距離約10m以内で接続してください。間に障害物がある場合や、周囲の環境（壁、家具など）、建物の構造によっては、接続可能距離が極端に短くなることがあります。特に鉄筋コンクリートの建物の場合、上下の階や左右の部屋など鉄筋の入った壁を挟んで設置したときは、接続できないことがあります。上記接続距離を保証するものではありませんので、ご了承ください。
- ほかの機器（電気製品、AV機器、OA機器など）から2m以上離れて接続してください。特に電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、必ず3m以上離れてください。近づいていると、ほかの機器の電源が入っているときに正常に接続できないことがあります。また、テレビやラジオに雑音が入ったり映像が乱れたりすることがあります。
- 放送局や無線機などが近くにあり正常に接続できないときは、接続相手のBluetoothデバイスの使用場所を変えてください。周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。
- Bluetoothデバイスをかばんに入れたままでもワイヤレス接続できます。ただし、Bluetoothデバイスと本端末の間に身体を挟むと、通信速度の低下や雑音の原因になることがあります。
- Bluetooth機器が発信する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては、事故を発生させる原因になりますので、次の場所では本端末の電源および周囲のBluetooth機器の電源を切ってください。
  - 電車内
  - 航空機内
  - 病院内
  - 自動ドアや火災報知機から近い場所
  - ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所

■ 無線LAN対応機器との電波干渉について

- 本端末のBluetooth機能と無線LAN対応機器は同一周波数帯（2.4GHz）を使用しているため、無線LAN対応機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になる場合があります。この場合、以下の対策を行ってください。
  - Bluetoothデバイスと無線LAN対応機器は、約10m以上離してください。
  - 約10m以内で使用する場合は、Bluetoothデバイスまたは無線LAN対応機器の電源を切ってください。

■ Bluetooth機能のパスキー（PIN）について

- Bluetooth機能のパスキー（PIN）は、接続するBluetoothデバイス同士が初めて通信するとき、相手機器を確認して、お互いに接続を許可するための認証用コードです。送信側／受信側とも同一のパスキー（最大16文字の半角英数字）を入力する必要があります。
- 本端末ではパスキーを「PIN」と表示している場合があります。

Bluetooth機能をONにして本端末を検出可能にする

1 ホーム画面で ☰ ▶「本体設定」▶「Bluetooth」

2 「Bluetooth」をONにする

3 「デバイスを表示する」

- 本端末が別のBluetoothデバイスから約120秒間検出可能になります。

お知らせ

- Bluetooth機能を使用しないときは、電池の減りを防ぐため、Bluetooth機能をOFFにしてください。
- Bluetooth機能のON／OFF設定は、電源を切っても変更されません。

端末名を変更する

Bluetooth通信を行ったときに、相手の機器に表示される本端末の名前を変更できます。

1 ホーム画面で ☰ ▶「本体設定」▶「Bluetooth」

2 端末名をタップ

3 名前を入力 ▶「保存」

ほかのBluetoothデバイスとペアリング／接続する

Bluetooth通信を行うには、あらかじめほかのデバイスとペアリング（ペア設定）を行い、本端末に登録後、接続を行います。

- Bluetoothデバイスによって、ペアリングのみ行うデバイスと接続まで続けて行うデバイスがあります。

1 ホーム画面で ☰ ▶「本体設定」▶「Bluetooth」▶「デバイスの検索」

- 検出されたBluetoothデバイスの一覧画面が表示されます。

2 接続したいデバイスをタップ ▶「ペアリング」をタップ

- Bluetoothデバイスにパスキー（PIN）が設定されている場合、パスキー（PIN）を入力して「OK」をタップしてください。
- Bluetoothデバイスによっては、デバイスをタップするとペアリング完了後、続けて接続まで行う場合があります。

お知らせ

- ペアリング時にパスキー（PIN）が必要なデバイスの場合も一度ペアリングを行うと、ペアリングを解除しない限り、切断した状態で再度接続するときはパスキー（PIN）の入力は不要になります。
- プロファイル非対応の場合など、接続できないデバイスの場合はペアリング設定は可能ですが、デバイスをタップしても接続できません。
- ペアリング済みのデバイスの ⚙ ▶「接続設定」とタップすると、自動で接続するか常に確認するかを選択できます。
- SCMS-T非対応のデバイスでは、音楽データなど、オーディオ関連データの種別に関わらず、再生することはできません。

ほかのデバイスからペアリング要求を受けた場合

Bluetooth通信のペアリングを要求する画面が表示された場合、「ペアリング」をタップするか、必要な場合は、パスキー（PIN）を入力して「OK」をタップしてください。

ペアリングを解除する場合

1 「ペアリング済みデバイス」の一覧で、ペアリングを解除したいデバイスの ⚙ をタップ ▶「ペアリングの解除」

Bluetooth機能でデータを送受信する

- あらかじめ本端末のBluetooth機能をONにし、検出可能にしてください。

Bluetooth機能でデータを送信する

電話帳（vcf形式の名刺データ）のデータや静止画、動画などのファイルを、ほかのBluetoothデバイス（パソコンなど）に送信できます。

- 送信は各アプリケーションの「共有」／「送信」などのメニューから行ってください。

■ 例：ギャラリーから静止画を送信する場合

1 本端末とほかのBluetoothデバイスとペアリング／接続する（P157）

2 ホーム画面で「アプリ」▶「ギャラリー」▶ 送信したい静止画を選択して表示する

3 ▶「Bluetooth」▶ Bluetoothデバイスを選択

- 複数の静止画を同時に送信する場合、静止画の一覧画面で ▶「すべて選択」または送信したい静止画にチェックマークを付ける ▶「共有」▶「Bluetooth」▶ Bluetoothデバイスを選択してください。

4 以降、受信する相手機器側で画面の指示に従ってデータを受信する

Bluetooth機能でデータを受信する

1 本端末を検出可能な状態にする

2 Bluetooth認証要求の画面が表示されたら、「承諾」をタップする

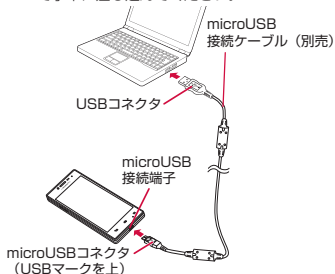
- ステータスバーに が表示され、データの受信が開始されます。
- 通知パネルで受信状態を確認できます。
- 受信が完了したら、画面下部にメッセージ画面が表示されます。

外部機器接続

本端末とパソコンを接続する

ご使用のパソコンに専用のドライバやWindows Media Player 11以上が入っていることを確認してください。専用のドライバやWindows Media Player 11以上が入っていないと、本端末がパソコンに正常に認識されない可能性があります。動作環境について、詳しくは「ファイル操作について」(P150)をご参照ください。

1 microUSB接続ケーブル（別売）のmicroUSBコネクタを本端末のmicroUSB接続端子に差し込む

- microUSBコネクタは、USBマークを上にして水平に差し込んでください。

2 microUSB接続ケーブルのUSBコネクタをパソコンのUSBポートに差し込む

- 本端末がパソコン側に自動で認識されます。
- パソコン側でデバイスドライバのインストールを要求される場合がありますが、キャンセルしてください。
- ステータスバーに が表示されます。
- 本端末に「USB接続の種類」画面が表示されます。
  「USB接続の種類」画面が表示されない場合は、ステータスバーを下にドラッグまたはスワイプして通知パネルを開き、「USB接続」をタップしてください。

- 「USB接続の種類」画面では、以下を選択できます。

充電のみ	充電のみを行う場合に選択します。（P48）
メディア同期（MTP）	パソコンとメディアファイルを同期する場合に選択します。（P152）
USBテザリング	USBテザリングを利用する場合に選択します。（P148）
LGソフトウェア	LGMobile Support Toolを使用してパソコンと接続するときに選択します。
カメラ（PTP）	カメラアプリケーションを使用して写真ファイルを転送したり、MTPでサポートしていないさまざまなファイルをパソコンから転送するときに選択します。

3 「充電のみ」／「メディア同期（MTP）」／「USBテザリング」／「LGソフトウェア」／「カメラ（PTP）」

お知らせ

- パソコンとの接続中にステータスバーを下にドラッグまたはスワイプして通知パネルを開き、「USB接続」をタップすると、「USB接続の種類」画面が表示され、USB接続モードを変更できます。
- パソコンと接続するときのデフォルトのUSB接続モードは、ホーム画面で ☰ ▶「本体設定」▶「PC接続」▶「USB接続の種類」をタップすると変更できます。
- USB接続モードが「カメラ（PTP）」のときは、内部ストレージにある「DCIM」フォルダと「Pictures」フォルダ内の画像ファイルのみ表示されます。
- データの読み込みや書き込み中に、本端末の電源を切らないでください
- データの読み込みや書き込み中、microUSB接続ケーブルを抜かないでください。データ消失などの原因となります。
- Windows Media Playerについて、詳しくはWindows Media Playerのヘルプをご参照ください。

アプリケーション

dメニュー

dメニューでは、ドコモのお勧めするサイトや便利なアプリケーションに簡単にアクセスすることができます。

1 **ホーム画面で「dメニュー」**

ブラウザが起動し、「dメニュー」が表示されます。

お知らせ

- dメニューのご利用には、パケット通信(LTE/3G/GPRS)もしくはWi-Fiによるインターネット接続が必要です。
- dメニューへの接続およびdメニューで紹介しているアプリケーションのダウンロードには、別途パケット通信料がかかります。なお、ダウンロードしたアプリケーションによっては自動的にパケット通信を行うものがあります。
- dメニューで紹介しているアプリケーションには、一部有料のアプリケーションが含まれます。

dマーケット

dマーケットでは、自分に合った便利で楽しいコンテンツを手に入れることができます。

1 **ホーム画面で「dマーケット」**

- ブラウザが起動し、「dマーケット」が表示されます。
- 初めてdマーケットをご利用の際に、dマーケットソフトウェア使用許諾契約書の同意確認メッセージが表示されます。

お知らせ

- dマーケットの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

Playストア

Playストアを利用すると、Google Playから便利なアプリケーションや楽しいゲームを本端末にダウンロード、インストールすることができます。

- Google Playのご利用には、Googleアカウントの設定が必要です。（P68）

アプリケーションをインストールする

1 ホーム画面で「Playストア」

- 初めてGoogle Playをご利用の際に、Google Play利用規約が表示されるので、内容をよく読み、「同意する」をタップします。

2 アプリケーションを検索 ▶ ダウンロードしたいアプリケーションをタップする

3 「ダウンロード」／「インストール」（無料アプリケーションの場合）または金額欄（有料アプリケーションの場合）をタップする

- アプリケーションによって表示される内容は異なります。
- アプリケーションが本端末のデータや機能にアクセスする必要がある場合、そのアプリケーションがどの機能を利用するのか表示されます。

4 「同意してダウンロード」（無料アプリケーションの場合）／「同意して購入」（有料アプリケーションの場合）

- お客様がアプリケーションをダウンロード／購入することにより、本端末でのこのアプリケーションの使用に関する責任を負うことになります。多くの機能または大量のデータにアクセスするアプリケーションには特にご注意ください。
- ダウンロードおよびインストールが正常に終了すると、ステータスバーに通知アイコンが表示されます。通知パネルを表示させて、アプリケーション名をタップしてください。インストールされたアプリケーションが開きます。

アプリケーションを購入する場合

- アプリケーションに対する支払いは一度だけです。一度ダウンロードした後、アンインストールしたり再びダウンロードする場合、その都度料金を支払う必要はありません。
- 同じGoogleアカウントを使用しているAndroidデバイスが他にある場合、購入したアプリケーションはほかのデバイスでもすべて無料でダウンロードできます。
- アプリケーションの購入後、規定の時間以内であれば返金を要求することができます。アプリケーションは削除され、料金は請求されません。なお、返金要求は、各アプリケーションに対して最初の一回のみ有効です。過去に一度購入したアプリケーションに対して返金要求をし、同じアプリケーションを再度購入した場合には、返金要求はできません。
- アプリケーション購入時の支払い方法や返金要求の規定などについて、詳しくは ☰ ▶「ヘルプ」▶「Androidアプリ」▶「アプリケーションの購入」をご覧ください。

お知らせ

- アプリケーションのインストールは、安全であることをご確認の上、自己責任において実行してください。ウイルスへの感染や各種データの破壊などが発生する可能性があります。
- 万が一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより各種動作不良が生じた場合、弊社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有料修理となります。
- お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより自己または第三者への不利益が生じた場合、弊社では責任を負いかねます。
- アプリケーションによっては、自動的にパケット通信を行うものがあります。パケット通信は、切断するかタイムアウトにならない限り、接続されたままになります。パケット通信料金が高額になる場合がありますのでご注意ください。パケット通信を切断するには、ホーム画面で ☰ ▶「本体設定」▶「その他...」▶「モバイルネットワーク」をタップし、「データ通信を有効にする」のチェックマークを外します。
- Google Playについての情報が必要な場合には、Google Play画面を開いた状態で ☰ ▶「ヘルプ」をタップします。

アプリケーションをアンインストールする

1 Google Play画面で ☰ ▶「マイアプリ」▶ アンインストールしたいアプリケーションをタップする

2 「アンインストール」

3 「OK」

- 有料アプリケーションで「アンインストールと払い戻し」画面が表示されない場合、試用期間が終了しています。

おサイフケータイ

おサイフケータイは、ICカードが搭載されており、お店などの読み取り機に本端末をかざすだけで、お支払いやクーポン券、スタンプラリーなどがご利用いただける機能です。さらに、読み取り機に本端末をかざしてサイトやホームページにアクセスしたり、通信を利用して最新のクーポン券の入手、電子マネーの入金や利用状況の確認などができます。また、紛失時の対策として、おサイフケータイの機能をロックすることができるので、安心してご利用いただけます。

- おサイフケータイの詳細については『ご利用ガイドブック(spモード編)』をご覧ください。
- おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、サイトまたはアプリケーションでの設定が必要です。
- 本端末の故障により、ICカード内データ(電子マネー、ポイントなど含む)が消失・変化してしまう場合があります(修理時など、本端末をお預かりする場合は、データが残った状態でお預かりすることができませんので、原則データをお客様自身で消去していただきます)。データの再発行や復元、一時的なお預かりや移し替えなどのサポートは、おサイフケータイ対応サービス提供者にご確認ください。重要なデータについては、必ずバックアップサービスのあるおサイフケータイ対応サービスをご利用ください。

- 故障、機種変更など、いかなる場合であっても、ICカード内データが消失・変化、その他おサイフケータイ対応サービスに関して生じた損害について、当社としては責任を負いかねます。
- 本端末の盗難、紛失時は、すぐにご利用のおサイフケータイ対応サービス提供者に対応方法をお問い合わせください。

iCお引っこしサービス

iCお引っこしサービスは、機種変更や故障修理時など、おサイフケータイをお取り替えになる際、おサイフケータイのICカード内データを一括でお取り替え先のおサイフケータイに移し替えることができるサービスです。iCお引っこしサービスはお近くのドコモショップなどでご利用いただけます。

- iCお引っこしサービスの詳細については、『ご利用ガイドブック（spモード編）』をご覧ください。

おサイフケータイを利用する

おサイフケータイ対応サービスをご利用いただくには、おサイフケータイ対応サイトよりおサイフケータイ対応アプリケーションをダウンロード後、設定を行ってください。なお、サービスによりおサイフケータイ対応アプリケーションのダウンロードが不要なものもあります。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「おサイフケータイ」

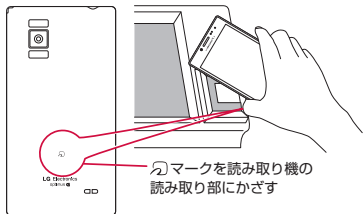
- 初回起動時には、初期設定が必要な場合があります。画面の指示に従って操作してください。

2 利用したいサービスをタップする

3 サービスに関する設定を行う

- サービスのサイトまたはアプリケーションから必要な設定を行います。

読み取り機にかざす

マークを読み取り機にかざすことで、通信を行うことができます。

読み取り機にかざすときは次のことに注意してください。

- 本端末を読み取り機にぶつけない
- マークと読み取り機を平行にかざす
- マークはできるだけ読み取り機の中心位置にかざす
- 読み取り機に認識されないときは、マークを前後左右にずらしてかざす
- マーク面に金属物などを付けない

おサイフケータイをロックする

おサイフケータイのサービスを利用できないようにロックします。ロックすると読み取り機からのデータの取得もできなくなります。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「おサイフケータイ」

2 「ロック設定」

3 「パスワード」欄をタップし、パスワードを入力する

- 初めておサイフケータイをロックするときは、再度パスワードを入力する必要があります。

4 「OK」

お知らせ

- 電源を切ってもロックは解除されません。
- おサイフケータイ ロック設定のパスワードは、ロック解除およびパスワードを変更する場合に必要ですので、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。万が一紛失した場合、おサイフケータイのロック解除や設定ができませんので、ご注意ください。

ロックを解除する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「おサイフケータイ」

- ロックされた状態のおサイフケータイアプリ画面が表示されます。

2 「ロック設定」

- 「おサイフケータイ ロック設定」画面が表示されます。

3 「パスワード」欄をタップし、ロックしたときと同じパスワードを入力する

4 「OK」

トルカ

トルカとは、ケータイに取り込むことができる電子カードです。店舗情報やクーポン券などとして、読み取り機やサイトから取得できます。取得したトルカは「トルカ」アプリに保存され、「トルカ」アプリを利用して表示、検索、更新ができます。

- トルカの詳細については『ご利用ガイドブック（spモード編）』をご覧ください。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「トルカ」

お知らせ

- トルカを取得、表示、更新する際には、パケット通信料がかかる場合があります。
- ｉモード端末向けに提供されているトルカは、取得・表示・更新できない場合があります。
- IP（情報サービス提供者）の設定によっては、以下の機能がご利用になれない場合があります。
  - 読み取り機からの取得
  - 更新
  - トルカの共有
  - microSDカードへの移動、コピー
  - 地図表示
- おサイフケータイ ロック設定中は、読み取り機からトルカを取得できません。

- 重複チェックを「ON」に設定した場合、同じトルカを重複して取得することができません。同じトルカを重複して取得したい時は、「OFF」に設定してください。
- IPの設定によって、トルカ（詳細）からの地図表示ができるトルカでもトルカ一覧からの地図表示ができない場合があります。
- メールを利用してトルカを送信する際は、トルカ（詳細）取得前の状態で送信されます。
- ご利用のメールアプリによっては、メールで受信したトルカを保存できない場合があります。
- ご利用のブラウザによっては、トルカを取得できない場合があります。
- トルカをmicroSDカードに移動、コピーする際は、トルカ（詳細）取得前の状態で移動、コピーされます。
- おサイフケータイの初期設定を行っていない状態では、読み取り機からトルカを取得できない場合があります。

モバキャス

モバキャスは、スマートフォン向けの放送サービスです。番組をリアルタイムに視聴できる「リアルタイム」（リアルタイム型放送）、映画やドラマだけでなく、マンガ・小説・音楽・ゲームなどがいつでもどこでも楽しむことができる「シフトタイム」（蓄積型放送）の2つの視聴スタイルで楽しめます。また、端末の通信機能を利用したソーシャルサービスとの連携など、今までにない放送サービスを楽しめます。
モバキャスの詳細については、モバキャス放送局のホームページをご覧下さい。
NOTTV http://www.nottv.jp/

■ モバキャスのご利用にあたって

モバキャスのご利用には別途モバキャス放送局（NOTTV）との有料放送受信契約が必要になります。
本体にドコモminiUIMカードが入ってない場合は放送の受信・視聴ができません。
モバキャスは日本国内で提供される放送サービスです。
シフトタイムのご利用にはmicroSDカードが必要です。

■ 放送電波・受信エリアについて

モバキャスは、FOMAサービスやワンセグとは異なる電波を受信しています。そのため、FOMAサービスの圏外／圏内に関わらず、モバキャスの放送電波が届かない場所や放送休止中などの時間帯は受信できません。

また、モバキャス放送エリア内であっても、次のような場所では、受信状態が悪くなったり、受信できなくなったりする場合があります。

- 放送電波が送信される基地局から離れている場所
- 山間部やビルの陰など、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所
- トンネル、地下、建物内の奥まった場所など電波の弱い場所および届かない場所

■ 受信状態をよくするには

- ご利用時にはアンテナを十分伸ばしてください。アンテナの向きを変えたり、場所を移動したりすることで受信状態が良くなることがあります。

モバキャス視聴

番組／コンテンツの視聴

1 ホーム画面で「アプリ」▶「NOTTV」

- NOTTVのホーム画面が表示されます。
- 初めて「NOTTV」を起動したときは、アプリの利用規約を確認し、「同意する」をタップすると、自動的に初期設定が行われます。初期設定は通信環境の良いところで実施してください。

2 「すぐ見る」

3 見たい番組／コンテンツをタップ

■ 音量を調節する

▶ 音量キー（上）／音量キー（下）を押す

■ 字幕や音声の設定を行う

▶ ☰ ▶「設定」▶「表示・音声」

お知らせ

- 擬似ロケーション設定が有効になっている場合、モバキャスはご利用できません。以下の手順で擬似ロケーション設定を無効にすることができます。
  ホーム画面で ☰ ▶「本体設定」▶「開発者向けオプション」▶ 警告画面の内容を確認して「OK」▶「擬似ロケーションを許可する」のチェックマークを外してください。

視聴画面の見かた

視聴画面(縦)の例

視聴画面(横)の例

❶ **映像**

- 左右にスワイプすると、番組／コンテンツが切り替わります。

※ コンテンツの表示構成は番組／コンテンツにより異なります。

❷ **ソーシャルボタン**

- 番組／コンテンツに関連したタイムラインが表示されます。

番組／コンテンツを検索

番組／コンテンツをアプリケーション内でさまざまな方法で探すことができます。

番組表から検索（リアルタイム）

1 NOTTV ホーム画面で「番組表」

- リアルタイム番組表が表示されます。
- 現在放送中の番組をタップすると視聴画面に切り替わります。
- ☰ をタップしてメニューを開き、一覧式で表示することもできます。

条件を指定して検索

1 NOTTV ホーム画面で「すべて」

2 すべての番組／コンテンツで探したいものをタップ

コンテンツの受信予約

1 NOTTV ホーム画面で「すべて」

2 「コンテンツ予定表」をタップ

3 日付の左右にある「<」／「>」

- 今後放送されるコンテンツの一覧が表示されます。

4 予約したいコンテンツをタップ

- コンテンツの詳細画面が表示されます。

5 「受信予約する」

お知らせ

- コンテンツの放送時間に端末の電源が入っていない、電池残量不足、モバキャス放送エリア外、microSDカード未挿入、microSDカード容量不足などの場合は、コンテンツが受信できない場合があります。
- microSDカードに一時保存されたコンテンツはご利用中の端末でのみご利用できます。
- 利用期限を過ぎたコンテンツは自動的にmicroSDカードから削除されます。なお、利用期限が過ぎる前のコンテンツもお客様の操作で削除することができます。
- お客様が予約を行っていない場合も自動的にコンテンツが予約される場合があります。
- 自動的に予約される機能は設定で解除できます。
- 放送電波の受信状況によってはコンテンツデータが正常に受信できない場合があります。その場合、自動的にパケット通信にてデータを補完します。自動的にパケット通信でデータを補完する機能は設定で解除できます。

モバキャスの設定

1. NOTTVホーム画面で ☰ ▶「設定」
2. 必要に応じて設定を変更する

表示・音声	
字幕表示	字幕表示を設定します。
文字スーパー表示	文字を大きく表示するかどうかを設定します。
音声	主音声・副音声を切り替える設定をします。
明るさ調整	画面の明るさを調整します。
自動処理	
自動受信	コンテンツ自動受信のON ／ OFFを設定します。
おすすめのリセット	おすすめ情報をリセットします。
番組・コンテンツ情報取得	番組表／コンテンツリストの情報を放送で取得する時間帯を設定します。

自動コンテンツ補完	放送受信環境等の理由によりコンテンツ完全に受信できなかった際に、自動的にパケット通信でデータを補完するかを設定します。
利用ログ送信	利用ログを送信するかどうかを設定します。
自動ライセンス取得	コンテンツのライセンスを自動的に取得するかを設定します。
ペアレンタルコントロール	年齢に応じた番組／コンテンツの利用制限を設定します。
ブラウザ	
Cookie	Cookieを受け入れるかどうかを設定します。
Cookieを削除	Cookieを削除します。
放送用保存領域消去	放送用保存領域を消去します。
データ放送表示	データ放送を表示するかどうかを設定します。
履歴	
履歴を表示します。	

ワンセグ

ワンセグは、モバイル機器向けの地上デジタルテレビ放送サービスで、映像・音声とともにデータ放送を受信することができます。また、より詳細な番組情報の取得や、クイズ番組への参加、テレビショッピングなどを気軽に楽しめます。

「ワンセグ」サービスの詳細については、下記ホームページでご確認ください。

社団法人　デジタル放送推進協会

http://www.dpa.or.jp/

● ワンセグのご利用にあたって

- ワンセグは、テレビ放送事業者（放送局）などにより提供されるサービスです。映像、音声の受信には通信料がかかりません。なお、ＮＨＫの受信料については、NHKにお問い合わせください。
- データ放送領域に表示される情報は「データ放送」「データ放送サイト」の２種類があります。
「データ放送」は映像・音声とともに放送波で表示され、「データ放送サイト」はデータ放送の情報から、テレビ放送事業者（放送局）などが用意したサイトに接続し表示します。「データ放送サイト」などを閲覧する場合は、パケット通信料がかかります。サイトによっては、ご利用になるために情報料が必要なものがあります。

● 放送波について

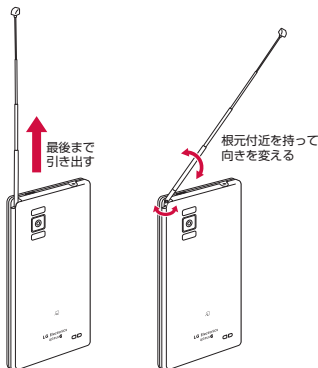
ワンセグは、放送サービスの１つであり、FOMAサービス／Xiサービスとは異なる電波（放送波）を受信しています。そのため、FOMAサービス／Xiサービスの圏外／圏内にかかわらず、放送波が届かない場所や放送休止中などの時間帯は受信できません。

また、地上デジタルテレビ放送サービスのエリア内であっても、次のような場所では、受信状態が悪くなったり、受信できなくなったりする場合があります。

- 放送波が送信される電波塔から離れている場所
- 山間部やビルの陰など、地形や建物などによって電波がさえぎられる場所
- トンネル、地下、建物内の奥まった場所など電波の弱い場所および届かない場所

受信状態を良くするために、ワンセグアンテナを十分伸ばしてください。また、アンテナの向きを変えたり、場所を移動したりすることで受信状態が良くなることがあります。

● ワンセグアンテナについて

- ワンセグを視聴するときは、ワンセグアンテナを最後まで引き出してください。最後まで引き出していない状態で無理な力を加えると、破損の原因となります。
- ワンセグアンテナの向きを変えるときは、根元付近を持ってください。
- ワンセグアンテナを収納するときは、まっすぐ上に向けてから縮めてください。無理な力を加えると、破損の原因となります。
- ワンセグアンテナの先端部を収納するときは、向きに注意してください。

お知らせ

- SCMS-T方式に対応していないBluetooth機器ではワンセグの音声は出力されません。
- ワンセグは著作権保護のため、以下の機能はサポートしていません。
  - HDMI接続による動画出力
  - スクリーンショット
  - Qメモ

● 録画について

本端末では、ワンセグの録画には対応していません。

ワンセグを見る

1 ホーム画面で「アプリ」▶「テレビ」

- ワンセグ視聴画面が表示されます。
- 初めて起動したときは、視聴エリアを選択する必要があります。
- 起動後にジェスチャーガイドが表示されます。

ワンセグ視聴画面の見かた

視聴画面（縦）の例

視聴画面(横)の例

❶ **テレビ放送エリア**
縦画面表示の場合、上下にスワイプすると、チャンネルを切り替えられます。タップすると、データ放送画面が表示されます。
横画面で全画面表示したときのみ、左右にスワイプすると音量を変更でき、左端で上下にスワイプすると画面の明るさを変更できます。

❷ **更新ボタン**
タップすると、チャンネルスキャンを開始します。

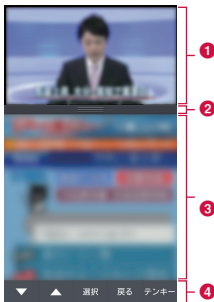
❸ **チャンネル一覧**
チャンネルの一覧が表示されます。チャンネルをタップすると、チャンネルが切り替わります。
チャンネルをロングタッチすると、チャンネルの削除、および位置の移動ができます。

❹ **Qスライドボタン**
タップするとQSlideガイドが表示されます。
ワンセグを見ながら他の作業をすることができます。
をタップすると、ワンセグ視聴画面に戻ります。
をスライドすると、ワンセグ視聴画面の透過性を調整します。
× をタップすると、ワンセグを終了します。

❺ **番組表／チャンネルボタン**
「番組表」をタップすると、視聴中のチャンネルの番組表が表示されます。番組をタップすると、番組の内容が表示されます。「視聴予約」を押すと視聴予約ができます。視聴予約したプログラムには が表示されます。
「チャンネル」をタップすると、チャンネル一覧が表示されます。

データ放送画面の見かた

ワンセグ視聴画面の縦画面表示では、「テレビ放送エリア」をタップするとデータ放送画面が表示されます。

データ放送画面（縦）の例

❶ **テレビ放送エリア**
上下にスワイプすると、チャンネルを切り替えられます。タップすると、ワンセグ視聴画面が表示されます。

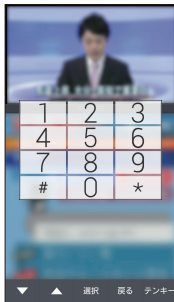
❷ **スクロールバー**
上方向にドラッグまたはスワイプすると、データ放送の内容が全画面表示されます。

❸ **データ放送エリア**
データ放送の内容を直接タップすると、操作できる場合があります。

❹ **データ放送操作ボタン**
データ放送エリア内でカーソルの移動やリンクの選択ができます。

テンキーを利用する

一部のデータ放送では、テンキー入力が利用できます。データ放送操作ボタンの「テンキー」をタップすると、テンキーポップアップメニューが表示されます。

- 「テンキー」が有効の場合、テンキー入力が利用できるデータ放送です。データ放送の内容に応じて、テンキーの動作が異なります。

番組表を利用する

地上波テレビとBSデジタル放送の番組表を閲覧できます。キーワードやジャンルで番組を検索したり、視聴予約することもできます。

1 ワンセグ視聴画面で ☰ ▶「Gガイド番組表」

- Gガイド番組表が表示されます。
- 初めてGガイド番組表を起動したときは、利用規約に同意し、視聴地域を選択する必要があります。

2 番組をタップする

- 番組情報が表示されます。
- 「ワンセグ連携」▶「ワンセグ起動」をタップすると、選択したチャンネルの視聴画面が表示されます。

視聴予約する

番組を視聴予約すると、番組の開始前にアラームでお知らせます。

1 ワンセグ視聴画面で ☰ ▶「視聴予約一覧」

- 「視聴予約一覧」画面が表示されます。

2 ⊕

- 「視聴予約登録」画面が表示され、以下の設定ができます。

チャンネル	チャンネルを設定できます。
開始時刻	開始日、開始時刻を設定できます。
番組名	番組名を入力できます。
繰り返し	曜日ごとに繰り返し同じ時刻に視聴予約を設定できます。

3 「保存」

お知らせ

- 予約した時刻に本端末に電源が入っていない場合は、番組の開始をお知らせできません。
- ワンセグ視聴画面で ☰ ▶「Gガイド番組表」▶ 番組をタップ ▶「ワンセグ連携」▶「ワンセグ視聴予約」▶「保存」をタップしても、番組が視聴予約されます。

予約内容を確認／編集する

1 「視聴予約一覧」画面で視聴予約をタップする

- 視聴予約の予約内容を編集できます。

予約内容を削除する

1 「視聴予約一覧」画面で 🗑 をタップ

2 予約内容の一覧で削除する予約内容にチェックマークを付ける

3 「削除」▶「OK」

TVリンクを利用する

データ放送によっては、関連サイトへのリンク情報（TVリンク）が表示される場合があります。TVリンクを登録しておくと、あとで関連サイトに接続できます。

- TVリンクを登録するには、データ放送エリアに表示されたTVリンクに登録可能な項目をタップしてください。

1 ワンセグ視聴画面で ☰ ▶「テレビリンク」

- TVリンク一覧画面が表示されます。

2 TVリンクをタップする

- 登録されたサイトに接続します。

お知らせ

- TVリンク一覧画面でTVリンクをロングタッチ▶「削除」▶「はい」をタップすると削除できます。
- TVリンク一覧画面で 🗑 ▶「すべて選択」にチェックマークを付ける ▶「削除」▶「OK」をタップすると、TVリンクをすべて削除できます。

ワンセグの設定を行う

1 ワンセグ視聴画面で ☰ ▶「設定」

- 「設定」メニューが表示されます。

2 必要に応じて設定を変更する

画面の明るさ	画面の明るさを調整します。
字幕	字幕を表示するかしないかを設定します。
音声	副音声を放送している番組で、主音声と副音声を切り替えます。
放送用メモリ初期化	データ放送で登録した情報やTVリンクを消去します。

視聴エリアを切り替える

1 **ワンセグ視聴画面で ☰ ▶「視聴エリア切り替え」**

2 ⊕

3 **地域を選択**

視聴エリアが切り替わります。

視聴画面をロックする

1 **ワンセグ視聴画面で ☰ ▶「タッチロック」**

画面がロックされ、画面や前面のキーをタッチして他の操作ができなくなります。

お知らせ

- 🔒 をタップすると、タッチロックが解除されます。

カメラ

本端末には、カメラが内蔵されており、静止画（写真）や動画が撮影できます。

撮影の前に

本端末で撮影した写真または動画は、内部ストレージやmicroSDカードに保存されます。保存先は設定の「ストレージ」（P184、P186）から変更できます。

著作権・肖像権について

本端末を利用して撮影または録音したものを著作権者に無断で複製、改変、編集などすることは、個人で楽しむなどの目的を除き、著作権法上禁止されていますのでお控えください。また、他人の肖像を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますのでお控えください。なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむ目的であっても、撮影または録音が禁止されている場合がありますのでご注意ください。
お客様が本端末を利用して公衆に著しく迷惑をかける不良行為などを行う場合、法律、条例（迷惑防止条例など）に従い処罰されることがあります。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

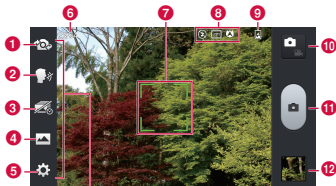
撮影するときのご注意

- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見えたり暗く見えたりする画素や線がある場合があります。また、特に光量が少ない場所での撮影では、白い線などのノイズが増えますが、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- 撮影する前に、柔らかい布などでレンズをきれいに拭いておいてください。レンズに指紋や油脂などがつくと、ピントが合わなくなったり不鮮明な画像になったりすることがあります。
- 本端末を暖かい場所や直射日光が当たる場所に長時間放置したりすると、撮影する画像や映像が劣化することがあります。
- 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの高速で点滅している照明下で撮影すると、画面がちらついたり縞模様が現れたりするフリッカー現象が起きる場合があり、撮影のタイミングによっては静止画や動画の色合いが異なることがあります。
- レンズ部分に直射日光を長時間当てたり、太陽や明かりの強いランプなどを直接撮影したりしないでください。撮影した画像の色が変色したり、故障の原因となったりします。
- 撮影時は、レンズに指や髪などがかからないようにしてください。
- 速く動いている被写体を撮影すると、撮影したときに画面に表示されていた位置とは若干ずれた位置で撮影されたり、画像がぶれたりする場合があります。
- 電池残量が少ないときは、撮影した静止画や動画を保存できない場合があります。電池残量を確認してから撮影してください。
- 撮影した静止画や動画は、実際の被写体と明るさや色合いが異なる場合があります。
- シャッター音はサウンドプロフィールを「バイブレートのみ」、「サイレント」に設定中でも一定の音量で鳴ります。

静止画を撮影する

静止画は、縦向きと横向きとのどちらでも撮影できます。

撮影画面の見かた

静止画撮影画面に表示されるマーク（アイコンなど）の意味は次のとおりです。

❶ **カメラ切り替え**
インカメラとメインカメラを切り替えます。

❷ **ボイスシャッター**
「チーズ」など、特定のキーワードを言うことで静止画を撮影するモードに切り替えます。

❸ **タイムキャッチショットモード**
シャッターを押す１秒前から数枚の静止画を撮影するモードに切り替えます。

❹ **撮影シーン**
撮影モード（ノーマル／ HDR ／パノラマ／連続撮影）を設定します。

❺ **設定（静止画撮影時）**
クイックメニューの編集／フラッシュ／ズーム／画面の明るさ／フォーカス／画像サイズ／撮影シーン／ ISO ／ホワイトバランス／色調調整／タイマー／位置情報の記録／シャッター音／オートレビュー／ストレージ／リセット／カメラヘルプガイドの設定を行います。

❻ **撮影可能枚数**

❼ **オートフォーカス枠**
オートフォーカスに成功した場合は緑色で表示されます。失敗した場合は白色で表示されます。
また、画面をタップすると、タップした位置にフォーカスを合わせることもできます。

❽ **設定情報アイコン**
設定内容に応じたアイコンが表示されます。

❾ **電池残量**
電池残量を表示します。

❿ **静止画／動画撮影モードの切り替えボタン**
静止画撮影モードまたは動画撮影モードに切り替えます。

⓫ **シャッター**

⓬ **サムネイル**

タップするとプレビュー画面が表示され、撮影した静止画の確認ができます。また、静止画を編集することもできます。

静止画を撮影する

1 ホーム画面で「アプリ」▶「カメラ」

- 静止画撮影画面が表示されます。
- 画面にはメニューが表示され、撮影するシーンや状況に応じて、さまざまな設定ができます。

2 カメラを被写体に向ける

3

- シャッター音が鳴り、静止画が撮影されます。
- 撮影後は、撮影された静止画のプレビューがサムネイルとして表示されます。
- 撮影したデータは「ギャラリー」に保存されます。

お知らせ

- オートレビューが「OFF」以外の場合は、撮影後にプレビュー画面が表示されます。プレビュー画面にはメニューが表示され、以下の操作ができます。

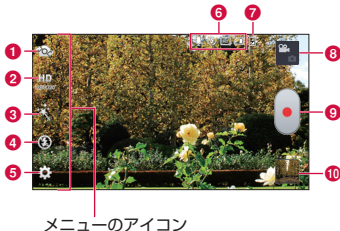
  <画面左部（縦画面の場合は、画面上部）>
  - 「共有」：BluetoothやEメール、Gmail、Picasaなどで送信できます。
  - 「設定」：「ホーム画面の背景」または「電話帳の写真」に設定できます。

  <画面右部（縦画面の場合は、画面下部）>
  - ：表示されている静止画を削除します。
  - ：新たに静止画を撮影できます。
  - ：撮影した静止画を確認したり編集できます。
- タイムキャッチショットモードが「ON」の場合は、撮影後のプレビュー画面で をタップするとシャッターを押す1秒前から撮影した写真が表示されます。

動画を撮影する

モードを切り替えることで動画が撮影できます。動画は横向きで撮影されます。

撮影画面の見かた

動画撮影画面に表示されるマーク（アイコンなど）の意味は次のとおりです。

❶ **カメラ切り替え**
インカメラとメインカメラの切り替えを行います。

❷ **画質切り替え**
撮影の解像度を切り替えます。

❸ **ライブ効果**
撮影時に使用するビジュアルエフェクトを設定します。

❹ **発光ライトの切り替え**
発光ライトのON ／ OFFを切り替えます。

❺ **設定（動画撮影時）**
クイックメニューの編集／ズーム／画面の明るさ／ホワイトバランス／色調調整／位置情報の記録／録音／オートレビュー／ストレージ／リセット／ビデオのヘルプガイドの設定を行います。

❻ **設定情報アイコン**
設定内容に応じたアイコンが表示されます。

❼ **電池残量**
電池残量を表示します。

❽ **静止画／動画撮影モードの切り替えボタン**
静止画撮影モードまたは動画撮影モードに切り替えます。

❾ **録画ボタン**

❿ **サムネイル**
タップするとプレビュー画面が表示され、撮影した動画の確認ができます。

動画を撮影する

1 静止画撮影画面で をタップする

- 動画撮影画面に切り替わります。
- 画面にはメニューが表示され、撮影するシーンや状況に応じて、さまざまな設定ができます。

2 カメラを被写体に向ける

3

- 録画開始音が鳴り、撮影が始まります。
- 撮影が開始されると、撮影画面に録画経過時間が表示されます。
- 動画撮影中に をタップすると、タップした瞬間に表示されている画面の静止画が撮影されます。
- 動画撮影中にタッチスクリーンをピンチアウト／ピンチインすると、ズームイン／ズームアウトができます。

4

- 録画停止音が鳴り、録画が停止します。その後、動画撮影画面が表示されます。
- 撮影したデータは「ギャラリー」に保存されます。

お知らせ

- オートレビューが「OFF」以外の場合は、撮影後にプレビュー画面が表示されます。プレビュー画面にはメニューが表示され、以下の操作ができます。

＜画面左部（縦画面の場合は、画面上部）＞

- 「再生」：撮影した動画を再生します。
- 「共有」：BluetoothやEメール、Gmailなどで送信できます。また、You Tubeにアップロードすることもできます。

＜画面右部（縦画面の場合は、画面下部）＞

- ：表示されている動画を削除します。
- ：新たに動画を撮影できます。
- ：撮影した動画を確認できます。

ギャラリー

カメラで撮影したり、ウェブサイトからダウンロードしたりして保存した静止画／動画を表示／再生します。

静止画や動画を見る

1 **ホーム画面で「アプリ」▶「ギャラリー」**

- ギャラリー画面が表示されます。
- ギャラリーで静止画や動画などの並び順を変更するには「アルバム」「ロケーション」「タイムスタンプ」を選択することができます。

2 **フォルダをタップする**

- 静止画や動画がサムネイルで表示されます。
- 本端末のカメラで撮影した静止画や動画を見る場合は、「カメラ」をタップします。

3 **いずれかのサムネイルをタップする**

- 静止画の場合、指でダブルタップするか、タッチスクリーンをピンチアウト／ピンチインすることで画像を拡大／縮小することができます。
- 動画の場合、動画が再生されます。

お知らせ

- 静止画／動画一覧画面では以下の操作ができます。
  - ：カメラが起動し、静止画や動画を撮影できます。
  - ：選択された静止画をPicasaやGmail、Bluetooth などで送信できます。動画は、Gmail、Bluetoothなどで送信できます。また、You Tubeにアップロードすることもできます。
  - ：選択された静止画や動画を削除します。
- 静止画表示画面では、 をタップして以下の操作ができます。
  - 「画像を設定」：静止画を電話帳の写真や、ホーム画面の背景に設定します。
  - 「移動」：ファイルを選択してほかのフォルダに移動します。
  - 「コピー」：ファイルを選択してほかのフォルダにコピーします。
  - 「リネーム」：ファイルの名前を編集します。
  - 「左に回転する」：静止画を左に回転します。
  - 「右に回転する」：静止画を右に回転します。
  - 「トリミング」：静止画をトリミングします。
  - 「編集」：静止画の明るさなどを編集します。
  - 「スライドショー」：保存されている静止画がスライドショーとして順に表示されます。
  - 「ファイル情報」：静止画や動画の詳細情報を確認できます。

- 「地図に表示」:「位置情報の記録」を「ON」にして撮影した場合に、撮影場所を地図で確認できます。
- 動画再生時の操作については、「動画を再生する」（P194）をご参照ください。

Picasaアルバムを同期する

GoogleアカウントのPicasaアルバムを本端末のギャラリーに同期することができます。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「ギャラリー」

2 ☰ ▶「設定」

3 「アカウントを追加」▶ 画面指示に従ってGoogleアカウントを追加する

4 追加したGoogleアカウントをタップ ▶ もう一度、追加したGoogleアカウントをタップ ▶「Picasa Web Albumsを同期」にチェックマークを付ける

お知らせ

- 「Picasa Web Albumsを同期」にチェックマークが付いている場合、本端末のギャラリーがGoogleアカウントのPicasaアルバムで同期されます。
  「Googleフォトを同期」にチェックマークが付いている場合、Google+アプリがGoogleアカウントのPicasaアルバムで同期されます。
- 手順2の「設定」画面で、「Wi-Fi接続中のみ同期」にチェックマークを付けると、Wi-Fiネットワークに接続されている場合のみ、GoogleアカウントのPicasaアルバムで本端末のギャラリーが同期されます。

メディアプレイヤー

メディアプレイヤーでは、内部ストレージやmicroSDカードに保存された音楽ファイルや動画ファイルを再生できます。メディアプレイヤーは次のファイル形式に対応します。

■ 再生可能なファイル形式

音楽ファイル	AAC(LC/LTP)、HE-AAC v1、HE-AAC v2、MP3、MIDI、WMA（9/9 Pro/10/10 Pro）
動画ファイル	H.263、H.264、MPEG-4、VC-1、VP8、WMV（7/8/9 MP, SP）

お知らせ

- ファイルによっては、対応するファイル形式であっても再生できない場合があります。
- ファイルによっては、著作権により再生できないものがあります。

音楽ファイルや動画を本端末にコピーする

あらかじめお手持ちの音楽ファイルや動画ファイルを内部ストレージやmicroSDカードにコピーすると、メディアプレイヤーで再生できるようになります。

1 microUSB接続ケーブル（別売）で本端末とパソコンを接続する（P159）

2 USB接続モードを「メディア同期（MTP）」にする（P161）

3 パソコン側で「マイコンピュータ」を開き、「L-01E」を選択する
- 本端末内のドライブ（SDカード、内部ストレージ）が表示されます。
- 設定により「自動再生」画面が表示されることがあります。画面が表示されたら、「デバイスを開いてファイルを表示する」を選択してください。

4 「内部ストレージ」／「SDカード」のルートフォルダにフォルダを作成する
- サブフォルダを作成し、そのフォルダ内でファイルを管理することもできます。

5 作成したフォルダにファイルをコピーする

6 本端末をパソコンから切断する（P153）

メディアプレイヤーを開く

1 ホーム画面で「アプリ」▶「メディアプレイヤー」
- 「メディアプレイヤー」画面が表示されます。
- 画面下部のアイコンをタップすることで、「全曲」「アーティスト」「アルバム」「ムービー」の一覧に切り替えることができます。

❶ **クイックプレイバー**
再生中／一時停止中の曲がある場合に表示されます。タップすると、音楽再生画面が表示されます。
❷ **再生中／一時停止中アイコン**
再生中／一時停止中の曲に表示されます。
❸ **タイトル**
❹ **アーティスト名**
❺ **ボトムバー**
ボトムバーに表示するアイコンは変更できます。
詳しくは、「メディアプレイヤーを設定する」（P198）をご参照ください。

- 全曲：内部ストレージとmicroSDカードに保存されている再生可能な曲の一覧が表示されます。
曲をタップすると、音楽再生画面が表示されます。
- アーティスト：アーティスト一覧が表示されます。
アーティスト名をタップすると、そのアーティストのアルバム一覧が表示され、アルバム名をタップすると、アルバムに含まれる曲の一覧が表示されます。
- アルバム：アルバム一覧が表示されます。
アルバム名をタップすると、アルバムに含まれる曲の一覧が表示されます。
- ムービー：内部ストレージとmicroSDカードに保存されている再生可能な動画の一覧が表示されます。
- MUSICストア：dマーケットのMusic Storeにアクセスします。
動画の一覧を表示しているときは「VIDEOストア」アイコンが表示され、タップするとdマーケットのVideo Storeにアクセスします。

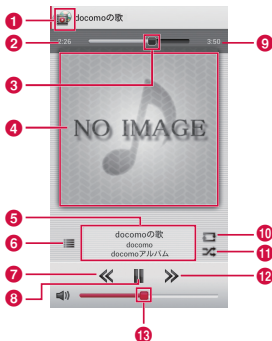
お知らせ

- 「メディアプレイヤー」画面で ☰ ▶「ソート」をタップすると、一覧の表示を降順／昇順に切り替えられます。
- 「メディアプレイヤー」画面で ☰ ▶「サイトで探す」をタップすると、dメニューにアクセスして楽曲などの購入ができます。
- 「メディアプレイヤー」画面でアルバム／ムービーの一覧を表示中に ☰ ▶「表示切替」をタップすると、一覧の表示形式をサムネイル表示／リスト表示に切り替えられます。
- 「メディアプレイヤー」画面／音楽再生画面／動画再生画面で ☰ ▶「アプリ終了」をタップすると、メディアプレイヤーを終了します。
- Music Store、Video Storeの詳細については、ドコモのホームページをご覧ください。

音楽を再生する

1 曲の一覧で再生する曲をタップする

- 音楽再生画面が表示され、曲が再生されます。

❶

タップすると、曲の一覧画面に戻ります。

❷ **再生経過時間**

❸ **再生プログレスバー**

ドラッグすると、曲を指定の場所から再生します。

❹ **カバーフロー**

タップすると、再生経過時間･再生プログレスバー･曲の長さの表示／非表示を切り替えられます。

横画面で左右にスワイプすると、サムネイルがスクロールされ、アルバム別再生リストを表示します。

❺ **コンテンツ情報**

タイトル／アーティスト名／アルバム名が表示されます。

❻ **一覧に戻る**

曲の一覧に戻ります。

❼ **前曲戻しボタン**

再生中の曲の先頭から再生します。ダブルタップすると、前の曲の先頭から再生します。

❽ **再生／一時停止ボタン**

❾ **曲の長さ**

❿ **リピート／１リピートボタン**

全曲リピート／１曲リピート／リピートＯＦＦに切り替えます。

⓫ **シャッフルボタン**

シャッフル再生のON ／ OFFを切り替えます。

⓬ **次曲送りボタン**

⓭ **音量調節バー**

ドラッグして、音量を調節できます。

お知らせ

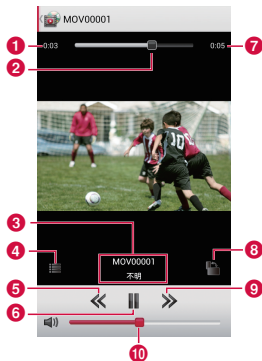
- 曲の再生中は、ステータスバーに ♪ が表示されます。
- 音楽再生画面で ☰ ▶「設定」▶「この曲を着信音設定」をタップすると、表示中の曲を音声着信音／メール着信音／spモードメール着信音に設定できます。

動画を再生する

1 「メディアプレイヤー」画面で [ムービー] をタップする

- 内部ストレージとmicroSDカードに保存されている再生可能な動画の一覧が表示されます。

2 再生する動画をタップする

- 動画再生画面が表示され、動画が再生されます。

❶ **再生経過時間**

❷ **再生プログレスバー**
ドラッグすると、動画を指定の場所から再生します。

❸ **動画情報**
タイトル／アーティスト名が表示されます。

❹ **動画リストボタン**
動画の一覧に戻ります。

❺ **前の動画戻しボタン**
再生中の動画の先頭から再生します。ダブルタップすると、前の動画の先頭から再生します。

❻ **再生／一時停止ボタン**

❼ **動画の長さ**

❽ **回転ロックボタン**
ボタンが赤く表示されている場合、本端末の向きを変えても、画面の向きが切り替わらないようにロックします。

❾ **次の動画送りボタン**

❿ **音量調節バー**
ドラッグして、音量を調節できます。

お知らせ

- 「動画」アプリから動画再生中に、本端末をピンチアウト／ピンチインすることで表示を拡大／縮小することができます。
- 動画再生画面を表示中に本端末を横向きにすると、横画面表示に切り替わり、全画面に動画が表示されます。画面をタップすると、ボタンなどの表示／非表示を切り替えられます。

プレイリストを利用する

プレイリストを利用すると、お好みの曲を集めて、お好みの順番で再生することができます。

プレイリストを表示できるように設定する

初期設定では､｢メディアプレイヤー｣画面のボトムバーに「プレイリスト」アイコンは表示されません。以下のように操作すると、表示されるようになります。

1 「メディアプレイヤー」画面で ☰ ▶「設定」▶「アイコンの並べ替え」
- 「アイコンの並べ替え」画面が表示されます。

2 「プレイリスト」アイコンをドラッグして、ボトムバーの切り替えたいアイコンの上にドロップする
- 「ムービー」「MUSICストア／VIDEOストア」アイコンは変更できません。

3 「決定」

プレイリストを表示する

1 「メディアプレイヤー」画面で「プレイリスト」
- プレイリストの一覧が表示されます。
- 以下のクイックプレイリストを利用できます。

最近追加した曲	2週間以内に追加された曲が、追加順に表示されます。
最近再生した曲	2週間以内に再生した曲が、日時が新しい順に表示されます。
再生回数が多い曲	再生回数が多い順に曲が表示されます。

2 プレイリスト／クイックプレイリストをタップする
- プレイリストに含まれる曲の一覧が表示されます。
- プレイリスト／クイックプレイリストに含まれる曲をタップすると再生できます。

プレイリストを作成する

1 プレイリストの一覧で「プレイリスト作成」

2 プレイリスト名を入力する ▶「OK」

3 「プレイリストに曲を追加」

- 「全曲」「アーティスト」「アルバム」タブをタップすると、一覧の表示を切り替えることができます。

4 追加する曲をタップする

- 「全ての曲を追加」をタップすると、一覧に表示されている曲がすべて追加対象になります。

5 「決定」▶「完了」▶「OK」

プレイリストを編集する

1 プレイリストの一覧で編集するプレイリストをタップする

- プレイリストに含まれる曲の一覧が表示されます。

2 「編集」

- 「タイトル編集」をタップすると、タイトルを編集できます。
- 「プレイリストに曲を追加」をタップすると、曲を追加できます。
- 「全ての曲を削除」をタップすると、すべての曲が削除対象になります。すべての曲を削除すると、プレイリストも削除されます。
- 曲をタップすると が赤色になり、削除対象になります。
- をドラッグ＆ドロップすると、曲の並び順を変更できます。

3 編集が終わったら「完了」

4 「OK」

プレイリストを削除する／並び替える

1 プレイリストの一覧で「編集」

- 「全てのプレイリストを削除」をタップすると、すべてのプレイリストが削除対象になります。
- プレイリストをタップすると 🗑 が赤色になり、削除対象になります。
- ≑ をドラッグ＆ドロップすると、プレイリスト／クイックプレイリストの並び順を変更できます。

2 編集が終わったら「完了」をタップする

3 「OK」

お知らせ

- 「最近追加した曲」、「最近再生した曲」、「再生回数が多い曲」プレイリストは削除できません。

メディアプレイヤーを設定する

1 「メディアプレイヤー」画面で ☰ ▶「設定」

- 「設定」メニューが表示されます。

2 必要に応じて設定を変更する

オーディオエフェクト設定	音楽再生時の効果を設定します。
着信音設定	曲を音声着信音／メール着信音／ spモードメール着信音に設定します。 • 曲によっては、着信音に設定できない場合があります。
動画ソート設定	動画の一覧の並び順を「保存日時」「タイトル」から選択します。
コンテンツの削除	表示中の音楽ファイル／動画ファイルを全件削除／選択削除します。

アイコンの並べ替え	ドラッグ＆ドロップすることで「メディアプレイヤー」画面のボトムバーに表示されるアイコンを変更します。 • アイコンを「プレイリスト」「ジャンル」「年代」に変更すると、「メディアプレイヤー」画面にプレイリスト／ジャンル／年代の一覧を表示できます。 • 「ムービー」「MUSICストア／VIDEOストア」アイコンは変更できません。
データベースの更新	メディアプレイヤーのデータベースを更新します。
設定リセット	メディアプレイヤーを初期設定に戻します。

GPS ／ナビ

本端末のGPS機能と対応するアプリケーションを使用して、現在地の確認や目的地までのルート検索などを行うことができます。

GPSのご利用にあたって

- GPSシステムの不具合などにより損害が生じた場合、当社では一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 航空機、車両、人などの航法装置や、高精度の測量用GPSとしての使用はできません。これらの目的で使用したり、これらの目的以外でも、本端末の故障や誤動作、停電などの外部要因（電池切れを含む）によって測位結果の確認や通信などの機会を逸したりしたために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- GPSは米国国防総省により運営されているため、米国の国防上の都合によりGPSの電波の状態がコントロール（精度の劣化や電波の停止など）される場合があります。また、同じ場所・環境で測位した場合でも、人工衛星の位置によって電波の状況が異なるため、同じ結果が得られないことがあります。
- ワイヤレス通信製品（携帯電話やデータ検出機など）は、衛星信号を妨害する恐れがあり、信号受信が不安定になることがあります。

- 各国・地域の法制度などにより、取得した位置情報（緯度経度情報）に基づく地図上の表示が正確ではない場合があります。
- GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、次の環境下では電波を受信できない、または受信しにくいため位置情報の誤差が300m以上になる場合がありますのでご注意ください。
  - 密集した樹木の中や下、ビル街、住宅密集地
  - 建物の中や直下
  - 地下やトンネル、地中、水中
  - 高圧線の近く
  - 自動車や電車などの室内
  - 大雨や雪などの悪天候
  - かばんや箱の中
  - 本端末の周囲に障害物（人や物）がある
- 位置提供や現在地通知のご利用にあたっては、GPSサービス提供者やドコモのホームページなどでのお知らせをご確認ください。また、これらの機能の利用は有料となる場合があります。

位置情報サービスの設定

位置情報を利用するサービスを使用するには、あらかじめGPS機能をONにしておく必要があります。また、Wi-Fi／モバイルネットワークやモーションセンサーを利用して、より正確に位置情報を検出できるように設定できます。

1 ホーム画面で ☰ ▶「本体設定」▶「位置情報サービス」

2 検出する方法にチェックマークを付ける

Googleの位置情報サービス	Wi-Fi／モバイルネットワークで位置情報を特定できます。
GPS機能	より精度の高い位置情報を検出できます。ただし本端末の電池消費量が大きくなります。
位置情報とGoogle検索	Googleに位置情報データの使用を許可するかどうかを設定します。

お知らせ

- GPS機能を初めて使用するときは、現在地の測位に最大で10分程度要することがあります。
- 本端末には、衛星信号を使用して現在地を算出するGPS受信機が搭載されています。いくつかのGPSサービス機能は、インターネットを使用します。GPSサービス機能によるデータの送信には、課金が発生する場合があります。
- 現在地の測位にGPS受信機を必要とする機能を使用するときは、空を広く見渡せることをご確認ください。数分経っても現在地が測位できない場合は、場所を移動する必要があります。
- 測位しやすくするために、動かず、GPSアンテナ部を覆わないようにしてください。
- 「GPS機能」にチェックマークを付けると、GPSの使用中に匿名データが収集されます。データの転送には、料金が発生する場合がありますので、ご注意ください。
- 「Googleの位置情報サービス」にチェックマークを付けると、Googleの位置情報サービスに匿名化された位置データの収集を許可することになります。データの収集はアプリケーションが起動していなくても行われることがあります。

マップを利用する

マップを開く

Googleマップを利用して、現在地の表示、別の場所の検索、および経路の検索ができます。

- 現在地を取得する前にGPS機能を有効にしてください。
- Googleマップを利用するには、LTE／3G／GPRSネットワークまたはWi-Fiで接続して、データ通信可能な状態にする必要があります。
- Googleマップは、すべての国や地域を対象としているわけではありません。
- 3G／Wi-Fiの接続のみでは、現在地が検出されない場合があります。

1 **ホーム画面で「アプリ」▶「マップ」**

マップで経路を調べる

目的地への詳しい経路を表示できます。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「マップ」

2 ◈

3 「出発地」ボックス※に出発地を入力▶「目的地」ボックスに目的地を入力する

- それぞれのボックスの右にある ◢ をタップするとメニューが表示され、「現在地」「連絡先」「地図上の場所」「マイプレイス」から出発地、到着地を選択することもできます。

※「出発地」ボックスには、「現在地」が入力されています。

4 移動方法として 🚗／🚌／🚶 のいずれかをタップする

- 🚌 を選択した場合、「最適な経路」／「乗換が少ない」／「徒歩が少ない」のいずれかを選択してください。

5 「ナビ」／「経路を検索」

Latitudeを利用する

Google Latitudeを利用すると、地図上で友だちと位置を確認しあったり、ステータスメッセージを共有したりできます。また、メールを送ったり、友だちの現在地への経路が検索できます。

- 位置情報は自動的に共有されません。Latitudeに参加して自分の位置情報を提供する友だちを招待するか、友だちからの招待を受ける必要があります。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「Latitude」

- Latitudeの詳細については、Latitudeの画面で ☰ ▶「ヘルプ」をご覧ください。

ナビを利用する

Googleマップナビ（ベータ版）は、音声ガイダンス付きの経路案内ソフトです。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「ナビ」

- サービス規約が表示されます。「このメッセージを再表示する」にチェックマークを付けると、次回以降も同じメッセージが表示されます。

2 「同意する」

- Googleマップナビが開き、メニューが表示されます。

3 いずれかの項目をタップする

目的地を入力または選択すると、経路案内が開始されます。

- 「目的地を音声入力」：声で目的地を検索
- 「目的地をキーボードで入力」：目的地を文字で入力
- 「自宅に戻る」：自宅の住所を登録して、経路案内を表示
- 「地図表示」：マップを表示
- 車／徒歩：車か徒歩かを選択
- 「連絡先」：連絡先に登録されている住所を検索
- 「スター付き」：Googleマップでスターを付けた場所を検索

お知らせ

- 運転中の操作は同乗者が行ってください。

ローカルを利用する

ローカルを利用すると、現在地の近くのレストランや、カフェ、居酒屋、観光スポットなどを簡単に探すことができます。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「ローカル」

2 「レストラン」／「カフェ」／「居酒屋」／「観光スポット」のいずれかをタップする

- 検索結果の一覧が表示されます。検索結果をタップすると、詳細な情報が表示されます。
- ローカル画面で ☰ ▶「検索を追加」▶ 検索したいカテゴリを入力 ▶ ⊞ をタップすると、検索条件を追加できます。

アラーム時計

1 ホーム画面で「アプリ」▶「アラーム時計」

- 「ジェスチャーガイド」画面が表示されたら、「無効」／「ONにする」のどちらかを選択します。

アラームを設定する

1 アラーム時計画面で「アラーム」

- アラーム一覧画面が表示されます。

2 ⊕

- 「アラーム設定」画面が表示され、以下の設定ができます。

項目	説明
時／分	設定時刻が変更できます。
繰り返し	曜日ごとに繰り返し同じ時刻にアラームが鳴るように設定できます。
スヌーズ間隔	スヌーズ時間を設定できます。
バイブレータ	チェックマークを付けるとアラーム音と同時にバイブレータが動作します。
アラーム音	アラーム設定時刻に鳴る音が設定できます。
アラーム音量	アラーム音の音量が設定できます。
アプリケーションリンク	アラームを停止したときに実行するアプリケーションを、「なし／Eメール／カレンダー」の中から選択して設定します。
パズルロック	チェックマークを付けるとパズル設定が有効になり、チェックマークを外すと無効になります。
メモ	設定したアラームにメモを付けることができます。

3 アラームの詳細を設定して「保存」

- アラーム一覧画面が表示され、設定されたアラームがリストに追加されます。⏰／⏰でアラームのON／OFFを設定できます。
- リストをタップすると、「アラーム設定」画面が表示され、内容の変更ができます。
  「保存」をタップすると、変更が上書きされ、アラーム一覧画面に戻ります。

お知らせ

- アラームの設定時刻になると、アラームが動作します。「停止」をタップすると、アラームが停止できます。また、「スヌーズ」をタップすると、アラーム設定の「スヌーズ間隔」で設定した間隔で再び動作します。
- アラーム一覧画面で ▶「すべて選択」または削除したいアラームにチェックマークを付ける▶「削除」▶「はい」をタップすると、アラームを削除することができます。

タイマーを設定する

1 アラーム時計画面で「タイマー」

- タイマー設定画面が表示され、以下の設定ができます。

時／分／秒	タイマーの時間を設定します。
バイブレータ	チェックマークを付けると、アラーム音と同時にバイブレータが動作します。
通知音	アラーム音を設定します。
アラーム音量	アラーム音の音量が設定できます。

2 「開始」

- タイマーが開始されます。

お知らせ

- タイマーの設定時間になると、アラームが動作します。「停止」をタップすると、アラームが停止します。

ワールドクロックを設定する

登録した都市の日付と時刻が一覧で確認できます。

1 アラーム時計画面で「ワールドクロック」

2 [+]

- 「都市の追加」画面が表示されます。都市名タップすると、選択した都市の現在時刻と都市名が一覧画面に追加されます。
- ワールドクロック一覧画面で [削除アイコン]▶「すべて選択」または削除したい都市にチェックマークを付ける▶「削除」▶「はい」をタップすると、都市を削除することができます。

ストップウォッチを設定する

1 アラーム時計画面で「ストップウォッチ」

2 「開始」

- 測定が開始されます。ラップタイムを計測するには「ラップ」をタップします。
- 測定を止めるには「停止」をタップします。
- 「リジューム」をタップすると測定を再開、「リセット」をタップすると測定をやり直しできます。

カレンダー

本端末にはスケジュールを管理するためのカレンダーが用意されています。Microsoft Exchange Serverにより構築されているスケジューラー、Googleアカウントをお持ちの場合には、Googleカレンダーのデータと同期できます。

カレンダーを開く

1 ホーム画面で「アプリ」▶「カレンダー」

- カレンダー画面が表示されます。

カレンダー表示を切り替える

1 表示切替ボックスの「日」／「週」／「予定リスト」をタップする

- 日表示、週表示では左右にスワイプすると前後の日、週が表示されます。
- 「予定リスト」をタップすると、予定リストを表示します。各リストをタップすると、内容を表示できます。

予定を作成する

1 カレンダー画面で日付をタップ ▶ ⊕ ▶ 各項目を設定 ▶「保存」

お知らせ

- 作成した予定の時刻が近づくと、ステータスバーに 📅 が表示されます。ステータスバーを下にドラッグまたはスワイプして通知パネルを開き、カレンダーの通知をタップすると、「予定のお知らせ」画面が表示されます。「予定の削除」をタップすると通知が消去され、「すべてスヌーズする」をタップすると５分後に再度通知します。

予定を変更／削除する

1 **カレンダー画面で表示切替ボックスの「予定リスト」をタップする**

2 **変更／削除したい予定をタップ ▶ （編集）／ （削除）**

- カレンダー画面で ▶「削除」▶ 削除したい予定にチェックマークを付ける ▶「削除」▶「はい」をタップしても、予定を削除することができます。

カレンダーの設定を変更する

1 **カレンダー画面で ▶「設定」▶「全般設定」**

- 「全般設定」画面が表示されます。

2 **必要に応じて設定を変更する**

- 「カレンダーの表示設定」や「予定通知の設定」が行えます。

電卓

1 **ホーム画面で「アプリ」▶「電卓」**

- キーが表示された部分を左右にドラッグまたはスワイプすると、「関数機能」と「標準機能」を切り替えることができます。
  また、電卓画面で ▶「関数機能」／「標準機能」をタップしても機能を切り替えることができます。
- 数値や数式が書いてある状態で数式表示欄をロングタッチすると、数値の切り取り／コピーができます。数値の切り取り／コピーをした後、数式表示欄をロングタッチすると、貼り付けができます。
- をタップすると直前に入力した数値または演算子が1文字ずつ削除されます。また を ロングタッチすると、入力中のすべての情報が削除されます。
- ／ をタップすると、数式の履歴を非表示／表示することができます。また、電卓画面で ▶「履歴消去」をタップすると、履歴が消去されます。

SmartWorld

1 **ホーム画面で「アプリ」▶「SmartWorld」**

- 初めてSmartWorldを起動したときは、「Start LG SmartWorld」をタップしてください。
- 「SmartWorld」画面が開きます。
- SmartWorldのご利用には、会員登録の必要があります。「SmartWorld」画面で ☰ ▶「設定」▶「会員登録」をタップし、以降は画面の指示に従って会員登録を行ってください。
- Wi-Fiを使用せずに接続する場合は、3G課金のご案内が表示されます。
- SmartWorldでは以下のメニューが表示されます。

項目	説明
Hot & New	Hot & New画面を表示します。
Apps	Apps画面を表示します。
動画	動画画面を表示します。
検索	検索画面を表示します。
マイアプリ	マイアプリ画面を表示します。

Polaris Office

Polaris Officeを利用して、内部ストレージやmicroSDカードに保存されているWord、Excel、PowerPointなどのファイルを読んだり、編集したりできます（2012年10月現在）。

1 **ホーム画面で「アプリ」▶「Polaris Office 4.0」**

- 「Polaris Office」画面が開きます。

種類	拡張子
Microsoft Word (Word 97 ～ Word 2010)	.doc※、.docx※、.dot、.dotx
Microsoft Excel (Excel 97 ～ Excel 2010)	.xls※、.xlsx※、.xlt、.xltx、.csv
Microsoft PowerPoint (Power Point 97 ～ PowerPoint 2010)	.ppt※、.pptx※、.pps、.ppsx、.pot、.potx
Adobe PDF (Version 1.2 ～ 1.7)	.pdf
Text	.txt※、.asc、.rtf

種類	拡張子
Hangul (97～3.0, 2002～2005)	.hwp

※ ファイルの編集も可能です。

お知らせ

- ユーザー登録をしていないと、「Polaris Office」を起動した際にユーザー登録画面が表示されます。
- パスワード付きのファイルは利用できない場合があります。
- パソコンなどで作成したファイルは、表示が変更されることや表示できない場合があります。
- Polaris Officeで編集できるのはWord、Excel、PowerPointのみです。

データや設定のバックアップ

SDカードバックアップでバックアップする

microSDカードなどの外部記録媒体を利用して、電話帳、spモードメール、ブックマークなどのデータの移行やバックアップができます。

SDカードバックアップを開く

1 ホーム画面で「アプリ」▶「SDカードバックアップ」

- 初めてSDカードバックアップをご利用の際に、利用許諾画面が表示されます。

バックアップする

1. 「SDカードバックアップ」画面で「バックアップ」
2. 「バックアップ設定」画面でデータを選択▶「バックアップ開始」
3. 「OK」
4. ドコモアプリパスワードを入力▶「OK」
   - 「トップに戻る」をタップすると、「SDカードバックアップ」画面に戻ります。
   - 電話帳をバックアップした場合、docomoアカウントに保存されている電話帳データがmicroSDカードに保存されます。
   - 本端末のメモリ構成上、外部SDカードが未挿入の場合、画像・動画などのデータは本体メモリに保存されます。本アプリケーションでは画像・動画などのデータのうち本体メモリに保存されているもののみバックアップされます。外部SDカードに保存されているデータはバックアップされません。

復元する

1. 「SDカードバックアップ」画面で「復元」▶データを「選択」
2. 「復元対象データ選択」画面で復元したいデータをタップ▶「選択」
3. 「復元設定」画面で「追加」／「上書き」をタップ▶「復元開始」
4. 「OK」
5. ドコモアプリパスワードを入力▶「OK」
   - 「復元結果」画面が表示されます。
   - 「トップに戻る」をタップすると、「SDカードバックアップ」画面に戻ります。
   - インポートした電話帳はdocomoアカウントに保存されます。

Googleアカウントの連絡先をdocomoアカウントにコピーする

1 **「SDカードバックアップ」画面で「電話帳アカウントコピー」▶ コピーしたいGoogleアカウントを「選択」▶「上書き」／「追加」**

- コピーした電話帳データはdocomoアカウントに保存されます。

2 **「OK」**

お知らせ

- バックアップまたは復元中に端末の電池パック、microSDカードを取り外さないでください。データが破損する場合があります。
- 他の端末の電話帳項目名（電話番号など）が本端末と異なる場合、項目名が変更されたり削除されたりすることがあります。また、電話帳に登録可能な文字は端末ごとに異なるため、コピー先で削除されることがあります。
- 電話帳をmicroSDカードにバックアップする場合は名前が登録されていないデータはコピーできません。
- microSDカードの空き容量が不足しているとバックアップが実行できない場合があります。その場合は、microSDカードから不要なファイルを削除して容量を確保してください。
- 電池残量が不足しているとバックアップまたは復元が実行できない場合があります。その場合は、端末を充電後に再度バックアップまたは復元を行ってください。
- microSDカードに保存されている静止画や動画、音楽などのメディアファイルは、バックアップできません。
- 「SDカードバックアップ」画面で ☰ ▶「ヘルプ」をタップすると、各機能や操作の詳しい説明を確認することができます。

電話帳をバックアップする

本端末の電話帳をBluetoothやEメール、Gmailで共有したり、microSDカードにバックアップすることができます。また、ドコモminiUIMカードやmicroSDカードに保存されている電話帳を本端末に読み込むことができます。

電話帳を共有する

1 ホーム画面で「電話」▶「電話帳」

2 ☰ ▶「その他」▶「インポート／エクスポート」

- メニューが表示されます。

3 「表示可能な電話帳を共有」

4 電話帳データの共有方法を選ぶ

5 以降は画面指示に従って操作する

電話帳をmicroSDカードにバックアップする

1 ホーム画面で「電話」▶「電話帳」

2 ☰ ▶「その他」▶「インポート／エクスポート」

- メニューが表示されます。

3 「SDカードにエクスポート」

4 連絡先の選択方法を選ぶ ▶「OK」

5 エクスポートしたい連絡先をタップ ▶「OK」

6 名刺添付の「有り」「無し」を選ぶ

7 「エクスポートの確認」画面で「OK」

- 電話帳がmicroSDカードに書き出されます。

電話帳をドコモminiUIMカードやmicroSDカードから読み込む

1 ホーム画面で「電話」▶「電話帳」

2 ☰ ▶「その他」▶「インポート／エクスポート」

- メニューが表示されます。
- ドコモminiUIMカードから読み込む場合は、「SIMカードからインポート」をタップしてください。

3 「SIMカードからインポート」または「SDカードからインポート」をタップする

4 インポートしたいアカウントをタップする

5 インポートしたい連絡先をタップする

- 電話帳が読み込まれます。

メッセージ（SMS）をドコモminiUIMカードにバックアップする

最大20件のメッセージ(SMS)をドコモminiUIMカードにコピー／移動することができます。

1 ホーム画面で「アプリ」▶「メッセージ」

- 「メッセージ」画面が表示されます。

2 いずれかの受信メッセージまたはスレッドをタップする

- メッセージが表示されます。

3 バックアップするメッセージをロングタッチする

- 「メッセージオプション」メニューが表示されます。

4 「UIMカードにコピー」または「UIMカードに移動」をタップする

- メッセージ（SMS）がドコモminiUIMカードにコピー／移動されます。

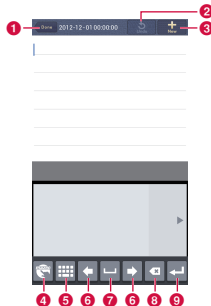
7notes with mazec-T

手書きで文字入力ができます。他のアプリの入力時でも、入力方法を「mazec-T 手書き変換」に変更することで手書き入力が可能です。

メモを作成・管理する

メモを作成する

1. ホーム画面で「アプリ」▶「7notes with mazec-T」
   - 「メモ一覧」画面が表示されます。
   - はじめてご使用する際には、「ようこそ7notes with mazec-Tへ」メモ画面が表示され、7notes with mazec-Tの使いかたに関する簡単な説明を確認することができます。読み終えたら、「New」または「Done」をタップしてください。
   - 「7notes with mazec-T」アプリの詳細については、メモ作成画面または「メモ一覧」画面で ▶「ヘルプ」をタップして、「7notes with mazec-T for LGヘルプ」をご覧ください。

2. 「New」
   - メモ作成画面が表示されます。
   - 「メモ一覧」画面で ▶「新規」をタップしても、メモ作成画面を表示することができます。
   - ソフトウェアキーボードで をロングタッチ▶「入力方法」▶「mazec-T手書き変換」をタップすると、mazec-T手書き変換画面に切り替えられます。

❶ 入力を保存します。
❷ 入力を元に戻したりやり直したりします。
❸ 新しいメモを作成します。
❹ 文字の種類を選択したり、mazecの詳細設定ができます。
❺ 入力パネルを変更します。
❻ カーソル位置を移動します。
❼ スペースを入力します。
❽ 文字を削除します。
❾ 改行します。

3 メモ作成後、「Done」または ↩

- 作成したメモが保存され、メモ一覧に戻ります。

メモを削除する

1 「メモ一覧」画面で ☰ ▶「削除」

2 削除するメモにチェックマークを付ける ▶「削除」

メモを共有・バックアップする

作成したメモをメール、Twitter、Facebookに送信したり、Evernoteやストレージと連携してバックアップすることもできます。

1 メモ作成画面で ☰ ▶「連携」

2 「メールで送信」／「Twitterに送る」／「Facebookに送る」／「Evernoteと連携」／「ストレージ連携」のいずれかをタップする

- 以降は、それぞれの画面表示に従って操作してください。

メモ書式を設定する

文字のサイズやメモのマージン、行の間隔などを設定できます。

1 メモ作成画面で ☰ ▶「メモ書式」

- 「メモ書式」画面が表示されます。

2 必要に応じて、フォントサイズ、上下マージン、左右マージン、行送り、罫線、背景の設定を変更する

3 「システムに記憶」

- 設定内容をメモ書式の規定値として保存します。

メモ情報を編集する

メモのタイトルを編集したり、マークを付けて、マークの種類で絞り込めるようにできます。また、メモにアラームを設定しておくと、指定した日時に通知することができます。

メモのタイトルを変更する

1 メモ作成画面で ☰ ▶「メモ情報」
- 「メモ情報の編集」画面が表示されます。

2 タイトル欄をタップ ▶ タイトルを入力して「OK」

3 ⮌

メモにマークを付ける

1 メモ作成画面で ☰ ▶「メモ情報」
- 「メモ情報の編集」画面が表示されます。

2 マーク欄のいずれかのアイコンをタップする

3 ⮌

メモを絞り込む

1 「メモ一覧」画面で ☰ ▶「検索」

2 表示したいマークをタップする
- 絞込みを解除してすべてのメモを表示する場合、「All」をタップします。

メモにアラームを設定する

1 メモ作成画面で ☰ ▶「メモ情報」
- 「メモ情報の編集」画面が表示されます。

2 「アラーム設定」をONにする

3 「日時」をタップして、日時を指定する ▶「OK」

4 ⮌

お知らせ

- メモのマーク情報、アラーム情報はメモに保存されません。マークまたはアラームを設定したメモをメールで送信したり、7Notesで開くと、マークまたはアラームが付いてない状態になります。

メモを設定する

メモをメールで送信するときの宛先や件名などを設定したり、Twitter、Facebook、Evernoteのアカウントを設定することができます。

1 **メモ作成画面で ☰ ▶「設定」**

- 「設定」画面が表示されます。

2 **必要に応じて、メールの宛先やCc／Bcc・件名・本文、またはTwitter、Facebook、Evernoteのアカウントを設定する**

ノートブック

好きな画像やメモ書きをスクラップ保存できます。

1 **ホーム画面で「アプリ」▶「ノートブック」**

- 「ノートブック」画面でノートを選択し作成します。

お知らせ

- をタップ ▶「すべて選択」または共有したいメモにチェックマークを付ける ▶「共有」▶ 共有ツールを選択 ▶ ファイル形式を選択すると、メモをメールに添付することができます。
- ▶ 削除したいメモにチェックマークを付ける ▶「削除」▶「はい」をタップすると、メモを削除することができます。
- 「ノートブック」画面でノートを長押しすると、ノートの「共有」、「削除」、および「ロック」の操作ができます。
- 本端末で作成したデータは、L-01Eでのみ正しく表示されます。

海外利用

国際ローミング（WORLD WING）の概要

国際ローミング（WORLD WING）とは、日本国内で使用している電話番号やメールアドレスはそのままに、ドコモと提携している海外通信事業者のサービスエリアでご利用いただけるサービスです。電話、SMSは設定の変更なくご利用になれます。

- **対応ネットワークについて**
  本端末は、クラス4になります。3Gネットワークおよび GSM ／ GPRS ネットワークのサービスエリアでご利用いただけます。また、3G850MHz ／ GSM850MHzに対応した国・地域でもご利用いただけます。ご利用可能エリアをご確認ください。
- **海外でご利用いただく前に、以下をあわせてご覧ください。**
  - 『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』
  - ドコモの『国際サービスホームページ』
- **海外ではXiエリア外のため、3Gネットワークおよび GSM ／ GPRS ネットワークをご利用ください。**

お知らせ

- 国番号・国際電話アクセス番号・ユニバーサルナンバー用国際識別番号・接続可能な国 地域および海外通信事業者は、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの『国際サービスホームページ』をご確認ください。

ご利用できるサービス

主な通信サービス	3G	3G850	GSM（GPRS）
電話	○	○	○
SMS	○	○	○
メール※	○	○	○
ブラウザ※	○	○	○

（○：利用可能　×：利用不可）

※ ローミング時にデータ通信を利用するには、データローミング設定を有効にしてください。（P227）

- 接続する海外通信事業者やネットワークにより利用できないサービスがあります。

ご利用時の確認

出発前の確認

海外でご利用いただく際は、日本国内で次の確認をしてください。

● **ご契約について**

WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。詳しくは本書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

● **充電について**

海外旅行で充電する際のACアダプタは、別売の「ACアダプタ03」をご利用ください。

● **料金について**

- 海外でのご利用料金（通話料、パケット通信料）は日本国内とは異なります。
- ご利用のアプリケーションによっては自動的に通信を行うものがありますので、パケット通信料が高額になる場合があります。各アプリケーションの動作については、お客様ご自身でアプリケーション提供元にご確認ください。

事前設定

● **ネットワークサービスの設定について**

ネットワークサービスをご契約いただいている場合、海外からも留守番電話サービス·転送でんわサービス・番号通知お願いサービスなどのネットワークサービスをご利用になれます。ただし、一部のネットワークサービスはご利用になれません。

- 海外でネットワークサービスをご利用になるには､「遠隔操作設定」を開始にする必要があります。渡航先で「遠隔操作設定」を行うこともできます。
- 設定/解除などの操作が可能なネットワークサービスの場合でも、利用する海外通信事業者によっては利用できないことがあります。

滞在国での確認

海外に到着後、端末の電源を入れると自動的に利用可能な通信事業者に接続されます。

● **接続について**

「通信事業者」の設定で「利用可能なネットワーク」を「自動選択」に設定している場合は、最適なネットワークを自動的に選択します。

定額サービス適用対象通信事業者へ接続していただくと、海外でのパケット通信料が1日あたり一定額を上限としてご利用いただけます。なお、ご利用には国内のパケット定額サービスへのご加入が必要です。詳細は『ご利用ガイドブック(国際サービス編)』またはドコモの「国際サービスホームページ」をご確認ください。

● **ディスプレイの表示について**

- ステータスバーには利用中のネットワークの種類が表示されます。

アイコン	ネットワークの種類
／	国際ローミング使用可能/通信中

- 接続している通信事業者名は、通知パネルで確認できます。

● **日付と時刻について**

「日付と時刻」の「日付と時刻の自動設定」、「タイムゾーンを自動設定」にチェックを付けている場合は、接続している海外通信事業者のネットワークから時刻・時差に関する情報を受信することで本端末の時計の時刻や時差が補正されます。

- 海外通信事業者のネットワークによっては、時刻·時差補正が正しく行われない場合があります。その場合は、手動でタイムゾーンを設定してください。
- 補正されるタイミングは海外通信事業者によって異なります。
- 「日付と時刻」→ P147

● **お問い合わせについて**

- 本端末やドコモminiUIMカードを海外で紛失・盗難された場合は、現地からドコモへ速やかにご連絡いただき利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、本書裏面をご覧ください。なお、紛失·盗難されたあとに発生した通信·通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。
- 一般電話などからご利用の場合は、滞在国に割り当てられている「国際電話アクセス番号」または「ユニバーサルナンバー用国際識別番号」が必要です。

帰国後の確認

日本に帰国後は自動的にドコモのネットワークに接続されます。接続できなかった場合は、以下の設定を行ってください。

1 ホーム画面で ☰ ▶「本体設定」▶「その他...」▶「モバイルネットワーク」

2 「ネットワークモード」▶「LTE/3G/GSM（自動）」

3 「通信事業者」▶「自動選択」

滞在先での電話のかけかた／受けかた

滞在国外（日本含む）に電話をかける

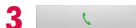
国際ローミングサービスを利用して、滞在国からほかの国へ電話をかけることができます。

- 接続可能な国および通信事業者などの情報については、ドコモの『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』をご覧ください。

1 ホーム画面で「電話」▶「ダイヤル」タブ

2 ＋（「0」をロングタッチする）▶ 国番号 ▶ 地域番号（市外局番）▶ 相手先電話番号の順に入力する

- 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には、先頭の「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアなど一部の国・地域では「0」が必要な場合があります。

3

4 通話が終了したら「終了」

滞在国内に電話をかける

日本国内での操作と同様の操作で、相手の一般電話や携帯電話に電話をかけることができます。

1 ホーム画面で「電話」▶「ダイヤル」タブ

2 相手の電話番号を入力する

- 一般電話にかける場合は、地域番号（市外局番）＋相手先電話番号を入力します。

3

4 通話が終了したら「終了」

海外にいるWORLD WING利用者に電話をかける

電話をかける相手が海外での「WORLD WING」利用者の場合は、滞在国内に電話をかける場合でも、日本への国際電話として電話をかけてください。

- 滞在先にかかわらず日本経由での通信となるため、日本への国際電話と同じように「＋」と「81」（日本の国番号）を先頭に付け、先頭の「0」を除いた電話番号を入力して電話をかけてください。

海外での発着信に関する設定を行う

国際ローミングサービスを利用した海外での発着信に関する設定を行います。

- 利用する海外通信事業者によっては設定できない場合があります。

1 ホーム画面で「電話」▶ ☰ ▶「通話設定」▶「海外設定」

2 必要に応じて設定を変更する

項目	設定
ローミング時着信規制※1	規制開始
	規制停止
	設定確認
ローミング着信通知※2	通知開始
	通知停止
	通知設定確認
ローミングガイダンス※3	サービス開始
	サービス停止
	設定確認
国際ダイヤルアシスト	自動変換機能
	国番号
	国際プレフィックス
ネットワークサービス	海外から留守番電話など、ドコモのネットワークサービスの設定を行います。

※1 設定する際は、ネットワーク暗証番号を入力する必要があります。

※2 電源が入っていないときや、圏外にいたときに着信があったことを、電源が入ったときや圏内になったときにSMSで通知します。（無料）

※3 開始すると、電話をかけてもらう際に、海外にいることを発信者にお知らせします。

滞在先で電話を受ける

日本国内での操作と同様の操作で電話を受けることができます。

お知らせ

- 国際ローミング中に電話がかかってきた場合は、いずれの国からの電話であっても日本からの国際転送となります。発信側には日本までの通話料がかかり、着信側には着信料がかかります。
- 相手が発信者番号を通知して電話をかけてきた場合でも、海外通信事業者によっては、発信者番号が通知されない場合があります。また、相手が利用しているネットワークによっては、相手の発信者番号とは異なる番号が通知される場合があります。
- 海外での利用時には、「登録外着信拒否」が動作しない可能性があります。（P103）

相手からの電話のかけかた

- **日本国内から滞在先に電話をかけてもらう場合**
  日本国内にいるときと同様に電話番号をダイヤルして、電話をかけてもらいます。
- **日本以外の国から滞在先に電話をかけてもらう場合**
  滞在先にかかわらず日本経由で電話をかけるため、国際電話アクセス番号および「81」をダイヤルしてもらう必要があります。
  発信国の国際電話アクセス番号-81-90（または80）-XXXX-XXXX

海外のネットワーク接続に関する設定を行う

海外で本端末を使用する場合は、滞在先で接続できる通信事業者のネットワークに切り替える必要があります。お買い上げ時は、接続できるネットワークを自動的に検出して切り替えるように設定されていますが、手動で設定を変更することもできます。

ネットワークモードを設定する

1 ホーム画面で ☰ ▶「本体設定」▶「その他...」▶「モバイルネットワーク」▶「ネットワークモード」

2 使用するネットワークモードをタップする

- LTE/3G/GSM（自動）：LTE ／ 3Gネットワークと GSM ／ GPRSネットワークを自動で選択して使用します。
- LTE/3G：LTE ／ 3Gネットワークのみを使用します。
- GSM：GSM ／ GPRSネットワークのみを使用します。

お知らせ

- データ通信中に、ネットワークモードを切り替えると、ネットワークサービスが切断され、データ通信が中断します。

接続できる通信事業者を確認して手動で設定する

1 ホーム画面で ☰ ▶「本体設定」▶「その他...」▶「モバイルネットワーク」▶「通信事業者」

- 「利用可能なネットワーク」画面が表示されます。

2 「ネットワークを検索」▶ 設定したい通信事業者をタップする

3 注意画面の内容を確認して「OK」

お知らせ

- 接続する通信事業者を手動で設定した場合、本端末がサービスエリア外に移動しても別の接続可能な通信事業者には自動的に接続されません。
- 接続する通信事業者を手動で設定した場合は、日本に帰国後､「自動選択」に設定してください。
- 3Gネットワークでデータ通信中に「ネットワークを検索」をタップすると、「データ通信中のため、ネットワークを検索できません。データ通信を無効とし、ネットワークを検索してよろしいですか？」と、メッセージが表示されます。「OK」をタップすると、データ通信が中断され、ネットワークが検索されます。
- GSM／GPRSネットワークでデータ通信中に「ネットワークを検索」をタップすると、データ通信が中断され、ネットワークが検索されます。

接続できる通信事業者を自動で選択する

1. ホーム画面で ☰ ▶「本体設定」▶「その他...」▶「モバイルネットワーク」▶「通信事業者」
2. 「自動選択」

データローミングを有効にする

1. ホーム画面で ☰ ▶「本体設定」▶「その他...」▶「モバイルネットワーク」
2. 「データローミング」にチェックマークを付ける
3. 注意画面の内容を確認して「OK」

付録／索引

オプション品・関連機器のご紹介

本端末にさまざまな別売りのオプション機器を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってはお取り扱いしていない商品もあります。
詳しくは、ドコモショップなど窓口へお問い合わせください。また、オプションの詳細については各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- リアカバー L33
- 電池パック L19
- 卓上ホルダ L13
- イヤホンマイク L01
- HDMI変換ケーブル L01
- 車載ハンズフリーキット 01
- ワイヤレスイヤホンセット 02 ／ 03
- 骨伝導レシーバマイク 02
- キャリングケース 02
- ポケットチャージャー 01※／ 02
- ACアダプタ 03
- 海外用AC変換プラグCタイプ 01
- microUSB接続ケーブル 01
- DCアダプタ 03
- ドライブネットクレイドル 01

※ 約30%から約60%の充電ができます。

試供品

- 試供品は無料修理保証の対象外です。
- 試供品の仕様および外観は、性能向上のため予告なく変更することがあります。

microSDHCカード（16GB）

■ **ご使用上のお願い**

- お客様ご自身で、microSDカードに記録された情報内容は、バックアップをお取りくださるようお願いします。
- microSDカードを廃棄する際は、データを消去またはフォーマットするだけではなく、物理的に破壊した上で廃棄することをおすすめします。

■ **免責事項**

次の項目に該当する場合については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- 本製品の使用または使用不能から生じた損害、逸失利益、および第三者からの請求
- 本製品の取り扱いにおいて、取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害
- 本製品のご使用において発生したデータの消失、破損
  - 当社では、データの復旧／回復作業は行っておりません。
- 接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから発生した損害

■ 主な仕様

動作電圧	2.7V ～ 3.6V
外形寸法	縦：約15mm、 横：約11mm、 厚み：約1.0mm
質量	約0.5g

■ 材質一覧

使用箇所	材質／表面処理
microSDHCカード本体	エポキシ樹脂
microSDHCカード端子部	銅／金メッキ

トラブルシューティング（FAQ）

故障かな？と思ったら

- まずはじめに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。（ソフトウェア更新 → P241）
- 気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、本書裏面の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

■ 電源

症　状	チェック
本端末の電源が入らない	• 電池パックが正しく取り付けられていますか。→ P43 • 電池切れになっていませんか。→ P44

■ 充電

症　状	チェック
充電ができない	• 電池パックが正しく取り付けられていますか。 • アダプタの電源プラグやシガーライタープラグがコンセントまたはシガーライターソケットに正しく差し込まれていますか。 • アダプタと本端末が正しくセットされていますか。 • ACアダプタ（別売）を使用する場合、microUSB接続ケーブルが、本端末またはACアダプタとしっかりと接続されていますか。 • 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、本端末の温度が上昇して電池の状態アイコンが充電中にならない場合があります。その場合は、本端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。
画面に「充電してください」と表示される	• 電池残量が少ない場合は充電してください。 → P44

■ 端末操作

症　状	チェック
操作中・充電中に熱くなる	• 操作中や充電中、また、充電しながら動画撮影やワンセグ視聴などを長時間行った場合などには、本端末や電池パック、アダプタが温かくなることがありますが、安全上問題ありませんので、そのままご使用ください。
電池の使用時間が短い	• 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。 • 電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。 • 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。 十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください。

症　状	チェック
電源断・再起動が起きる	• 電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れたときは、電池パックの端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
キーを押しても動作しない	• 画面ロックを設定していませんか。→ P135
キーを押したときの画面の反応が遅い	• 本端末に大量のデータが保存されているときや、本端末とmicroSDカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときなどに起きる場合があります。
ドコモminiUIMカードが認識しない	• ドコモminiUIMカードを正しい向きで挿入していますか。→ P40
時計がずれる	• 長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。 「本体設定」の「日付と時刻」で「日付と時刻の自動設定」にチェックマークが付いているかを確認し、電波のよい場所で電源を入れ直してください。

症　状	チェック
端末動作が不安定	• ご購入後に端末へインストールしたアプリケーションによる可能性があります。セーフモードで起動して症状が改善される場合には、インストールしたアプリケーションをアンインストールすることで症状が改善される場合があります。 ※ セーフモードとはご購入時の状態に近い状態で起動させる機能です。 • セーフモードの起動方法 1. 電源OFFの状態から電源キーを押します。 2. docomoロゴが表示されたあと、ホーム画面が表示されるまで、音量キー（下）を押し続けます。成功するとバイブレータが振動します。 ※ セーフモードが起動すると画面左下に「セーフモード」と表示されます。 ※ セーフモードを終了するには、電源を一度OFFにし起動し直してください。

症　状	チェック
端末動作が不安定	・必要なデータを事前にバックアップした上でセーフモードをご利用ください。 ・お客様ご自身で作成されたウィジェットが消える場合があります。 ・セーフモードは通常の起動状態ではないため、通常ご利用になる場合には、セーフモードを終了しご利用ください。
アプリケーションが正しく動作しない（起動できない、エラーが頻繁に起こるなど）	・無効化されているアプリケーションはありませんか。無効化されているアプリケーションを有効にしてから再度お試しください。→ P138

■ 通話

症　状	チェック
（発信アイコン）をタップしても発信できない	・機内モードを設定していませんか。→ P127
着信音が鳴らない	・音量設定の電話着信音量を最小にしていませんか。→ P132 ・公共モード、マナーモード（サウンドプロフィールを「バイブレートのみ」、「サイレント」）に設定していませんか。→ P103、P132 ・登録外着信拒否を設定していませんか。→ P103 ・留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間を「0秒」にしていませんか。→ P102

症　状	チェック
通話ができない（場所を移動しても「圏外」の表示が消えない、電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない）	• 電源を入れ直すか、電池パックまたはドコモminiUIMカードを入れ直してください。 • 電波の性質により、「圏外ではない」「電波状況を示す電波レベルが４本表示している 」状態でも発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。 • 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

■ 画面

症　状	チェック
ディスプレイが暗い	• バックライト点灯時間を設定していませんか。→ P133 • 画面の明るさ調整を変更していませんか。→ P133 • 電池残量が少なくなっていませんか。→ P44

■ 音声

症　状	チェック
通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる	• 音量キーで通話音量を調節してください。→ P99

■ メール

症　状	チェック
Eメールを自動で受信しない	• アカウント設定の「取得間隔」で「手動」を設定していませんか。「手動」以外に設定してください。→ P117

■ カメラ

症　状	チェック
カメラで撮影した静止画や動画がぼやける	• カメラのレンズにくもりや汚れが付着していないかを確認してください。

■ ワンセグ

症　状	チェック
ワンセグの視聴ができない	• 地上デジタルテレビ放送サービスのエリア外か放送電波の弱い場所にいませんか。 • チャンネル設定をしていますか。→ P182
画像は見られるが、音声が出ない	• SCMS-T非対応機器では、ワンセグの音声を聞くことができません。
• ワンセグでスクリーンショットが取得できない • ワンセグでQメモの背景が写らない	• ワンセグは著作権保護のため、以下の機能には対応していません。 - HDMI接続による動画出力 - スクリーンショット - Qメモ

■ おサイフケータイ

症　状	チェック
おサイフケータイが使えない	• 電池パックを取り外したり、おまかせロックを起動したりすると、おサイフケータイロック設定に関わらずおサイフケータイの機能が利用できなくなります。 • おサイフケータイ ロック設定を設定していませんか。→ P167 • 本端末の マークがある位置を読み取り機にかざしていますか。→ P167

■ 海外利用

症　状	チェック
海外で本端末が使えない	**■ アンテナマークが表示されている場合** ・WORLD WINGのお申し込みをされていますか。 WORLD WINGのお申し込み状況をご確認ください。 **■ 圏外が表示されている場合** ・国際ローミングサービスのサービスエリア外か、電波の弱い所にいませんか。利用可能なサービスエリアまたは海外通信事業者かどうか、『ご利用ガイドブック（国際サービス編）』またはドコモの「国際サービスホームページ」で確認してください。 ・ネットワークの設定や海外通信事業者の設定を変更してみてください。 -「ネットワークモード」を「LTE/3G/GSM（自動）」に設定する→ P226 -「通信事業者」を「自動選択」に設定する→ P227

症　状	チェック
海外で本端末が使えない	・本端末の電源をOFFにした後、再びONにすることで回復することがあります。
海外でデータ通信ができない	・データローミング設定を有効にしてください。→ P227
海外で利用中に、突然本端末が使えなくなった	・利用停止目安額を超えていませんか。 「国際ローミングサービス(WORLD WING)」のご利用には、あらかじめ利用停止目安額が設定されています。利用停止目安額を超えてしまった場合、ご利用累積額を精算してください。
相手の電話番号が通知されない／相手の電話番号とは違う番号が通知される／電話帳の登録内容や発信者番号通知を利用する機能が動作しない	・相手が発信者番号を通知して電話をかけてきても、利用しているネットワークや通信事業者から発信者番号が通知されない場合は、本端末に発信者番号は表示されません。また、利用しているネットワークや通信事業者によっては、相手の電話番号とは違う番号が通知される場合があります。

■ データ管理

症　状	チェック
データ転送が行われない	• USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
microSDカードに保存したデータが表示されない	• microSDカードを差し直してください。→ P42
画像表示しようとすると が表示される またはデモやプレビューで が表示される	• 画像データが壊れている場合は が表示される場合があります。

■ Bluetooth機能

症　状	チェック
Bluetooth通信対応機器と接続ができない／サーチしても見つからない	• Bluetooth通信対応機器（市販品）側を機器登録待ち受け状態にしてから、本端末側から機器登録を行う必要があります。登録済みの機器を削除して再度機器登録を行う場合には、Bluetooth通信対応機器（市販品）、本端末双方で登録した機器を削除してから機器登録を行ってください。→ P157
カーナビやハンズフリー機器などの外部機器を接続した状態で本端末から発信できない	• 相手が電話に出ない、圏外などの状態で複数回発信すると、その番号へ発信できなくなる場合があります。その場合は、本端末の電源を一度切ってから、再度電源を入れ直してください。

■ 地図・GPS機能

症　状	チェック
オートGPSサービス情報が設定できない。	・電池残量が少なくなり、オートGPS機能が停止していませんか。「低電力時動作設定」により、オートGPS機能が停止している場合は、オートGPSサービス情報は設定できません。この場合、「低電力時動作設定」を「停止しない」に設定するか、または、充電をすることで設定できるようになります。→P139 ・オートGPS動作設定がOFFになっていませんか。→P139

エラーメッセージ

エラーメッセージ	説　明
・サービスは無効になっています ・ドコモUIMカードが挿入されていません	ドコモminiUIMカードが正しく機能していません。ドコモminiUIMカードを抜き差ししても改善しない場合は、本書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。
通信サービスはありません	サービスエリア外か、電波の届かない場所にいるため利用できません。電波の届く場所まで移動してください。
PIN1がロックされました PINロック解除コードを入力してください	PINロック解除コードを入力してください。 →P143
メモリがいっぱいです	空き容量がありません。不要なアプリケーションを削除して容量を確保してください。 →P165

スマートフォンあんしん遠隔サポート

お客様の端末上の画面をドコモと共有することで、端末操作設定に関する操作サポートを受けることができます。

- ドコモminiUIMカード未挿入時、国際ローミング中、機内モードなどではご利用できません。
- スマートフォンあんしん遠隔サポートはお申し込みが必要な有料サービスです。
- 一部サポート対象外の操作・設定があります。
- スマートフォンあんしん遠隔サポートの詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

1 スマートフォン遠隔サポートセンター
0120-783-360
受付時間　午前9：00～午後8：00
(年中無休) へ電話する

2 ホーム画面で「アプリ」▶「遠隔サポート」

- 初めてご利用される際には、「ソフトウェア使用許諾書」に同意いただく必要があります。

3 ドコモからご案内する接続番号を入力する

4 接続後、遠隔サポートを開始する

保証とアフターサービス

保証について

- 本端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はご自身で控えをお取りくださるようお願いします。

※1 本端末は、電話帳などのデータをmicroSDカードに保存していただくことができます。

※2 本端末はケータイデータお預かりサービス（お申し込みが必要なサービス）をご利用いただくことにより、電話帳などのデータをお預かりセンターにバックアップしていただくことができます。

アフターサービスについて

調子が悪い場合

修理を依頼される前に、本書の「故障かな？と思ったら」をご覧になってお調べください。それでも調子が良くないときは、本書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

お問い合わせの結果、修理が必要な場合

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承ください。

■ 保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（液晶・コネクタなどの破損）による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

■ 以下の場合は、修理できないことがあります

- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（microUSB接続端子やイヤホンマイク端子・液晶などの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）

※ 修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■ 保証期間が過ぎたときは

- ご要望により有料修理いたします。

■ 部品の保有期間は

- 本端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後4年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理できない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過したあとも、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、本書裏面の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

お願い

- 本端末および付属品の改造はおやめください。
  - 火災・けが・故障の原因となります。
  - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
    以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
    - 液晶部やキー部にシールなどを貼る
    - 接着剤などにより本端末に装飾を施す
    - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
  - 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- 本端末に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。銘版シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘版シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定などの情報は、本端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- 修理を実施した場合には、故障箇所に関係なく、Wi-Fi用のMACアドレスおよびBluetoothアドレスが変更される場合があります。
- 本端末の下記の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
  使用箇所：スピーカー、レシーバー
- 本端末は防水性能を有しておりますが、本端末内部が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、本端末の状態によっては修理できないことがあります。

メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて

- 本端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様の端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェア更新

L-01Eのソフトウェア更新が必要かをネットワークに接続して確認し、必要に応じて更新ファイルをダウンロードして、ソフトウェアを更新する機能です。
搭載されているアプリケーションの更新に使う機能で、3G接続とW-Fi接続の両方で実行できます。
ソフトウェア更新が必要な場合には、ドコモのホームページにてご案内いたします。
更新方法は、次の3種類があります。

自動更新： 更新ファイルを自動でダウンロードし、設定した時刻に書き換えます。
即時更新： 今すぐ更新を行います。
予約更新： 予約した時刻に自動的に更新をします。

お知らせ

- ソフトウェア更新は、本端末に登録した電話帳、カメラ画像、メール、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行えますが、お客様の端末の状態（故障、破損、水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合があります。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。

ご利用にあたって

- ソフトウェア更新中は電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新を行う際は、電池をフル充電しておいてください。更新時は充電ケーブルを接続する事をおすすめします。
- 次の場合はソフトウェアを更新できません。
  - 通話中
  - 圏外が表示されているとき※
  - 国際ローミング中※
  - 機内モード中※
  - OSバージョンアップ中
  - 日付と時刻を正しく設定していないとき
  - ソフトウェア更新に必要な電池残量がないとき
  - ソフトウェア更新に必要なメモリ空き容量がないとき

  ※ 圏外、国際ローミング中は、Wi-Fi接続中であっても更新できません。
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書き換え）には時間がかかる場合があります。
- ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能、およびその他の機能を利用できません。ただし、ダウンロード中は電話の着信は可能です。
- ソフトウェア更新は電波状態の良い所で、移動せずに実行することをおすすめします。電波状態が悪い場合には、ソフトウェア更新を中断することがあります。

- ソフトウェア更新が不要な場合は、「更新の必要はありません。このままお使いください」と表示されます。
- 国際ローミング中、もしくは、圏外にいるときには、「ドコモの電波が受信できない場所、またはローミング中はWi-Fi接続中であってもダウンロードを開始できません」と表示されます。Wi-Fi接続中も同様です。
- ソフトウェア更新中に送信されてきたSMSは、SMSセンターに保管されます。
- ソフトウェア更新の際、お客様のL-01E固有の情報（機種や製造番号など）が、当社のソフトウェア更新用サーバーに送信されます。当社は送信された情報を、ソフトウェア更新以外の目的には利用いたしません。
- ソフトウェア更新に失敗した場合に、端末が起動しなくなることや、「書き換えに失敗しました」と表示され、一切の操作ができなくなることがあります。その場合には、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただけますようお願いいたします。
- PINコードが設定されているときは、書き換え処理後の再起動の途中で、PINコード入力画面が表示され、PINコードを入力する必要があります。
- ソフトウェア更新中は、他のアプリケーションを起動しないでください。

ソフトウェア更新を自動で行う <自動更新>

更新ファイルを自動でダウンロードし、設定した時刻に書き換えます。

ソフトウェアの自動更新の設定

お買い上げ時は、自動更新の設定が「自動で更新を行う」に設定されています。

1 ホーム画面で ☰ ▶「本体設定」▶「端末情報」▶「ソフトウェア更新」▶「ソフトウェア更新設定の変更」

2 「自動で更新を行う」／「自動で更新を行わない」

ソフトウェア更新が必要になると

更新ファイルが自動でダウンロードされると、ステータスバーに（ソフトウェア更新有）が通知されます。

- （ソフトウェア更新有）が表示された状態で書換え時刻になると、自動で書き換えが行われ、（ソフトウェア更新有）は消えます。

1 **ステータスバーを下にドラッグまたはスワイプする**

- 通知パネルが表示されます。

2 **「ソフトウェア更新有」をタップする**

- 書換え時刻が表示されます。

3 **目的の操作を行う**

- 「OK」：ホーム画面に戻ります。設定時刻になると更新を開始します。
- 「開始時刻変更」：予約更新 →「ソフトウェアの予約更新」（P245）
- 「今すぐ開始」：即時更新 →「ソフトウェアの即時更新」（P244）

お知らせ

- 更新通知を受信した際に、ソフトウェア更新ができなかった場合には、ステータスバーに（ソフトウェア更新有）が表示されます。
- 書き換え時刻にソフトウェア書き換えが実施できなかった場合、翌日の同じ時刻に再度書き換えを行います。
- 自動更新設定が、「自動で更新を行わない」の場合や、ソフトウェアの即時更新が通信中の場合は、ソフトウェアの自動更新ができません。

ソフトウェア即時更新

すぐにソフトウェア更新を開始します。
ソフトウェア更新を起動するには書き換え予告画面から起動する方法とメニューから起動する方法があります。

1 ホーム画面で ☰ ▶「本体設定」▶「端末情報」▶「ソフトウェア更新」▶「更新を開始する」▶「はい」

- ダウンロードを開始すると、自動的にソフトウェア更新が実行されます。
- ダウンロードの途中で中止すると、それまでダウンロードしたデータは削除されます。

- 書き換え予告画面からの起動：書き換え予告画面を表示 ▶「今すぐ開始」

2 「書き換え処理を開始します」表示後、約3秒後に自動的に書き換え開始

- 「OK」をタップすると、すぐに書き換えを開始します。
- 更新中は、すべてのキー操作が無効となります。更新を中止することもできません。
- ソフトウェア更新が完了すると再起動がかかり、ホーム画面が表示されます。

お知らせ

- ソフトウェア更新の必要がないときには、「更新の必要はありません。このままお使いください」と表示されます。

ソフトウェア更新終了後の表示

ソフトウェア更新が完了すると、ステータスバーに通知されます。ステータスバーを開いて通知をタップすると完了画面が表示されます。

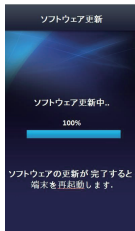
ソフトウェアの予約更新

更新ファイルのインストールを別の時刻に予約したい場合は、ソフトウェア書き換えを行う時刻をあらかじめ設定しておくことができます。

1 書換え予告画面を表示 ▶「開始時刻変更」

2 時刻を入力 ▶「OK」

予約した時刻になると

開始時刻になると書換え処理画面が表示され、約3秒後に自動的にソフトウェア書き換えが開始されます。

お知らせ

- 更新中は、すべてのキー操作が無効となります。更新を中止することもできません。
- 開始時刻にソフトウェア更新が開始できなかった場合には、翌日の同じ時刻にソフトウェア更新を行います。
- OSバージョンアップ中の場合、予約時刻になってもソフトウェア更新は行われません。
- 開始時刻と同じ時刻にアラームなどが設定されていた場合でも、ソフトウェア更新は実施されます。
- 開始時刻にL-01Eの電源がOFFの場合、電源を入れた後、予約時刻と同じ時刻になったときにソフトウェア更新を行います。
- ソフトウェア更新実行時、ステータスバーに「! ソフトウェア更新を中断しました。端末の状態をご確認のうえ、再度更新を行ってください」と表示された場合は、下記の状態でない事をご確認のうえ、再度更新を行ってください。
  - 圏外
  - 電池パック外れ
  - 他機能との競合
  - 本端末の空き容量の不足
  - 電池残量の不足
  - ネットワークエラー
  - 書き込み失敗

LGソフトウェア更新

LGのソフトウェア更新が必要かネットワークに接続して確認し、必要に応じて更新ファイルをダウンロードして、LGソフトウェアを更新する機能です。
OSバージョンアップ時に使う機能で、Wi-Fi接続のみ実行できます。

- LGソフトウェア更新の注意事項については、ソフトウェア更新の「ご利用にあたって」を参照してください。（P241）
- 最新のソフトウェアの状況については、LG Electronicsホームページをご参照ください。
  http://www.lg.com/jp/mobile-phones/download-page/index.jsp

アップデートの確認

アップデートの自動確認

更新ファイルがあるか自動で確認します。お買い上げ時は、自動確認に設定されています。

1 **ホーム画面で ☰ ▶「本体設定」▶「端末情報」▶「LGソフトウェア更新」**

2 **「自動確認」にチェックマークを付ける**

お知らせ

- 「自動確認」のチェックマークを外すと、「更新ソフトウェアの自動確認をOFFにしました。この設定では、ソフトウェアの更新通知を受け取ることはできません。」と表示されます。

アップデートの手動確認

更新ファイルを手動で確認します。

1 ホーム画面で ☰ ▶「本体設定」▶「端末情報」▶「LGソフトウェア更新」

2「アップデートを確認」

- 「ソフトウェアアップデートを確認中です。しばらくお待ちください。」と表示されます。

お知らせ

- 新しいバージョンのソフトウェアが見つかったときは、「ソフトウェアの更新があります」とポップアップメニューが表示されます。

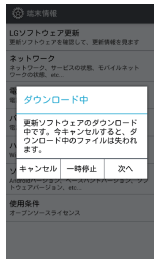
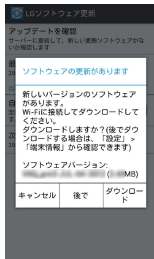
ソフトウェアのダウンロード

即時ダウンロード

1「ソフトウェアの更新があります」のポップアップメニューで「ダウンロード」

- 通知パネルからダウンロード進行状況を確認できます。
- ダウンロード進行状況の通知をタップすると、「ダウンロード中」のポップアップメニューが表示されます。

2「次へ」

- ダウンロードが終了すると、「ソフトウェアアップデート」のポップアップメニューが表示されます。

お知らせ

- 「ダウンロード中」のポップアップメニューで「一時停止」をタップすると、ダウンロードを一時停止します。「リジューム」をタップするとダウンロードを再開します。

後でダウンロード

1 「ソフトウェアの更新があります」のポップアップメニューで「後で」

2 「リマインダーを設定します。」のポップアップメニューで「1時間後」／「2時間後」／「4時間後」／「ダウンロードする」

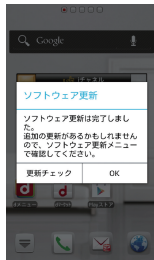
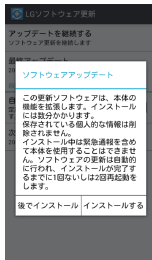
ソフトウェアのインストール

即時インストール

1 「ソフトウェアアップデート」のポップアップメニューで「インストールする」

- LGソフトウェアの更新が開始されます。
- 更新中に再起動が発生することがあります。

2 ソフトウェア更新が完了した旨のポップアップメニューが表示されたら、「OK」

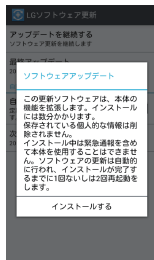
- 追加の更新を確認する場合には、「更新チェック」をタップします。

お知らせ

- ローミング中はＬＧソフトウェアの更新はできません。

後でインストール

1 「ソフトウェアアップデート」のポップアップメニューで「後でインストール」

2 「リマインダーを設定します。」のポップアップメニューで「１時間後」／「４時間後」／「８時間後」／「24時間後」／「インストールする」

- インストールの延期は１回のみ可能です。インストールを１回延期した後の「ソフトウェアアップデート」のポップアップ画面では、「後でインストール」は表示されません。

主な仕様

■ 本体

品名		L-01E
サイズ (H×W×D)		約137mm×約69mm×約9.6mm (最厚部：約10.3mm)
質量		約143g（電池パック装着時）
メモリ		ROM 16GB RAM 2GB
連続待受時間	LTE	静止時（自動）：約320時間
	FOMA/3G	静止時（自動）：約350時間
	GSM	静止時（自動）：約350時間
連続通話時間	FOMA/3G	約580分
	GSM	約480分
充電時間		ACアダプタ 03：約240分 DCアダプタ 03：約240分
ワンセグ視聴時間		約350分
モバキャス視聴時間		約220分
ディスプレイ	方式	TFT 16,777,216色
	サイズ	約4.7inch
	ドット数	横720ドット×縦1280ドット HD
撮像素子	種類	CMOS
	サイズ	メインカメラ：1/3.0inch フロントカメラ：1/7.8inch
カメラ有効画素数		メインカメラ：約1320万画素 フロントカメラ：約140万画素
カメラ記録画素数（最大時）		メインカメラ：約1310万画素 フロントカメラ：約120万画素
ズーム（デジタル）		最大約4.0倍（16段階）
音楽再生	Windows Media Audio (WMA) ファイル	連続再生時間：約2160分 （バックグラウンド再生対応）
	MP3 ファイル	連続再生時間：約1838分 （バックグラウンド再生対応）
無線LAN		IEEE802.11 a/b/g/n （2.4GHz/5GHz）に準拠

Bluetooth	対応Bluetoothバージョン	Bluetooth標準規格Ver.4.0※1
	出力	Bluetooth標準規格Power Class 1
	見通し通信距離※2	約100m以内
	対応Bluetoothプロファイル※3	HFP、HSP、OPP、SPP、HID、A2DP、AVRCP、PBAP、FTP

※1 本端末を含むすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しております。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやり取りができない場合があります。

※2 通信機器間の障害物や、電波状況により変化します。

※3 Bluetooth対応機器どうしの使用目的に応じた仕様で、Bluetoothの標準規格です。

- 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。
- 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態で移動したときの時間の目安です。なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか、弱い場所など）などにより、待受時間は約半分程度になることがあります。
- インターネット接続を行うと通話（通信）・待受時間は短くなります。また、通信やインターネット接続をしなくてもメールを作成したり、カメラやアプリケーションを起動すると通話（通信）・待受時間は短くなります。
- 静止時の連続待受時間とは、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。
- 移動時の連続待受時間とは、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。
- 充電時間は、本端末の電源を切って、電池パックが空の状態から充電したときの目安です。本端末の電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。

■ 電池パック

使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	3.8V
公称容量	2,210mAh

ファイル形式

本端末は以下のファイル形式の表示・再生に対応しています。

種　類	ファイル形式
Audio	mp3、m4a、wav、ogg、amr、wma、aac、mka、mid
Image	bmp、gif、jpeg、png、wbmp、webp
Video	mp4、3gp、m4v、mkv、wmv、avi、flv

静止画・動画は次に示すファイル形式で保存されます。

種　類	ファイル形式
静止画	JPEG
動画	MP4

撮影・録画できる目安

■ 静止画の撮影枚数（目安）

解像度	microSDカード（1GB）に保存できる撮影枚数
1536×864（W1M）	約2,300枚

■ 動画の録画時間（目安）

解像度	microSDカード（1GB）に保存できる録画時間
640×480（VGA）	最大約55分（1件あたり） 最大約55分（合計）

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種L-01Eの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。

この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※1ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。

国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.739W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。

携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。

この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。NTTドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリを用いて携帯電話機を身体に装着して使用することで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します※2。NTTドコモ推奨のキャリングケース等のアクセサリをご使用にならない場合には、身体から1.5センチ以上の距離に携帯電話機を固定でき、金属部分の含まれていない製品をご使用ください。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm

SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
一般社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/index02.html
ドコモのホームページ
http://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/
LG Electronicsホームページ（本端末の「仕様」のページをご確認ください）
http://www.lg.com/jp/mobile-phones/all-phones/index.jsp
（URLは予告なく変更される場合があります。）

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。
※2 携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSARの測定法については、平成22年3月に国際規格（IEC62209-2）が制定されました。国の技術基準については、平成23年10月に、諮問第118号に関して情報通信審議会情報通信技術分科会より一部答申されています。

Radio Frequency (RF) Signals

THIS MODEL PHONE MEETS THE U.S. GOVERNMENT'S REQUIREMENTS FOR EXPOSURE TO RADIO WAVES.
Your wireless phone contains a radio transmitter and receiver.
Your phone is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government. These limits are part of comprehensive guidelines and establish permitted levels of RF energy for the general population. The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.
The exposure standard for wireless mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit set by the FCC is 1.6W/kg.* Tests for SAR are conducted using standard operating positions accepted by the FCC with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified

power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value. This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a wireless base station antenna, the lower the output.
Before a phone model is available for sale to the public, it must be tested and certified to the FCC that it does not exceed the limit established by the U.S. government-adopted requirement for safe exposure. The tests are performed on position and locations (for example, at the ear and worn on the body) as required by FCC for each model. The highest SAR value for this model phone as reported to the FCC when tested for use at the ear is 0.64 W/kg, and when worn on the body is 0.90 W/kg. (Body-worn measurements differ among phone models, depending upon available accessories and FCC requirements).
While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, they all meet the U.S. government requirement.

The FCC has granted an Equipment Authorization for this model phone with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF exposure guidelines. SAR information on this model phone is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section at http://transition.fcc.gov/oet/ea/fccid/ after search on FCC ID ZNFL01E.
For body worn operation, this phone has been tested and meets the FCC RF exposure guidelines. Please use an accessory designated for this product or an accessory which contains no metal and which positions the handset a minimum of 1.5 cm from the body.

* In the United States, the SAR limit for wireless mobile phones used by the public is 1.6 watts/kg (W/kg) averaged over one gram of tissue. SAR values may vary depending upon national reporting requirements and the network band.

Wi-Fi Caution	This device is capable of operating in 802.11a/n mode. For 802.11a/n devices operating in the frequency range of 5.15 - 5.25 GHz, they are restricted for indoor operations to reduce any potential harmful interference for Mobile Satellite Services (MSS) in the US. WIFI Access Points that are capable of allowing your device to operate in 802.11a/n mode(5.15 - 5.25 GHz band) are optimized for indoor use only. If your WIFI network is capable of operating in this mode, please restrict your WIFI use indoors to not violate federal regulations to protect Mobile Satellite Services.

Declaration of Conformity

The product "L-01E" is declared to conform with the essential requirements of European Union Directive 1999/5/EC Radio and Telecommunications Terminal Equipment Directive 3.1(a), 3.1(b) and 3.2.
This mobile phone complies with the EU requirements for exposure to radio waves.
Your mobile phone is a radio transceiver, designed and manufactured not to exceed the SAR* limits** for exposure to radio-frequency (RF) energy, which SAR* value, when tested for compliance against the standard was 0.639 W/kg at the ear.
While there may be differences between the SAR* levels of various phones and at various positions, they all meet*** the EU requirements for RF exposure.

* The exposure standard for mobile phones employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.

** The SAR limit for mobile phones used by the public is 2.0 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue, recommended by The Council of the European Union. The limit incorporates a substantial margin of safety to give additional protection for the public and to account for any variations in measurements.

*** Tests for SAR have been conducted using standard operating positions with the phone transmitting at its highest certified power level in all tested frequency bands. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR level of the phone while operating can be well below the maximum value.
This is because the phone is designed to operate at multiple power levels so as to use only the power required to reach the network. In general, the closer you are to a base station antenna, the lower the power output.

European Union Directives Conformance Statement

CE0168ⓘ **Hereby, LG Electronics Inc. declares that this product is in compliance with:**

- The essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC
- All other relevant EU Directives

The above gives an example of a typical Product Approval Number.

Wi-Fi (WLAN)	This device is intended for sale in Japan only. This equipment may be operated in all European countries. The 5150 - 5350 Mhz band is restricted to indoor use only.

Important Safety Information

AIRCRAFT
Switch off your wireless device when boarding an aircraft or whenever you are instructed to do so by airline staff. If your device offers a 'flight mode' or similar feature consult airline staff as to whether it can be used on board.

DRIVING
Full attention should be given to driving at all times and local laws and regulations restricting the use of wireless devices while driving must be observed.

HOSPITALS
Mobile phones should be switched off wherever you are requested to do so in hospitals, clinics or health care facilities. These requests are designed to prevent possible interference with sensitive medical equipment.

PETROL STATIONS
Obey all posted signs with respect to the use of wireless devices or other radio equipment in locations with flammable material and chemicals. Switch off your wireless device whenever you are instructed to do so by authorized staff.

INTERFERENCE
Care must be taken when using the phone in close proximity to personal medical devices, such as pacemakers and hearing aids.

Pacemakers
Pacemaker manufacturers recommend that a minimum separation of 15cm be maintained between a mobile phone and a pacemaker to avoid potential interference with the pacemaker. To achieve this use the phone on the opposite ear to your pacemaker and do not carry it in a breast pocket.

Hearing Aids
Some digital wireless phones may interfere with some hearing aids. In the event of such interference, you may want to consult your hearing aid manufacturer to discuss alternatives.

NOTE: Excessive sound pressure from earphones can cause hearing loss.

For other Medical Devices:
Please consult your physician and the device manufacturer to determine if operation of your phone may interfere with the operation of your medical device.

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受けます。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問合せください。

知的財産権

著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、地図データ、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などすることはできません。実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害する恐れがありますのでお控えください。

商標について

- 「FOMA」「ｉモード」「ｉアプリ」「ｉチャネル」「ｉコンシェル」「おまかせロック」「spモード」「デコメール®」「デコメ絵文字®」「エリアメール」「WORLD CALL」「WORLD WING」「公共モード」「mopera」「mopera U」「トルカ」「おサイフケータイ」「iD」「Xi」「Xi／クロッシィ」「イマドコサーチ」「イマドコかんたんサーチ」「ケータイお探しサービス」「ケータイデータお預かりサービス」「iCお引っこしサービス」「マチキャラ」「あんしんスキャン」「eトリセツ」「パケ・ホーダイ」「声の宅配便」および「おサイフケータイ」ロゴ、「Xi」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。
- 「キャッチホン」は、日本電信電話株式会社の登録商標です。
- microSDHCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

- Bluetoothとそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INC.の登録商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。その他の商標および名称はそれぞれの所有者に帰属します。

- Wi-Fi Certified® とそのロゴは、Wi-Fi Allianceの登録商標または商標です。

- Microsoft®、Windows®、Windows Vista®、Windows Media®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- GoogleおよびGoogle ロゴ、Android、Google PlayおよびGoogle Playロゴ、Playムービー、Googleマップ、Google トーク、Googleカレンダー、Google+およびGoogle+ロゴ、GmailおよびGmail ロゴ、YouTubeおよびYouTube ロゴは、Google, Inc.の商標または登録商標です。
- HDMI（High-Definition Multimedia Interface）は、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
- はフェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- 「モバキャス」は、株式会社ジャパン・モバイルキャスティングの商標です。
- 「NOTTV」は、株式会社mmbiの商標です。
- 本製品の一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

その他

- ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。

- 本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
  - Windows 7は、Microsoft® Windows® 7（Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows Vistaは、Windows Vista®（Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
- 本製品は、MPEG-4 Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為に係る個人使用を除いてはライセンスされておりません。
  - MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画（以下、MPEG-4ビデオ）を記録する場合

- 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4ビデオを再生する場合
- MPEG-LAよりライセンスを受けた提供者から入手されたMPEG-4ビデオを再生する場合

詳細については米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。

- FeliCaは、ソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。FeliCaは、ソニー株式会社の登録商標です。
- 文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnを使用しています。
  iWnn © OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2012 All Rights Reserved.

SIMロック解除

本端末はSIMロック解除に対応しています。SIMロックを解除すると他社のSIMカードを使用することができます。

- SIMロック解除は、ドコモショップで受付をしております。
- 別途SIMロック解除手数料がかかります。
- 他社のSIMカードをご使用になる場合、LTE方式では、ご利用いただけません。また、ご利用になれるサービス、機能などが制限されます。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除に関する詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

索引

ア

カ

サ

タ

ナ

ハ

マ

ヤ

ラ

ワ

英数字

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。
spモードから　dメニュー ▶「お客様サポートへ」▶「各種お申込・お手続き」（パケット通信料無料）
パソコンから　My docomo（http://www.mydocomo.com/）▶ 各種お申込・お手続き
※ spモードからご利用になる場合、「ネットワーク暗証番号」が必要となります。
※ spモードからご利用になる際は、一部有料となる場合があります。
※ パソコンからご利用になる場合、「docomo ID/パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「docomo ID/パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は本書裏面の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。
※ ご契約内容によってはご利用になれない場合があります。
※ システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

本端末を使用する場合は、周囲の方の迷惑にならないように注意しましょう。

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合

航空機内、病院内では、必ず本端末の電源を切ってください。

※ 医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■ 満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与える恐れがあります。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■ 運転中の場合

運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。

※ ただし、傷病者の救護または公共の安全維持など、やむを得ない場合を除きます。

■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにするべき公共の場所で本端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ レストランやホテルのロビーなどの静かな場所で本端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■ 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、本端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

■ バイブレートのみ、サイレント → P132

操作音・着信音など本端末から鳴る音を消します。
※ ただし、シャッター音は消せません。

■ バイブレート → P132

電話がかかってきたことを、振動でお知らせします。

■ 公共モード（電源OFF） → P103

電話をかけてきた相手に、電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、自動的に電話を終了します。

そのほかにも、留守番電話サービス（P102）、転送でんわサービス（P102）などのオプションサービスが利用できます。

ご不要になった携帯電話などは、自社・他社製品を問わず回収をしていますので、お近くのドコモショップへお持ちください。

※ 回収対象：携帯電話、PHS、電池パック、充電器、卓上ホルダ（自社・他社製品を問わず回収）

海外での紛失、盗難、精算などについて〈ドコモ インフォメーションセンター〉(24時間受付)

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 -81-3-6832-6600*(無料)

＊一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※L-01Eからご利用の場合は+81-3-6832-6600でつながります(「+」は「0」をロングタッチします)。

一般電話などからの場合〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 -8000120-0151*

＊滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

海外での故障について〈ネットワークオペレーションセンター〉(24時間受付)

ドコモの携帯電話からの場合

滞在国の国際電話アクセス番号 -81-3-6718-1414*(無料)

＊一般電話などでかけた場合には、日本向け通話料がかかります。

※L-01Eからご利用の場合は+81-3-6718-1414でつながります(「+」は「0」をロングタッチします)。

一般電話などからの場合〈ユニバーサルナンバー〉

ユニバーサルナンバー用国際識別番号 -8005931-8600*

＊滞在国内通話料などがかかる場合があります。

※主要国の国際電話アクセス番号／ユニバーサルナンバー用国際識別番号については、ドコモの『国際サービスホームページ』をご覧ください。

- **紛失・盗難などにあわれたら、速やかに利用中断手続きをお取りください。**
- **お客様が購入された端末に故障が発生した場合は、ご帰国後にドコモ指定の故障取扱窓口へご持参ください。**

総合お問い合わせ先
〈ドコモ インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話からの場合
(局番なしの)151(無料)
※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合
0120-800-000
※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　午前9:00～午後8:00(年中無休)

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合
(局番なしの)113(無料)
※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合
0120-800-000
※一部のIP電話からは接続できない場合があります。

受付時間　24時間(年中無休)

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。
ドコモホームページ http://www.nttdocomo.co.jp/

試供品のお問い合わせ先

■LGモバイルお客様ご相談センター
0120-011-167
受付時間　午前9:00～午後6:00(土・日・祝日・年末年始を除く)
● 番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
● 試供品については、本書内でご確認ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。
○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

Li-ion00

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　LG Electronics Inc.

'12.10 (1版)
MFL67728501